

ITU-R SG8関連会合、SG9関連会合報告書

資料番号	題 名
資料地1-2-1	ITU-R SG8 WP8A 第20回会合報告書
資料地1-2-2	ITU-R SG8 WP8B 第20回会合報告書
資料地1-2-3	ITU-R SG8会合報告書
資料地1-2-4	ITU-R SG8 WP8F特別会合報告書
資料地1-2-5	ITU-R SG9関連会合報告書

第20回 Working Party8A会合 報告書

1 WP8A

WP8AはIMT-2000を除く陸上移動業務、アマチュア業務、アマチュア衛星業務を扱っている。

1.1 会議の概要

第20回WP8A会合は、2007年6月12日(火)から6月20日(水)までの9日間、スイス国ジュネーブ市のITU本部において開催された。本会議には28カ国から約110名が参加し、日本からは別紙のとおり13名が出席した。議長はJose Costa(カナダ)が担当し、Working Partyのもとに6 Working Group、2 Ad-hoc Groupを設置し、86件の寄与文書(日本からの寄与文書6件)について審議が行われた。

表1 WP8Aの審議体制

	担務内容	議長
WP8A		Jose Costa (カナダ)
WG-1	Amateur services	Paul Rinaldo (米国)
WG-2	Intelligent transport system	Paul Najarian (米国)
DG-MM	ITS Millimeter wave	小山 敏(日本)
WG-3	Public protection, trunking and paging	Alan Jamieson (ニュージーランド)
WG-4	Interference and sharing	Bruno Espinosa(仏)
DG8A4-BWA	PDNReport M.[LMS.CHR-BWA]	Justine Sider (カナダ)
DG8A4-ENG	Rec723(WRC-03)	中山 稔啓(日本)
Ad-hoc ACLR-BWA	WiMAX ACLR value	Bruno Espinosa(仏)
WG-5	New technology and services	吉野 仁(日本)
DG8A5-1	PDNR Report M.[LMS.SDR] Drafting	Reema Hafes (カナダ)
DG8A5-2	PDNR M.[IP CHAR] Drafting	吉野 仁(日本)
WG-7	Wireless LAN	Steve Bond (英国)
DG8A7-1	M.1450-2	Kimberly Baum (米)
DG8A7-2	PDN Report M.[8A/DFS-IMPLEMENTATIO	Paul Najarian(米)

	N]	
LMH	Land Mobile Handbook	Reema Hafez (カナダ)
Volume5	BWA	Justine Sider (カナダ)
VOC	Vocabulary	Jean-Jacques Guitot (フランス)

2 審議の内容

2.1 WG1(アマチュア及びアマチュア衛星業務)

WG1では、Paul Rinaldo (米)が議長を担当し、入力文書8件の審議を行い4件の出力文書を作成した。今回の会合では、継続審議となっていた「アマチュア及びアマチュア衛星業務に関するハンドブック」の完成、ITU-R 報告書M.2080改訂に関する連絡文書、並びに短波海洋レーダに関する連絡文書の作成等について審議した。

WG1の出席者は、P. Rinaldo (議長:米)、C. Rissone (仏)、Y. Averochkina (露)、L. Price, D. Sumner (IARU)、岡 (日)など、WG1議長を含めて合計6名程であった。

2.1.1 アマチュア及びアマチュア衛星業務ハンドブック

入力文書:8A/510 (IARU)

出力文書:8A/TEMP/262

IARUより、前回会合でロシアから提出された修正提案文書(8A/425)の内容を反映したドラフトが提出され、一部修正のうえ出版が承認された。なお、第5章の研究課題については、今回会合での改版を含めることとされた。

2.1.2 ITU-R報告書M.2080の改版

入力文書:8A/497 (WP6E), 8A/528 (WP9C), 8A/540 (G)

出力文書:8A/TEMP/266

ITU-R Report M.2080の改版については、次期研究会期で検討すべきとする連絡文書が作成され、送付することが承認された。理由として、この報告書は4つのWPが共同して作成したものであり、各WPの記述を注意深く均衡させたものであるため、WP 8Aだけでは検討することが出来ない。また、今回これらのWPの合同会合を開催することは可能でないこと等を挙げている。

2.1.3 短波海洋レーダ

入力文書:8A/529 (WP9C)

出力文書:8A/TEMP/265

WP9CよりWP8Bに送付された連絡文書のコピーが入力され、WP8A (WG1)でもアマチュア及びアマチュア衛星業務、並びに陸上移動業務に影響を及ぼす可能性があるので、研究の進捗情報を求める連絡文書を作成し、送付することが承認された。

2.1.4 その他

カナダ及び米国から提案のあった研究課題Q 48及びQ 209の一部改訂について、合意され承認された。また、米国提案の「勧告及び報告書」の見直しについては次の研究会期に行うことで合意された。古いものの改版又は削除、特に特にモールス符号に関するM.1677については現状に合わせる必要があることが議長より指摘された。

2.2 WG2(ITS)

WG2は、Paul Najarian (米)を議長とし、ITS(Intelligent Transport Systems)について4件の入力文書を審議し、4件の出力文書を作成した。出席者はBernd Wolf(独)、 Reema Hafez (カナダ)、 Eun-Jung Joo、 Sam-young Chung(韓)、 Siew Yoon Tan(英)、 Shen Bing、 Ma Zinjian(中)、 小山、 佐藤(日本)の10名であった。

入力文書: 8A/468 Annex 4(WP8A議長報告), 8A/479(ITU-T SG12), 8A/504(日本),
8A/505(日本), 8A/516(カナダ), 8A/530(独)

出力文書: 8A/TEMP/271, 272, 287, 292

2.2.1 ミリ波ITS通信

入力文書: 8A/468 Annex 4(WP8A議長報告), 8A/504(日本), 8A/505(日本), 8A/516(カナダ),
8A/530(独)

出力文書: 8A/TEMP/271, 272

前回会合に続いて、日本からミリ波ITS通信に関する勧告を目指した作業文書を、前回会合におけるWG2議長報告(8A/468 Annex 4)に基づき、勧告本文を目指す暫定勧告素案(8A/505)と暫定技術報告素案を目指す作業文書(8A/505) に区分し入力した。カナダからは日本からの寄書と同様に勧告本文と技術報告書を目指す寄書とに2分割化する提案が入力された。(8A/516) また、ドイツからは欧州におけるITSミリ波システムに関する追記提案がなされた。(8A/530)

WG2議長の提案によりミリ波ITS通信に関してDG-MMを設けて作業を進めることになり、議長には日本(小山)が就任した。今回会合では日本、カナダ、ドイツからの入力文書を基に勧告素案(DNR)と技術報告素案(DNRep)の出力を目指すことを前提に議論が行われた。

会合中の主な議論は次の通りである。

・WG2議長からWP8Aと平行して開かれているWP1B会合のTEMP文書(1B/TEMP/39)を参照したいとの提案があった。この文書は韓国等からのミリ波関係情報が記載されているが、ITSに特

化したものではない。

- ・DNRについては日本、カナダ案を基にAnnex 1の項目を見直し、主要な仕様について表にまとめた。勧告案については欧州(ドイツ、英国、フランス)から9月にCEPTからミリ波ITSに関する報告書が出される予定となっていることから、次回会合で作成したいとの意見が提出されたため、今回は勧告案の作成を見送ることになった。日本からドイツ、英国に対して、CEPTのミリ波ITS関連情報を逐次提供してもらうように依頼した。

- ・WG2議長から各国の仕様をシステムA, B, …として表にまとめることが提案された。

- ・英国から、作業中のドラフト記載の仕様について、一般的な項目とITS特有の項目が混在しており、WP1Bで検討中のドラフトとの差が見えないのではないかと指摘がなされた。WG2議長はWP1Bで検討中の仕様は広範囲であり、ITSで独自にまとめる意味はあるとした。その結果、WP1Bのドラフトはあくまでも参考の位置づけとすることにした。

- ・DNRepについては日本案(8A/505)を元に、カナダからの提案による、Land Mobile Handbook Vol.4 ITSに記載されている内容と重複するAnnexを削除し、ドイツから入力された新テキストを追加した。

DG-MMではWG2会合中における合意に基づき、暫定新勧告(PDNR)と暫定新技術報告を目指した作業文書(PDNRep)を作成し、今回会合での作業を終えた。(8A/TEMP/271, 272)

2.2.2 研究課題と勧告の見直し

前回会合で確認されていた次期WP8A研究期間に向けての研究課題と勧告の見直しが行われた。カナダからの提案(8A/514)を基にWG2に関する審議が行われた。

Q51: Automatic determination of location and guidance in the land mobile service:

この研究課題は1995年に策定されたものであり、課題が現状に合わなくなっているため削除することにした。ただし、課題の内容を要約し、Q.205に移管させることになった。

Q.205: Intelligent Transportation Systems:

研究期限を2008年から2010年に延長することになった。また、削除対象としたQ.51からAVLに関する事項を追記することになった。

M.1451: TICS Functionalities:

前回会合の決定通り削除することになった。

2.2.3 ITU-T SG12へのリエゾン文書

入力文書: 8A/479(ITU-TSG12)

出力文書: 8A/TEMP/287

ITU-T SG12 から WP8A に対して Advisory Panel on Standards Cooperation on Telecommunications related to Motor Vehicles (APSC) への参画と Global Standards

Collaboration(GCS)のITS関連のResolutionへの対応を行うためのリエゾンを出すことを求めた入力文書に対して、WP8AからWG2議長のPaul Najarian(米)をリエゾンとして回答した。Paul Najarian(米)自薦によるもの。

このリエゾン文書案はWP8A最終総会で承認され、ITU-T SG12へ送られることになった。

2.2.4 WP6Mへのリエゾン文書

入力文書: 8A/550(WP6M)

出力文書: 8A/TEMP/275(Rev.1)

WP6MからWP8Aに対して携帯端末によるマルチメディア放送及びデータアプリケーションに関する勧告案について意見を求めるリエゾン文書に対するリエゾンバック文書をWG5(吉野議長)がWG2と連名の下で作成した。

2.2.5 参考情報

入力文書: 8A549(第1地域レポート)

欧州からの入力されたRegion 1からの報告でITS関係については次の報告がなされている。

(1)24GHz 短距離自動車レーダー機器

ETSI EN 302 288に関して現在投票中(2007年8月10日締め切り)である。

(2)63-64GHz ITS

CEPT/CENはITSと無線標定などのシステムやサービスとの干渉についてECC Report 113としてまとめ現在意見招請中である。また、ETSIは本件に関する標準案(DEN/ERM-TG37-008)をまとめた。

(3)5GHz ITS

5GHz帯(5855-5925MHz)におけるITSと他のシステムとの共用に関する検討がECC Report 101としてまとまった。2007年9月のWG FM会合でECC Decision案が提示される予定。

ITSにおける重要安全アプリケーション用周波数のCEPTに対するEC提案の改訂版も2007年9月のWG FM会合に提案の予定である。

2.3 WG3(公共保安、トランキング、ページング)

WG3では、Alan Jamieson(ニュージーランド)が議長を担当し、入力文書3件の審議及びPPDRにおける技術検討の報告などを行った。会議はWG3全体会合の他、「公共保安及び災害救援(PPDR)のための調和の取れた周波数チャンネル計画」に関するDGを作って審議することとなった。

「公共保安及び災害救援(PPDR)のための調和の取れた周波数チャンネル計画」に関するDGの議長はアメリカが担当した。アメリカは(8A/525)にて、Region2、3における、PPDR用周波数4,940-4,990MHzに関しての具体的なチャンネル計画をPDNR案として提出。他の周波数帯域としては継続審議が必要であるが、4.9GHzについては審議が十分になされているとして米国が今回の審議にてDNRの承認をへてRAへと進めることを主張した。前回第19回会合の最終のプレナリにて、シリア・オランダ等からPPDRの周波数配置勧告案としては複数の文書に分割されている事に懸念があると指摘され、統合する方向で再検討することとなり、PDNRとして完了せず議長レポートに添付してキャリアオーバーされたが、今回その事項についての指摘は無く審議は続行された。

同時にAPTからのPPDRに関する勧告及び改訂案(8A/494)が入力されており、これは有益な情報であるので、積極的に活用する旨の意見が議長からなされ、DG議長がマージ案を作成し、それに沿ってDNRを作成する方向で審議するものとした。

今回の出席者は少なく、DGにおいてはほぼ、日本とアメリカが対話する形にて審議が進んだ。

審議において日本から、今回のDNRはそのタイトルを含めチャンネルプランに関する審議であり、APTの勧告案に記載されている電力やスプリアスエミッションの規格に関してはITUにて十分に審議されてないので、チャンネル案だけをマージする方向ではどうかとの提案を行い。これに対して了承を得た。チャンネル案に関しては改定案の方を採用し、チャンネル案について対応が出来ていない国があるとの、コメント追加案が採用された。

最終プレナリにおいて、シリアからPPDRは重要な活動であり、各活動体へのアナウンスが必要であり、また、アマチュア無線に関する記述も今後必要であろうとのコメントがあり、WG1の議長が各組織へのアナウンスと内容の検討をすることとした。またチャンネルプランが複数あることについてもシリアの質問があり、次回のAPTでもチャンネル案について更なる議論をする準備があることをブルネイがコメントした。

他、エディトリアルな修正を行い、本勧告案は最終プレナリに提出され、幾つかの質問とエディトリアルな修正を加えてDNRとして了承され、SG8に提出されることとなった。

更に、現在のQuestionのリストが古くなり、改訂確認が必要であるとのカナダからの寄書による古いQuestionの改定に関する入力(8A/514)に対しての審議を行った、各WGへの審議の分担について、シリア・アメリカなどから確認されたが、WP8A議長の判断として行われたとの報告がWP8A議長からあり、その上で、WG3担当となった二つについて確認作業が行われた。審議の結果についてはWG3の議長報告に記載されることとなった。

更に、前回の議長レポート(8A/468 Annex 1)に記載されているように、古い勧告等を削除等レビューする必要があるとして計画されており、本会期が最終のタイミングとなった。

会合の初期段階で、米国が全て残したい旨の提案(8A/524)をしていたが、すでにその議論の時期は過ぎたとして、成果をだすべく、その場でカナダ(8A/517)案をベースに、項目ずつ審議された。

結果は、チェアマンズレポートに添付して改定しプレナリに提出となった。日本としての基本方針と齟齬がなかったため、特段の議論無く了承した。

その他の技術的報告として、第一回プレナリにおけるRegion1のラポーターレポートの中で、Region1でのPPDRに向けたCEPT取り組みの活動が報告された。報告書はwww.ero.dkのWEB-siteにて、公開されている(ECCREP102.doc)

出席者は、B.Kimberly、P. Najarian、L.Amy (米)、Yulia (露)、M.Zijian (中)、成澤、山崎、小山、酒井原 (日)など、WG3議長を含めて合計15名であった。

入力文書:494 (APT); 525 (USA)、517 (Canada)

出力文書:8A/TEMP/285(WG3議長報告)、8A/TEMP/281Rev1

2.3.1 新勧告案「公共保安及び災害救援(PPDR)のための調和の取れた周波数チャンネル計画」の審議

入力文書:494 (APT); 525 (USA)

出力文書:8A/TEMP/281Rev1

アメリカが(8A/525)にて、Region2、3における、PPDR用周波数4,940-4,990MHzに關しての具体的なチャンネル計画をPDNR案として提出。他の周波数帯域としては継続審議が必要であるが、4.9GHzについては審議が十分になされているとして米国が今回の審議にてDNRの承認をへてRAへと進めることを主張した。前回第19回会合の最終のプレナリにて、シリア・オランダ等からPPDRの周波数配置勧告案としては複数の文書に分割されている事に懸念があると指摘され、統合する方向で再検討することとなり、PDNRとして完了せず議長レポートに添付してキャリーオーバーされたが、今回その事項についての指摘は無く審議は続行された。またWG3議長の意見としては、統合ドキュメントにするには特にUHF帯の周波数の意見統合が必要であり、これには各国の調整課題(前回の議論でもロシアがRegion1での周波数配置に關して強い反論を展開)多いので検討完了されているものから勧告化するのが現実的であるとのコメントを受けた。

同時にAPTからのPPDRに關する勧告及び改訂案(8A/494)が入力されていた。これは有益な情報であるので、積極的に活用する旨の意見が議長からなされ、DG議長がマージ案を作成し、それに沿ってDNRを作成する方向で審議するものとした。

今回の出席者は少なく、DGにおいてはほぼ、日本とアメリカが対話する形にて審議が進んだ。

審議において日本から、今回のDNRはそのタイトルを含めチャンネルプランに關する審議であり、APTの勧告案に記載されている電力やスプリアスエミッションの規格に關してはITUにて十分

に審議されていないので、チャンネル案だけをマージする方向ではどうかとの提案を行い。これに対して了承を得た。チャンネル案に関しては改定案の方を採用し、チャンネル案について対応が出来ていない国があるとの、コメント追加案が採用された。

結果としてAnnex1にChannel PlanAとして米国案が、Annex2にChannel PlanBとしてAPTから提案されたチャンネル案が記載された。

また、noting(にのg)に周波数チャンネル案のベースとしてRegion2はCITELの文書を参考に行っていること、h)にRegion3はAPTの文書を参考に行っていること、i)に前回フットノートに記載されていた決議646の中の、PPDRとしての運用は現用のシステムを何ら阻害しないとされた部分の引用がなされた。

本勧告案はPDNRとして最終プレナリに提出され、DNRとして了承され、SG8に提出されることとなった。

アメリカとしては、今回は周波数プランだけだが、次回は電力やエミッションマスクについても事前にメール交換なども含めて検討したい旨のコメントがあった。

2.3.2 Question改訂案の審議

入力文書:514 (Canada)

出力文書:8A/TEMP/285(WG3議長報告)

現在のQuestionのリストが古くなり、改訂確認が必要であるとのカナダからの寄書による古いQuestionの改定に関する入力(8A/514)に対して審議した。各WGへの審議の分担について、シリア・アメリカなどから確認されたが、WP8A議長の判断として行われたとの報告がWP8A議長からあり、その上で、WG3担当となった二つについて確認作業が行われた。

37-4: Systems with improved spectrum efficiency for the land mobile service
タイトルと内容の変更を確認し、2010年までの検討に変更しRevisedされた。

213-0: Transmission of data messages on shared private land mobile
radio (PMR) channels
特に指摘事項無くSuppressed

審議の結果についてはWG3の議長報告に記載されることとなった。

2.3.3 その他の技術的報告

入力文書:549 (Region1 Rapporteur)

第一回プレナリにおけるRegion1のラポーターレポートの中で、Region1でのPPDRに向けた

CEPT取り組みの活動が報告された。報告書はwww.ero.dkのWEB-siteにて、公開されている(ECCREP102.doc)

紹介されているドキュメントの概要は以下の通りで、ラポータレポートの3.Public protection, trunking and paging(公共保安・トランキング・ページング)にて報告されている。

公共保安及び災害救援(Public Protection and Disaster Relief (PPDR))については、ワイドバンド・ブロードバンドアプリケーションにおける現状の報告、PPDRのための周波数配分要求事項に関する検討、候補周波数が記載されている。

また、380-470 MHzをワイドバンドの緊急通信システムとして活用する検討をしているとの報告がされている。

また、連携する内容として、ブロードバンド災害救助(Broadband Disaster Relief (BBDR))に関し、ドラフト版のレポート109に5725 MHz to 5925 MHzの周波数帯域、110に4940-5925 MHzの周波数帯域の活用に関する活用検討の報告があること、更に、テトラデータサービス拡張(TEDS: TETRA Enhanced Data Service)の活用検討の報告が099のEECLレポートとして公開されている旨の情報が提供された。

2.3.4 Land Mobile Handbook Rapporteur ReportのSection9のレビュー

(前回の議長レポートの古い勧告案・レポートの削除改定の検討。(8A/468 Annex 1)と連動)

同ドキュメントはLand Mobile Handbook Rapporteur Report「Guide to the use of itur texts related to the land mobile services」でSection9はTrunked Systemsに関する記述。参照記載されている勧告の内容が古いため、レガシー規格(1980'sと1990'sの勧告)削除の検討を継続。最新の情報源としてはVolume 3 “Dispatch and Advanced Messaging Systems” of the Land Mobile Handbook published by the ITU-R in 2005.。古い規格を削除、バージョンアップ、レポート作成の三つのカテゴリで作業を継続すると前回方針を決めたが、実際活動や提案は無かった。本会期が最終のタイミングとなった。

会合の初期段階で、米国が全て残したい旨の提案(8A/524)をしていたが、すでにその議論の時期は過ぎたとして、成果をだすべく、その場でカナダ(8A/517)案をベースに、項目ずつ審議された。

Recommendation M.539-3 (1994) -: Suppress.

Recommendation M.584-2 (1997) -: No Change

Report M.499-5 (1990): Suppress

Report M.741-3 (1990): For further Study.

Report M.900-2 (1990): Suppress>>米国が反対してFor further Studyに。

Report M.901-2 (1990): For further study

上記の内容で、チェアマンズレポートに添付して改定しプレナリに提出となった。日本として

の基本方針と齟齬がなかったため、特段の議論無く了承した。

2.4 WG4(干渉保護条件及び共用研究)

(1) 議長: Bruno Espinosa (仏)

(2) 主要メンバー: C.Legutko (独)、J.Costa、J. Sider、R. Hafez (加)、K.Baum(米)、J.Dixon (英)、A.Jamieson (NZL)、M.Kraemer (独E-Plus)、J.Wilson (米Arraycomm)、J.Ragsdale (米Ericsson)、C.Rush (米Qualcomm)、R. Arefi (米Intel)、D. Jayasuriya (WiMaxフォーラム)、成澤、中山、藤本、上野、山崎、上村、(日)など約30名。

18件の入力文書を審議し、9件の出力文書を作成した。

(3) 入力文書: 8A/469(BR), 8A/471+Corr.1(WP3M), 8A/488(BR), 8A/492(WP3K), 8A/495(ATIS), 8A/512R1(Lucent), 8A/518(Canada), 8A/527(E-Plus), 8A/531(The Netherlands), 8A/534(LMS-CHAR-BWA議長), 8A/548(WP8F), 8A/483(WP7C), 8A/489(BR), 8A/498(WP6J), 8A/506(Japan), 8A/551(WP4A), 8A/552(WP1A), 8A/553(WP1A)

(4) 出力文書: 8A/TEMP/264, 8A/TEMP/274R1, 8A/TEMP/280R1, 8A/TEMP/282R1, 8A/TEMP/277, 8A/TEMP/278, 8A/TEMP/279, 8A/TEMP/295, 8A/TEMP/296

(5) 審議概要

WG4は、干渉保護条件及び共用研究について審議するWGである。本WGは今会合中9回開催され15件の入力文書を表1に示す2つのドラフティンググループ(DG)と一つのAdHocを設置して審議し、それらに該当しない部分についてはWG4で直接審議した。

審議の結果、デジタルセルラーの共用検討のための特性パラメータの新勧告案、陸上移動業務の共用検討の為の特性パラメータ及び検討方法のガイダンスの新勧告案、移動業務として運用しているENGシステムの新勧告案、陸上移動業務のBWA共用検討のための特性パラメータの新レポート案、及びこれらに関連するWP1A、WP3J、WP4A、WP6J、WP9D、WiMAX_Forum等への5つのリエゾン文書を含め合計9件の出力文書を作成した。

2.4.1 デジタルセルラーの共用検討の為の特性パラメータ(新勧告案M.[LMS.CHAR.CELL])

(1) 入力文書

8A/512R1(Lucent)

(2) 出力文書

DNR M.[LMS.CHAR.VHF-UHF] : 8A/TEMP/264

(3) 審議概要

出力されたDNRは、Questions ITU-R 1-3/8,ITU-R 7-5/8に基づくものであり、干渉保

護条件及び共用研究のためにパラメータを勧告化あるいは報告するものである。前回会合までにある程度審議は進んでおり、今回8A/512R1 (Lucent)により、CDMA2000(1X)の情報が修正入力された。審議はWG4議長が直接WG4の場で扱い、議論となるような大きな問題もなく新情報の入力、若干のエディトリアル修正の後、DNR昇格が決定した。

2.4.2 陸上移動業務の共用検討の為の特性パラメータ及び検討方法のガイダンス(新勧告案 M.[METH.SHAR.LMS])

(1)入力文書

8A/518(Canada), 8A/531(The Netherlands)

(2)出力文書

DNR M.[METH.SHAR.LMS] :8A/TEMP/282R1

(3)審議概要

陸上移動業務に関する共用検討を行うための方法に関する新勧告案。今回会合で、カナダ、オランダから寄書があり、両者が競合する干渉緩和技術の記載部分を中心に検討が進められた。審議はWG4議長が直接WG4の場で扱い、干渉緩和技術のカテゴリ区分について勧告2024を参照する、タイトルを「陸上移動業務の共用検討の為の特性パラメータ及び検討方法のガイダンス」とガイダンス的意味合いとする等、大きな問題無く合意し、DNRとして承認された。

2.4.3 移動業務として運用しているENGシステムのシステムパラメータ(新勧告案 M.[ENG])

(1)入力文書

Annex 7 of 8A/468, 8A/489(BR), 8A/498(WP6J), 8A/506(Japan)

(2)出力文書

DNR M.[ENG] :8A/TEMP/280R1

8A/TEMP/278, 8A/TEMP/279

(3)審議概要

今会合では、WP6Jから800MHzのデジタルラジオマイクの情報がリエゾンとして入力され、日本からの40GHzのビデオリンクシステム、Walkie/talkieシステム、ラジオマイクシステム、音声FPUのパラメータの入力と合わせて、PDNR M.[ENG]をDNR M.[ENG]とする提案を行った。その際、米国より送信出力-20dBm以下のラジオマイクシステムの非ライセンス局のパラメータは保護の対象にならないと理由で、勧告に含める事に対して疑義が出され、本件も含めてDG8A4-ENGで検討する事となった。

DG8A4では、米国が再度、免許の不要なシステムは保護の対象ではなく、共用検討を行う必要が無い為、その旨を勧告案に明記するか、削除する事を求めた。

それに対して、仏国は、ITU-Rでは免許不要局は共用検討の対象にならないが国レベルでは行う事、その為、この情報は有用なので、新勧告案ではなく、BWAシステムのレ

ポート案と同様にレポート案にすることを提案した。

日本より、免許不要局をすべてAppendixに移して、これらは共用検討の対象とならないこと、及び、本勧告案のスコップであるBASのシステム特性を表現しているのみと明記することで理解を求めたが、豪州より「新勧告案のタイトルが明確に共用検討を目的としている為、そのスコップを広げる必要がある。例えば、免許不要局を削除して、その部分のみをレポートにすればどうか」との提案がなされた。

日本より、SG9では固定運用ENGの勧告F.1777が出来ている事、ラジオマイクシステムのレポートをSG8で作成するとSG6で作成したレポートBT.2069と重複する可能性がある事をコメントし、SG8では勧告を作成すべきとコメントし、結局、WP6JにWP8Aに入力された免許不要局のパラメータを送り、SG6で作られているITU-R Report BT.2069で扱ってもらうように要請する事となった。

また、豪州、仏国より、対象とされている周波数帯で、移動局の割り当てのない国や地域が含まれている事が指摘され、対象としている移動局の周波数帯の割り当て状況を情報として記載する事となった。

上記の結果、WP8Aで一部エディトリアルな修正を加えた後、SG8へDNR M.[ENG]として上程される事となった。

なお、WP8Aに入力されたラジオマイクシステムのパラメータをWP6Jに送付する、また、PDNR M.[ENG]をDNR M.[ENG]としてSG8に上程するリエゾンが作成された。

2.4.4 陸上移動業務のBWA共用検討のための特性パラメータ(新レポート案 M.[LMS.CHAR-BWA])

(1) 入力文書

8A/495(ATIS), 8A/527(E-Plus), 8A/534(LMS-CHAR-BWA議長)

(2) 出力文書

DNReport M.[LMS.CHAR-BWA] :8A/TEMP/274R1

8A/TEMP/296

(3) 審議概要

周波数共用検討、干渉検討のための陸上移動BWAシステムの技術特性を列挙するもの。前回会合までWiMAX、HC-SDMA、次世代PHSの3つのBWAシステムの特性が列挙されており、更に今回会合までにコレスポンスグループにて内容拡充が図られてきた。寄書は3通入力されており、1通はBWA勧告M.1801に掲載されている残りのBWAシステムの特性値の入力文書(ATIS)、1通はコレスポンスグループの結果を踏まえた本DG議長(Justine Sider (加))からの更新文書、もう1通はWiMAXのACLR値、ACS値に疑問を投げかける文書(E-Plus)となっている。

本件についてはWiMAXのACLR値について特に問題視されており、WP8Fでも同様に問題視された経緯がある。そこで本会合での審議はWiMAXのACLR値についての審議は

WG4議長がAdhoc_Groupにて直接扱い、それ以外のドラフティングについては前回のDG議長であるSider氏(加)が扱う事となった。

- ・ Adhoc-ACLRでの議論

WiMAX_Forumより以前に入力され、本レポートに記載されているACLR値は、WiMAX_Forumから公開されているスペクトラムマスクから算出した値に比べて大きく異なる(本レポート記載値が10dB以上優れている)事が、議論の原因。主に問題視しているのはE-Plus(独)、エリクソン、クアルコムであり、あくまで元の値を主張するのは、主に米、インテル、WiMAX_Forumである。別途WiMAX_Forumに問い合わせた結果として、ACLR値は未だ検討中との回答といった報告もあり、議論は収束を見ず、最終的にはACLR値は元のままの記載とするが、脚注にて問題点があることを記載することとし、WiMAX_Forumには別途問い合わせのためのリエゾンを発出することで決着した。

- ・ DGでの議論

DGではATISの入力内容を本レポートに取り込むか否かが議論(主に取り込みで難色を示したのはインテル等のセクターメンバー)となったが、入力してきているシステムはBWA勧告M.1801に含まれる技術のため、取り込むことで合意された。また、特性表の項目のうち、アンテナ偏波面、IFフィルター帯域幅、感度抑圧値、相互変調特性、ダウンチルトによる損失、については削除することで合意。その他、次世代PHSのACS値を条件の明確化により変更するなど、幾つかの変更があったが、大きな議論は無く、WiMAXのACLRの部分を残したままDGレベルで合意された。

WG4レベルにてDGにて作成された文書にAdhoc-ACLRでの合意内容を盛り込み、いくつかの表現上の修正を実施し、WP8AレベルにてDNReport化が承認された。また、同時にWiMAX_ForumにACLR値についての問い合わせのリエゾンの発出が承認された。本レポートは次回WP8A会合以降もWiMAX_Forumからの回答によって修正される可能性がある。

2.4.5 リエゾン文書の作成

(1) 入力文書

8A/551(WP4A), 8A/552(WP1A)

(2) 出力文書

8A/TEMP/277, 8A/TEMP/295

(3) 審議概要

8A/551(WP4A)により、3.4GHz~4.2GHzにおけるFSS-BWA間の共用検討を行いたいとの意思表示に対して、WP4Aに対しての情報提供と要望の確認を行うリエゾンを作成した(8A/TEMP/277)。

8A/552(WP1A)により、WP3Jへ無線システムの通常の帯域幅の情報を伝えることが必要となり、WP8A作成のシステムの帯域幅を記載した各勧告及びレポートの情報を伝えるリエゾンを作成した(8A/TEMP/295)。

2.4.6 その他

(1) 入力文書

8A./469(BR), 8A/471+Corr.1(WP3M), 8A/488(BR), 8A/489(BR), 8A/492(WP3K), 8A/548(WP8F), 8A/483(WP7C), 8A/553(WP1A)

(2) 出力文書

無し

(3) 審議概要

各リエゾンは情報入力のみであり、今回、外部へのアクションは行わないこととした。

2.5 WG5(New Technology and Service)

(1) 議長: 吉野 仁(日本)

(2) 主要メンバー: J.Costa、R. Hafez (カナダ)、S.W.Tan (英)、P. Martingne (仏テレコム)、P.Goria(テレコム伊)、G. Owen (蘭)、B. Wolf (独)、P. Najarian、R.Leclair、E. Schimmel (米)、J.Ragsdale (米Ericsson)、成澤、吉野、榎木、山崎、酒井原、藤本、上野(日)など約30名

(3) 入力文書: 8A/473 (WP1B), 8A/522 (カナダ), 8A/487 (WP8F), 8A/493 (WP6S), 8A/499 (WPs 9B and 9D), 8A/509 (日), 8A/511 (IEEE), 8A/520 (カナダ), 8A/532 (蘭), 8A/533 (英), 8A/535 (FT), 544 (WP 4A), 8A/472 (OMA), 8A/476 (WP8D), 8A/477 (IEEE), 8A/480 (Alcatel-Lucent, Motorola, Nokia, Siemens, Telecom Italia), 8A/491 (WP 8F), 8A/496 (ITU-T TD 348R1 and TD 485), 8A/474 (ITU-T SG 15), 8A/475 (ITU-T SG 15), 8A/485 (WP 8F), 8A/542 (WP 9B), 8A/519 (カナダ), 8A/482 (ITU-T JCA-NID), 8A/486 (WP 8F), 8A/508 (日)

(4) 出力文書: 8A/TEMP/263, 8A/TEMP/267R1, 8A/TEMP/298R1, 8A/TEMP/273, 8A/TEMP/283R1, 8A/TEMP/261R2, 8A/TEMP/275R1, 8A/TEMP/276, 8A/TEMP/284R1

(5) 審議概要

WG5は、ソフトウェア無線(SDR: Software Defined Radio)、移動通信のIPアプリケーション、コグニティブ無線のような新技術やサービスについて審議するWGである。本WGは今年会中9回開催され、24件の入力寄与文書を審議し、8件の出力文書を作成した。

WG5では、移動システムにおけるIPアプリケーションに関するレポート草案 [IP

CHAR]、WP8A、WP8Fにて統合されたソフトウェア無線レポート草案の作成を完了し、DNR化されSG8会合に送付された。また、コグニティブ無線のレポート草案作成に向けた作業文書の作成を開始した。さらに、WG5に関連するITU-Rの既存のQuestion、勧告、レポートの見直しを行い、SG8会合に対して削除/維持の提案をするかを議論しリストを作成した。

2.5.1 移動通信システムのIPアプリケーション (レポート草案作業文書[IP CHAR])

入力文書: 8A/472 (OMA), 8A/476 (WP8D), 8A/477 (IEEE), 8A/480 (Alcatel-Lucent, Motorola, Nokia, Siemens, Telecom Italia), 8A/491 (WP 8F), 8A/496 (ITU-T TD 348R1 and TD 485)

出力文書: 8A/TEMP/263 (レポート草案 DN Report M..[IP CHAR])

WP8AとWP8Fで共同して作業を進めているIPアプリケーション作業文書については、入力されたりエゾンの確認をした後、前回会合での予定通り、8A/491(WP8F)のattachmentをベースにeditorial面の修正のみを行い完成した(8A/TEMP/263)。プレナリでDNR化が承認され、SG8に送付された。

2.5.2 コグニティブ無線

入力文書: 8A/487 (WP8F), 8A/493 (WP6S), 8A/499 (WPs 9B and 9D), 8A/509 (日), 8A/511 (IEEE), 8A/520 (カナダ), 8A/532 (蘭), 8A/533 (英), 8A/535 (FT), 544 (WP 4A)

出力文書: 8A/TEMP/283R1

コグニティブ無線に関しては、前回のSG8会合にて研究課題草案 (DNQ ITU-R M.[8A/CR])が承認されたことを受け、作業文書の作成を開始した。

まず、方針としてレポート作りのための作業文書とすることで合意した。続いてフレームワーク(目次)を、日本(8A/509)、カナダ(8A/520)、英国(8A/533)案をベースに作成した。さらに、各国入力寄書から相当部分を切り出して、作業文書に配置していった。

Introduction/scope/definition等については、記載があったカナダ寄書から引用した。各国のR&Dの内容紹介として、フランステレコム(8A/535)のCPC(Cognition supporting Pilot Channel)、オランダ(8A/532)の白色周波数帯の利用が、引用された。日本の入力(前回入力のR&D紹介を今回Attachmentとして入力したもの)については、最新の動向にupdateした上で次回入力する旨、日本より意思表示したためPLACE HOLDERが設けられた。

尚、本作業文書(TEMP/283R1)は、議長報告に添付してキャリアフォワードされた。

2.5.3 SDRレポート案 ([IMT.SDR]及び[LMS.SDR]の統合レポート)

入力文書: 8A/376 (ANNEX 14、議長報告)

出力文書:8A/TEMP/261R2

ソフトウェア無線レポートに関しては、引き続きWP8B、WP8Dの入力待ちの状態であったが、WP8Bは独自のSDRレポートを作成し、WP8DではSDRに関する検討はされていないことから、WP8B,WP8DのためのPlace Holderを削除し、タイトルからWP8B、WP8Dの所掌部分を削除してSoftware defined radio in the land mobile service, amateur and amateur satellite servicesとした。

図番号、章番号のレファレンス等のエディトリアルな修正を加えて完成し、プレナリでDNR化が承認され、SG8に送付された。

2.5.4 ITU-Rテキスト(既存Question、勧告およびレポート)の見直し

入力文書:8A/514(カナダ), 8A/519(カナダ)、8A/524(米)

出力文書:8A/TEMP/290, 8A/TEMP/273

Questionの見直しをカナダ案に沿って審議し、以下の結論となった。

削除⇒107-1、114-0、214-0

改訂⇒77-5(target year)、101-3(具体化)、208-0、215-1、223-1(target year)、224-1(target year)、230-1(target year)

上記のうち、特に224-1<adaptive antenna>についてはカナダが238<BWA>のdecides3で範囲をより広範に検討できることを理由に削除を提案したのに対し、米国(J.Wilson)が強硬に反対し合意に至らなかった。

勧告・レポートの見直しについては米国案(前回合会で、カナダ案に対して米国の検討未了を理由に延長となったので、米国が今回提示)に沿って審議された。結果は以下の通りとなった。

削除⇒M.740-2, M.742-4, M.899-1, M.903-2, M.1020, M.1022-1, M.1024

2.5.5 WP1Bで検討中のSDRとコグニティブ無線のPDNRについてのリエゾンバック

入力文書:8A/473 (WP1B), 8A/522(カナダ)

出力文書:8A/TEMP/259

WP1Bが作成することを検討中の、SDRとコグニティブ無線についてのPDNQに関して各WPIに意見を求めたリエゾン文書(8A/473)に対する回答を審議した。

カナダ案(8A/522)では、SDR並びにコグニティブ無線が効果的な周波数管理に有用であるというような表現で、PDNQ作成に同意する内容であり日本もこれをサポートする意見を出したが、シリアが随所で表現の修正を提案し、結果、差し障りの無い文書になった(8A/TEMP/259)。

今後も本PDNRに対してWP1Bの動向を注視する必要がある。

2.5.6 ANTSに関するITU-Tへのリエゾンバック

入力文書: 8A/474 (ITU-T SG 15), 8A/475 (ITU-T SG 15), 8A/485 (WP 8F),
8A/542 (WP 9B)

出力文書: 8A/TEMP/276 (ITU-T SG15へのリエゾン)

ITU-T SG15からANTS(Access Network Transport Standardization)標準全般と作業計画を最新化したとしてWP8Aへも寄書入力された。WP8Aでは、リエゾンの内容を審議し、ITU-T SG15に対してWP8Aに関連する勧告の情報(勧告ITU-R M.1797,M.1801)をリエゾンとして送ることとした(Doc.8A/TEMP/276)。

2.5.7 RFIDについてのITU-T JCA-NIDへのリエゾンバック

入力文書: 8A/482 (ITU-T JCA-NID)

出力文書: 8A/TEMP/284R1 (ITU-T SG16へのリエゾン)

「JCA-NID に参加するコーディネータは設けられないが、ネットワークにおけるRFIDとのインタフェースに興味があるので、コンタクトポイント(吉野議長)は指定する」との趣旨の文書にて、承認された。

2.5.8 Multimedia BroadcastについてのWP6Mへのリエゾンバック

入力文書: 8A/550 (WP6M)

出力文書: 8A/TEMP/275 (WP6Mへのリエゾン)

本リエゾンは「DNR for broadcasting of multimedia and data applications for mobile reception by Handheld receivers」に関するものである。WG2議長の申出がありjointで回答を作成。WP8A、WP8Fにて作成したDNR M.[IP.CHAR]、LMH中のITS章、M. 1453-2の各情報を記載した回答を作成した。

2.5.9 WRC-07議題Item1.4関連のWP8Fからのリエゾン

入力文書: 8A/486 (WP8F)、8A/508(日)

出力文書: 8A/TEMP/267R1

WRC-07議題1.4でIMT-Advancedの周波数帯を決めることになっており、WP8Fでは候補周波数帯の1つである3400~4200MHzのうち3400~3700MHzのRadarとの共存検討を行っている。8A/486はWP8Aに対し5GHz帯のM.1652が3.5GHz帯で適用できるか問合せをおこなってきたものである。

日本案(8A/508)をベースとして、WP8AではIMT-Advancedに関して使えるかどうか判断できないと断った上で、コメントとしてM.1652のMethodologyは周波数に関係ないこと、パラメータ、条件を当該周波数に合わせることによって、他の帯域においても使えると考えられること

を記載した回答を作成した。

2.6 WG7(RLAN, BWA)

(1) 議長: S.Bond氏(英)

(2) 主要メンバー: J. Costa(カナダ)、J. Sider(カナダ)、K. Baum(米)、P. Najarian(米)、成澤、吉野、藤本、上村、上野(日)など約20名

(3) 入力文書: 8A/468 Annex 12 (WP8A議長), 8A/470 (BR), 8A/490 (WP8A, WP9B議長), 8A/502 (ARIB), 8A/503 (SG9), 8A/507 (Japan), 8A/514 (Canada), 8A/515 (Canada), 8A/523 (USA), 8A/524 (USA), 8A/526 (USA), 8A/537 (WP9B), 8A/538 (WP9B議長), 8A/539 (France)

(4) 出力文書: 8A/TEMP/270R1, 8A/TEMP/291

(5) 審議概要

WG7は、無線LAN(RLAN: Radio Local Area Network)、BWA(Broadband Wireless Access)のような高速ワイヤレスアクセスシステムについて審議するWGである。本WGは今会合中7回開催され、14件の入力文書を審議し、2件の出力文書を作成した。

WG7では、表1に示す2つのドラフティンググループ(DG)を設置し、それぞれ、無線LAN勧告M.1450の改訂案の作成、Dynamic Frequency Selection(DFS)試験方法の新レポート案の作成を行った。

2.6.1 無線LAN勧告M.1450の改訂

(1) 入力文書: 8A/468 Annex 12 (WP8A議長), 8A/502 (ARIB), 8A/507 (Japan), 8A/515 (Canada), 8A/523 (USA), 8A/537 (WP9B), 8A/538 (WP9B議長)

(2) 出力文書: 8A/TEMP/270R1

(3) 審議概要

勧告M.1450の改訂について今回会合では、計2回のドラフティンググループ(DG)で審議され、日本、カナダと米国からの入力寄書をマージした作業文書をもとに審議が行われた。主に焦点となった改訂内容は、(1)無線LANスタンダードの表記、(2)地域別の無線LANの諸元表の表記、(3)固定BWAレポートF.2086の参照、(4)本勧告のガイダンス性の表現についてである。

- (1) 無線LANスタンダードをまとめたTable 2の中にIEEE802.11jを加えることを日本が提案し反映した。ARIB寄書(8A/503)のHiSWANaに関するエディトリアルな修正と技術情報の更新について反映した。
- (2) 2.4GHz帯及び5GHz帯無線LANについて、各地域(米国、カナダ、ヨーロッパ、日本)の使用周波数、送信電力及びアンテナゲインの規格値を、これまでの本文中のTable 2と切り離してAnnex 2中のTable 3に記載することが米国から提案された(8A/523)。この提案が承認され、日本の2.4GHz帯及び5GHz帯無線LANの諸元Table

3に反映し、5GHz帯の項目に4900-5000MHz(登録局)を記載した。

- (3) 現在の勧告M.1450-2のRecommend 6 で参照されている勧告F.1244が削除される(8A/398)という前提で、前回会合で米国は勧告F.1244の参照を固定BWAレポートF.2086に変更することを主張し、これに対しカナダはrecommendsではなくnotingにすることを主張した。しかし、今回会合で米国は、recommendsでレポートを参照する主張を取り下げた。一方、勧告F.1244が2007年無線通信総会後のSG9会合まで削除されずに残ることになったが(8A/538)、勧告M.1450では勧告F.1244の参照は削除されて、結果的にカナダ案の通り、レポートF.2086をnotingで参照することになった。
- (4) 日本は新Scopeを提案して本勧告が無線LANシステムの一般的なガイダンスであると提案し反映された。無線LAN を含めたBWAシステムの他の情報が勧告M.1801と勧告F.1763で提供されていることをnotingで記載した。NOTEには排他的な勧告としないという内容が記載された。

DGで作成した改訂草案文書がWP8Aで一部エディトリアルな修正を加えた後、SG8へDraft Revision of Recommendation ITU-R M.1450-2として提出されることとなった。また、WP9Bからのリエゾン8A/537と8A/538に対して、WP8Aの活動状況報告を知らせるリエゾンにF.1244の参照削除を知らせる内容を盛り込むことが承認された。

2.6.2 5GHz帯のレーダと無線アクセスシステムの共用技術(DFS: Dynamic Frequency Selection)について

- (1) 入力文書: 8A/470 (BR), 8A/490 (WP8A, WP9B議長), 8A/526(USA) , 8A/539(France)
- (2) 出力文書: 8A/TEMP/291
- (3) 審議概要

DFS試験方法に関して、日本が今回会合前にコレスポネンスグループに入力した勧告提案に対して、米国は日本の勧告提案を組み込んだ上で、試験方法のアップデートや各主管庁提案の追加が比較的容易に行えるレポート化を提案した(8A/526)。米国提案寄書をもとに審議が行われ、DGが1回開かれた。レポートあるいは勧告については、日本はDFS試験法ということから早期に決着を図ることが望ましいことから、レポートとすることを承諾した。

本レポートのAnnex Aに日本の試験方法が盛り込まれ、Background, Scope, Proceduresを今回会合で修正し反映した。また、DFSの要求条件と試験手順について日本の最新情報を記述した総務省のWEBサイトのURLをAnnex Aに記載した。Annex Bに米国(FCC)、Annex CにETSI、Annex Dにカナダの試験方法が盛り込まれ、それぞれの5GHz帯無線LAN認証規則に関する情報が得られるWEBサイトのURLを記載した。

WP8Aでの審議の結果、Draft New Report ITU-R M.[8A/DFS-IMPLEMENTATION]が承認され、SG8へ提出された。

フランスから、5GHz帯無線LANのDFSが機能しなかったために気象レーダに影響したことの報告があった(8A/539)。特に審議は無かったが、この問題についてアクションを起こす

前に更なる情報が必要であるとWG7議長からあり、DFSに関するコレスポネンスグループの活動は継続することになった。

2.6.3 WG7関連の研究課題の見直し

- (1) 入力文書: 8A/514(Canada), 8A/524(USA)
- (2) 出力文書: なし
- (3) 審議概要

カナダが提案した、Question 212-2のカテゴリ変更、内容のエディトリアルな修正及び期限を2010年に延長する提案が承認された。また、Question 238の期限も2010年に延長する提案が承認された。

2.6.4 その他

- (1) 入力文書: 8A/503(SG9)
- (2) 出力文書: なし
- (3) 審議概要

SG9からのリエゾンで、勧告F.1490の改訂に関して8Aに意見照会している。改訂内容は、勧告F.1104の一部を勧告F.1490の新Annex2と3への移行である。勧告F.1490の改訂に関して特にコメントがなく承認された。

2.7 Land Mobile Handbook (LMH) vol.5_BWA

- (1) 議長: Reema Hafez (加)、Justin Sider (加、vol.5エディター)
- (2) 主要メンバー: J.Costa、J. Sider、R.Hafez (加)、K.Baum(米)、M.Kraemer(独 E-Plus)、J.Wilson (米 Arraycomm)、J.Ragsdale (米 Ericsson)、C.Rush (米 Qualcomm)、R. Arefi (米 Intel)、D. Jayasuriya (WiMaxフォーラム)、P.Goria (伊テレコムイタリア)、M.Thompson (GSM_Association)、成澤、藤本、小山、吉野、上野、上村、(日)など約30名。

2件の入力文書を審議し、1件の出力文書を作成した。

- (3) 入力文書: 8A/513(GSMA), 8A/543(Editor Vol.5)
- (4) 出力文書: 8A/TEMP/293, 8A/TEMP/294
- (5) 審議概要

LMH議長(ラポータ)はHafez氏(加)だが、現在の議論はvol.5のBWAが対象であり、vol.5エディターであるSider氏(加)が議長として3回の審議を実施した。LMHはコレスポネンスグループにて審議を進めており、現在、本会合直前まで情報入力していたシステムはHC-SDMAと次世代PHSのみであったが、今回寄書としてGSM AssociationからHSPAの情報が入力され、会合直前にコレスポネンスグループにクアルコムからCDMA-MCの情報が入力された。IMT-2000についてはLMHに専用の章があるので、

BWAの章で扱うべきかどうか議論になったが、最終的には補完関係として記載することとなった。また、外部機関に情報入力のリエゾンを発出することとし、その中で情報入力のガイダンスを示した上で締切りを2007年12月1日とし、LMHレポートとvol.5エディターを連絡先とした。尚、今後もコレスポネンスグループにて作業は継続。

3 今後の予定

3.1 WG1

WP8Aの次回会議でWG1が審議する主な課題は以下である。

- 1) ITU-R勧告M.1740について、削除の可能性を検討すること。
- 2) 研究課題Q 48について、非常通信に関する検討を継続すること。
- 3) ITU-R勧告M.1677の改訂について検討すること。
- 4) RR第25条及びITU-R勧告M.1544に関連し、国際免許(許可)制度に関する検討を始めること。
- 5) WRC-07の結果を受けた検討を行うこと。

3.2 WG2

【2004-2007年 WP8Aにおける審議課題の進捗状況】

WG2議長から以下の活動と議題と進捗状況について報告があった。

- (1) 次世代ITS無線通信システムに関する作業項目の完了(継続)
- (2) LMH Vol.4 ITSの完成(完了)
- (3) DSRC-ASLの勧告化 (勧告改訂済:ITU-R M.1453-2)
- (4) ミリ波ITS通信に関する勧告化の推進(今回WP8A会合でPDNR及びPDNRRepを目指した作業文書を出力)
- (5) 5850-5925MHzの干渉検討(必要に応じて)(継続)
- (6) 国際標準化機関(APT(ASTAP), ETSI, CITELE, IEEE等)とのリエゾンの推進(継続)
- (7) 新しい無線技術に関するセミナーの支援(継続)

3.3 WG3

WP8Aの次回会議でWG3が審議する主な課題は以下のようなものである。

- (1) 今回含め継続されるPPDRにおける周波数計画の勧告化に関する審議。
- (2) 決議646(WRC-03)に記載されている、今後のPPDR通信システムに関する技術的研究。

3.4 WG4

- (1) PDNRreport M.[BSS.LMS.SHAR](620-790MHz)におけるBSSとLMSの共用評価のレポートに向けた作業文書の進展。
- (2) 3.8-4.2GHzにおけるモバイルBWAとFSSの共用に関する検討の開始。

- (3) 新レポートM.[LMS.CHAR.BWA]のWiMAXのACLR値の検討等を含めたレビューの開始。
- (4) 1986～1990間に成立した勧告及びレポートのWG4担当分に関して、サブセッションの是非を含めたレビューを継続。

3.5 WG5

- (1) コグニティブ無線に関しては、レポート草案作業文書の作成が開始されたことを受けて、次回に日本のR&Dの最新情報の入力を目指す。

3.6 WG7

- (2) DFSに関するコレスポンデンスグループ活動を継続して審議する。

3.7 LMH

- (1) コレスポンデンスグループを含めてvol.5 BWAの作成作業を継続する。

4. 次回会合のスケジュールについて

次回のWP8A会合は、2008年2月、ジュネーブ(スイス)にて開催される予定。

表2 日本入力文書の審議結果

文書番号	題 目	審議結果	出力文書
8A/504	PRELIMINARY DRAFT NEW RECOMMENDATION Integrated millimetre wave ITS radiocommunication systems	新勧告草案(PDNR ITU-R M.[8A/ITS-MM] Technical characteristics of millimetre wave intelligent transport systems (ITS) radiocommunication)として承認。次回会合において継続審議。	8A/TEMP/271
8A/505	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT Integrated millimetre wave ITS radiocommunication systems	新報告案に向けた作業文書に盛り込まれ、継続審議。	8A/TEMP/272
8A/506	Proposed modifications to preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[ENG] "System characteristics of television outside broadcast (TVOB), electronic news gathering (ENG) and electronic field production (EFP) in the mobile service"	新勧告案(DNR System characteristics of television outside broadcast (TVOB), electronic news gathering (ENG) and electronic field production (EFP) in the mobile service for use in sharing studies)として承認。SG8へ入力。	8A/TEMP/280R1
8A/507	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1450-2 - Characteristics of broadband radio local area networks	勧告改訂案(Draft Revision M.1450-2)に盛り込まれ、承認。SG8へ提出。	8A/TEMP/270R1
8A/508	Proposed draft liaison statement to WP 8F on frequency-related matters for the future development of IMT-2000 and IMT-Advanced related to WRC-07 Agenda item 1.4	WP8Fへのリエゾンバックに盛り込まれ、承認。	8A/TEMP/267R1
8A/509	Proposed draft index towards development of report concerning the cognitive radioq	コグニティブ無線のレポート草案作業文書に本寄書にて提案したフレームワーク(目次)を反映。	8A/TEMP/283R1

その他、日本のセクタメンバまたは外部機関から以下の表の文書の入力を行った。

文書番号	題 目	審議結果	出力文書
8A/502 (ARIB.)	Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1450-2	勧告改訂案(Draft Revision M.1450-2)に盛り込まれ、承認。SG8へ提出。	8A/TEMP/270R1

表3 WP8A入力文書一覧表

文書番号	提出元	題 目	担当WG	出力文書
8A/469	BR	Recommendation to be brought to the attention of Working Parties 4A,6E, 7C, 8A and 8F	WG4	—
8A/470	BR	Recommendation to be brought to the attention of WPs 8A, 8D, 9B and 9D	WG7	—
8A/471 +Corr.1	WP3M	Liaison statement to Working Parties 1A, 1C, 4A, 4-9S, 6E, 7B, 7C, 7D, 8A, 8B, 8F, 9A and 9D - Spreadsheet implementation of the clear-air portion of Recommendation ITU-R P.452-12	WG4	—
8A/472	OMA	Response to Liaison from ITU-R WP 8F on "Key technical and operational requirements for access technologies to support IP applications over mobile systems"	WG5	確認のみ
8A/473	WP 1B	Liaison statement to WPs 1A, 4A, 4-9S, 6E, 6S, 7B, 7C, 7D, 8A, 8B, 8D, 8F, 9B and 9D - The study of software defined radio and cognitive radio systems in Working Party 1B	WG5	8A/TEMP/259
8A/474	ITU-T SG 15	New versions of the Access Network Transport (ANT) standards overview and workplan	WG5	8A/TEMP/276
8A/475	ITU-T SG 15	Reply to liaison statement on ANTS	WG5	8A/TEMP/276
8A/476	WP 8D	Liaison statement to Working Parties 8A and 8F (Copy to Working Party 4B) - IP-related study activity for the mobile-satellite service in Working Party 8D	WG5	確認のみ

8A/477	IEEE	Development of a PDN Report ITU-R M.[IP CHAR] "Key technical and operational characteristics for access technologies to support IP applications over mobile systems"	WG5	確認のみ
8A/478	ITU-R SG16	Liaison statement to TSAG, ITU SGs and eHSCG members on first version of the ITU-T Roadmap for Telemedicine	Plenary	-
8A/479	ITU-T SG12	Liaison statement - Invitation to participate in GSC Task Force in support of Intelligent Transportation Systems (ITS)	WG2	8A/TEMP/287
8A/480	Alcatel-Lucent, Motorola,Nokia, Siemence, Telecom Italia	On the development of PDN Report ITU-R M.[IP CHAR]	WG5	確認のみ
8A/481	Coordination Committee for Vocabulary (CCV)	Liaison statement to Radiocommunication Study Groups and Working Parties - Terminology database	Plenary VOC	-
8A/482	ITU-T JCA-NID	Liaison statement to Working Parties 1A and 8A	WG5	8A/TEMP/284R1
8A/483	WP7C	Liaison statement to Working Party 8A and WP 9D - Results of the studies relating to Agenda item 1.2	WG4	-
8A/484	ITU-T SG2	Morse code specification	WG1	なし
8A/485	WP8F	Liaison statement to ITU-T Study Group 15 on ANTS - (Copy for information to ITU-R WP 8A and WP 9B)	WG5	確認のみ
8A/486	WP8F	Liaison statement to WP's 3M, 3K and 8A - Frequency related matters for the future development of IMT-2000 and IMT-Advanced related to WRC-07 Agenda item 1.4 - Sharing study between IMT-Advanced systems and radars in the 3 400-3 700 MHz band	WG5	8A/TEMP/267R1
8A/487	WP8F	Liaison statement to ITU-R Working Party 1B on the study of software defined radio and cognitive radio systems in Working Party 1B - (Copy for information to ITU-R WPs 1A, 4A, 4-9S, 6E, 6S, 7B, 7C, 7D, 8A, 8B, 8D, 9B and 9D)	WG5	8A/TEMP/259

8A/488	BR	Recommendation to be brought to the attention of Working Parties 8A and 8F	WG4	-
8A/489	BR	Provisional schedule of plenary meetings for Study Group 6 and Working Parties	WG4	-
8A/490	WP8A 議長及び WP9B 議長	EDITORIAL MODIFICATIONS TO RECOMMENDATION ITU-R M.1653 Operational and deployment requirements for wireless access systems including radio local area networks in the mobile service to facilitate sharing between these systems and systems in the Earth exploration-satellite service (active) and the space research service (active) in the band 5 470-5 570 MHz within the 5 460 5 725 MHz range	WG7	8A/TEMP/299
8A/491	WP8F	Liaison statement to relevant external organizations and Working Party 8A (copy to Working Parties 4B and 8D) - On the preliminary draft new Report ITU-R M.[IP CHAR] "Key technical and operational characteristics for access technologies to support IP applications over land mobile systems" in response to Question ITU-R 223-1/8	WG5	8A/TEMP/263
8A/492	WP3K	Liaison statement to WPs 6E, 8A and 8F - Draft new Recommendation on path-specific point-to-area propagation	WG4	-
8A/493	WP6S	Reply to Liaison statement from 1B on the study of software defined radio and cognitive radio systems	WG5	確認のみ
8A/494	Asia-Pacific Telecommunity (APT)	Use of the band 4 940-4 990 MHz for public protection and disaster relief (PPDR) applications	WG3	8A/TEMP/281Rev1
8A/495	BR(ATIS)	Characteristics for ATIS BWA Technologies for inclusion in PDN Report [LMS.BWA.CHAR]	WG4	8A/TEMP/274R1
8A/496	ITU-T TD 348R1 及び TD 485	On the development of a PDN Report ITU-R M.[IP CHAR] "Key technical and operational characteristics for access technologies to support IP applications over mobile systems" in response to Question ITU-R 223-1/8	WG5	確認のみ
8A/497	WP6E	Liaison statement to Working Parties 8A, 8B and 9C - Review of Report ITU R M.2080 - Consideration of	WG1	8A/TEMP/266

		sharing conditions and usage in the 4-10 MHz band		
8A/498	WP6J	Draft Liaison statement to Working Party 8A – System characteristics of television outside broadcast (TVOB), Electronic news gathering (ENG) and electronic field production (EFP) in the mobile service	WG4	8A/TEMP/280R1 8A/TEMP/278 8A/TEMP/279
8A/499	WP9B 及び WP9D	Liaison statement to ITU-R Working Party 1B on the study of software defined radio and cognitive radio systems in Working Party 1B	WG5	確認のみ
8A/500	WP8A議長	Results from the meeting of Study Group 8 (20-21 September 2006) of interest to Working Party 8A	Plenary	確認のみ
8A/501	WP8A議長及び WP8D議長	Report ITU-R M.1049-1 – Control of passive intermodulation products	Plenary	8A/TEMP/273
8A/502	BR	Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1450-2	WG7	8A/TEMP/270 R1
8A/503 Rev.2	SG9	Liaison statement to WP 8A – Revision of Recommendation ITU-R F.1490 on generic requirements for fixed wireless access systems	WG7	確認のみ
8A/504	日本	Preliminary draft new Recommendation – Integrated millimetre wave ITS radiocommunication systems	WG2	8A/TEMP/271
8A/505	日本	WORKING DOCUMENT TOWARD A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT – INTEGRATED MILLIMETRE WAVE ITS RADIOCOMMUNICATION SYSTEMS	WG2	8A/TEMP/272
8A/506	日本	Proposed modifications to preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[ENG] “System characteristics of television outside broadcast (TVOB), electronic news gathering (ENG) and electronic field production (EFP) in the mobile service”	WG4	8A/TEMP/280R1

8A/507	日本	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1450-2 – Characteristics of broadband radiio local area networks	WG7	8A/TEMP/270 R1
8A/508	日本	Proposed draft liaison statement to WP 8F on frequency-related matters for the future development of IMT-2000 and IMT-Advanced related to WRC-07 Agenda item 1.4	WG5	8A/TEMP/267R1
8A/509	日本	Proposed draft index towards development of report concerning the cognitive radio	WG5	8A/TEMP/283R1
8A/510	IARU	Draft new Handbook for the amateur and amateur-satellite services	WG1	8A/TEMP/262
8A/511	IEEE	Information about IEEE SCC 41 activities in advanced radio system technologies and dynamic spectrum management techniques	WG5	確認のみ
8A/512	Lucent Technologies Inc.	Proposed revisions to Annex 1 of the preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[LMS.CHAR.CELL] – Technical and operational characteristics of digital cellular land mobile systems to be used in sharing studies	WG4	8A/TEMP/264
8A/513	GSM Association	Proposed material on high speed packet access (HSPA) technology for inclusion in Annex 2 of ITU Land Mobile Handbook	LMH	8A/TEMP/293
8A/514	カナダ	Proposed amendments to the Questions assigned to WP 8A	WG1 WG5	8A/TEMP/273 8A/TEMP/290

8A/515	カナダ	PRELIMINARY DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R M.1450-2 – CHARACTERISTICS OF BROADBAND RADIO LOCAL AREA NETWORKS	WG7	8A/TEMP/270 R1
8A/516	カナダ	PROPOSED AMENDMENTS TO THE PRELIMINARY DRAFT NEW RECOMMENDATION ON INTEGRATED MILLIMETRE WAVE ITS RADIOCOMMUNICATION SYSTEMS	WG2	8A/TEMP/271,272
8A/517	カナダ	REVIEW OF WP 8A WG 3 TEXTS	WG3	8A/TEMP/285(WG3 議長報告),
8A/518	カナダ	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[METH.SHAR.LMS] – Methodologies for sharing studies related to systems in the land mobile service	WG4	8A/TEMP/282R1
8A/519	カナダ	Analysis of ITU-R Working Party 8A texts	WG5	8A/TEMP/273
8A/520	カナダ	Working document towards a Report on cognitive radio systems in the mobile service	WG5	8A/TEMP/283
8A/521	カナダ	Proposed working document towards a preliminary draft revised/new Recommendation ITU-R M.[8A/VOC.LAND.MOB] – Vocabulary of terms for the land mobile service	VOC	8A/TEMP/260 R1

8A/522	カナダ	Proposed reply liaison statement to WP 1B – The study of Software Defined Radio and cognitive radio systems in WP 1B	WG5	8A/TEMP/259
8A/523	米国	Proposed modifications to the working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1450-2	WG7	8A/TEMP/270 R1
8A/524	米国	Status and revision of WP 8A texts	WG1 WG5	8A/TEMP/260R1 8A/TEMP/273
8A/525	米国	Harmonized frequency channel plan for broadband public protection and disaster relief operations at 4 940-4 990 MHz	WG3	8A/TEMP/281Rev1 8A/TEMP/285
8A/526	米国	Preliminary draft new Report ITU-R M.[8A/DFS-IMPLEMENTATION] – Testing procedures for implementation of dynamic frequency selection	WG7	8A/TEMP/291
8A/527	E-Plus Mobilfunk GmbH	Proposal to update ACLR/ACS values for IEEE 802.16E in the preliminary draft new Report ITU-R M.[LMS.CHAR.BWA]	WG4	8A/TEMP/274R1 8A/TEMP/296
8A/528	WP9C	Liaison statement to WP 8B (for information to WP 8A and WP 6E) – Consideration of sharing issues in the 4-10 MHz band and possible update of Report ITU-R M.2080	WG1	8A/TEMP/266
8A/529	WP9C	Consideration of sharing with high-frequency surface wave radar systems	WG1	8A/TEMP/265

8A/530	ドイツ	PRELIMINARY DRAFT NEW RECOMMENDATION – INTEGRATED MILLIMETRE WAVE ITS RADIOCOMMUNICATION SYSTEMS	WG2	8A/TEMP/271, 272
8A/531	オランダ	Proposed modifications to a preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[METH.SHAR.LMS]	WG4	8A/TEMP/282R1
8A/532	オランダ	Question ITU-R 241/8 – Use of white frequency space	WG5	8A/TEMP/283R1
8A/533	英国	Proposed framework for consideration in the development of a working document towards a preliminary draft new Recommendation/Report on cognitive radio in the mobile service	WG5	8A/TEMP/283R1
8A/534	Convenor Corresp. Gp on PDN Report M.[LMS.CHAR.B WA]	Update on the progress since the 19th meeting of Working Party 8A	WG4	8A/TEMP/274R1
8A/535	フランステレコム	Proposed attachment to working document towards development of report concerning the cognitive radio – the “CPC” concept	WG5	8A/TEMP/283R1
8A/536	BR Study Group Development	This document has been withdrawn	–	–
8A/537	WP9B	Liaison statement to Working Party 8A – Radio local area networks	WG7	8A/TEMP/270 R1

8A/538	WP9B議長	Additional note to the liaison statement to WP 8A contained in Document 8A/537 – Radio local area networks	WG7	8A/TEMP/270 R1
8A/539	フランス	Initial results of RLAN 5 GHz testing	WG7	8A/TEMP/291
8A/540	英国及び北アイルランド	Review of Report ITU-R M.2080 – Consideration of sharing conditions and usage in the 4–10 MHz band	WG1	8A/TEMP/266
8A/541	Region 2 リエゾン ラポータ	Region 2 activities	-	-
8A/542	WP 9B	Liaison statement to ITU-T Study Group 15 – Copy for information to WPs 8A and 8F	WG5	確認のみ
8A/543	Rapporteur Vol 5 BWA	Update on the correspondence activities since the 19th meeting of Working Party 8A	LMH	8A/TEMP/293
8A/544	WP 4A	Liaison statement to WP 1B – Study of Software Defined Radio and cognitive radio systems in WP 1B	WG5	確認のみ
8A/545	BR Study Group Development	List of documents issued	-	-

8A/546	WP8F	Liaison statement to ITU-R WP 8A and copy to TIA TR-41 and ITU-T SGs 13 and 19 – On the preliminary draft new Report ITU-R M.[IP CHAR] “Key technical and operational characteristics for access technologies to support IP applications over land mobile systems” in response to Question ITU-R 223-1/8	WG5	-
8A/547	Region 3 レポート	Region 3 activities	-	-
8A/548	WP8F	Liaison statement to Working Parties 8A, 8B, and Study Group 6 – Draft new Report on sharing studies between Radiocommunication services and IMT Systems operating in the 450-470 MHz band	WG4	-
8A/549	Region 1 レポート	Response to liaison statement from ITU-R WP 8A on draft new Recommendation ITU-R M.[ENG]	-	-
8A/550	WP6M	Liaison statement from WP 6M to WPs 6E, 6S and 8F and ISO TC 204 – DNR for broadcasting of multimedia and data applications for mobile reception by handheld receivers	WG5	8A/TEMP/275
8A/551	WP4A	Liaison statement to Working Parties 8A, 8F, 9B, 9D and 4-9S – Compatibility between broadband wireless access (BWA) systems and fixed-satellite service (FSS) networks	WG4	8A/TEMP/277
8A/552	WP1A	Response to the liaison statement of Working Party 3J (copy to WPs 4A, 6E, 6M, 6S, 7B, 7C, 7D 8A, 8B, 8D, 8F and 9B) – Radio noise	WG4	8A/TEMP/295

8A/553	WP1A	Liaison statement to Working Parties 6E, 7A, 7B, 7C, 7D, 8A, 8B, 8F, 9A and 9C – Interference protection requirements from power line telecommunications systems on radiocommunications systems operating in the LF, MF, HF and VHF bands below 80 MHz	WG4	–
--------	------	--	-----	---

表4 WP8A出力文書一覧表

文書番号	担当 WG等	題 目	入力文書	処理
8A/TEMP/259	WG5	Reply to liaison statement from ITU-R Working Party 1B – The study of software defined radio and cognitive radio systems in WP 1B	8A/473 8A/522	リエゾンとして送付
8A/TEMP/260 R1	VOC	Working document towards a preliminary draft revised/new Recommendation ITU-R M.[8A/VOC.LAND.MOB] – Vocabulary of terms for the land mobile service	8A/481 8A/491 8A/502 8A/521 8A/507	継続審議
8A/TEMP/261 R2	WG5	Draft New Report – Software defined radio in the land mobile, amateur and amateur satellite services	8A/376 ANNEX 14	WP8A プレナリで承認、SG8へ送付
8A/TEMP/262	WG1	DRAFT NEW HANDBOOK FOR THE AMATEUR AND AMATEUR-SATELLITE SERVICES	8A/510	8A/TEMP/262
8A/TEMP/263	WG5	Joint WP 8A/WP 8F draft new Report ITU-R M.[IP CHAR] – Key technical and operational characteristics for access technologies to support IP applications over land mobile systems	8A/491	WP8A プレナリで承認、SG8へ送付
8A/TEMP/264	WG4	Draft new Recommendation ITU-R M.[LMS.CHAR.CELL] – Technical and operational characteristics of digital cellular land mobile systems to be used in sharing studies	8A/512R1	WP8A プレナリで承認、SG8へ送付
8A/TEMP/265	WG1	LIAISON STATEMENT TO WP 8B (For information to WP 7C, WP 6E, WP 9C and WP 9D) CONSIDERATION OF SHARING WITH HIGH-FREQUENCY SURFACE WAVE RADAR SYSTEMS	8A/529	承認
8A/TEMP/266	Plenary	LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTIES 6E, 8B AND 9C REGARDING REVIEW OF REPORT ITU-R M.2080 CONSIDERATION OF SHARING CONDITIONS AND USAGE OF THE 4-10 MHz BAND	8A/497 8A/528 8A/540	承認
8A/TEMP/267	WG5	Liaison statement to WP 8F – Frequency related matters for the future development of IMT-2000 and IMT-Advanced – Sharing	8A/486 8A/508	WP8A プレナリで承認、リエゾンとして

		studies between IMT-Advanced systems and radars operating in the 3400-3700 MHz band		送付
8A/TEMP/268	VOC	Report of the convener of Ad Hoc Vocabulary Group	-	AH VOC議長報告
8A/TEMP/269	WG7	Report of Working Group 7: Wireless access systems, including RLANs	-	WG7 議長報告
8A/TEMP/270 R1	WG7	[Preliminary] draft revision of Recommendation ITU-R M.1450-2 - Characteristics of broadband radio local area networks	8A/502 8A/507 8A/515 8A/523 8A/537 8A/538	WP8A プレナリで承認、SG8へ送付
8A/TEMP/271	WG2	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[8A/ITS-MM] - Integrated millimetre wave ITS radiocommunication systems	8A/504 8A/516 8A/530	WP8A プレナリで議長報告への添付を承認(継続審議)
8A/TEMP/272	WG2	WORKING DOCUMENT TOWARD A PRELIMINARY draft new REPORT ITU-R M.[8A/ITS-MM] - Integrated millimetre wave ITS radiocommunication systems	8A/505 8A/516 8A/530	WP8A プレナリで議長報告への添付承認(継続審議)
8A/TEMP/273	-	Results of analysis of ITU-R Working Party 8A texts - (WG5 related texts only)	8A/501 8A/514 8A/524	WP8A プレナリで承認
8A/TEMP/274 R1	WG4	Draft new Report ITU-R M.[LMS.CHAR-BWA] - Characteristics of broadband wireless access systems operating in the land mobile service to be used in sharing studies	8A/495 8A/527 8A/534	WP8A プレナリで承認、SG8へ送付
8A/TEMP/275	WG5	Liaison statement to WP 6M - DNR for broadcasting of multimedia and data applications for mobile reception by handheld receivers	8A/550	WP8A プレナリで承認、リエゾンとして送付
8A/TEMP/276	WG5	Liaison statement to ITU-T Study Group 15 on ANTS (copy for information to ITU-R WP 8F and WP 9B)	8A/474 8A/475	WP8A プレナリで承認、リエゾンとして送付
8A/TEMP/277	WG4	Liaison statement to Working Party 4A (copied to Working Parties 8F,9B,9D and 4-9S)	8A/551	WP8A プレナリで承認リエゾンとして送付
8A/TEMP/278	WG4	Liaison statement to Working Parties 6J and 9D System characteristics of television outside broadcast(TVOB), electronic news	8A/498	WP8A プレナリで承認リエゾンとし

		gathering(ENG) and electronic field production(EFP) in the mobile service for use in sharing studies		て送付
8A/TEMP/279	WG4	Liaison statement to Working Party 6J Information regarding the radio microphone system parameters operated in the mobile service	8A/498	WP8A プレナ リで承認 リエゾンとし て送付
8A/TEMP/280 R1	WG4	Draft new Recommendation ITU-R M.[ENG] – System characteristics of television outside broadcast (TVOB), electronic news gathering (ENG) and electronic field production (EFP) in the mobile service for use in sharing studies	8A/498 8A/506	WP8A プレナ リで承認、 SG8へ送付
8A/TEMP/281 Rev1	WG3	DRAFT NEW RECOMMENDATION ITU-R M.[LMS.PPDR.4.9 GHz] Harmonized frequency channel plan for broadband public protection and disaster relief operations at 4 940–4 990 MHz	8A/494 8A/525	DNRとして承 認。 SG8に提出。
8A/TEMP/282 R1	WG4	Draft new Recommendation ITU-R M.[METH.SHAR.LMS] – Guidance on technical parameters and methodologies for sharing studies related to systems in the land mobile service	8A/518 8A/531	WP8A プレナ リで承認、 SG8へ送付
8A/TEMP/283	WG5	Working document towards a preliminary draft new Report – Cognitive radio systems in the land mobile service	8A/509 8A/520 8A/532 8A/533 8A/535	WP8A プレナ リで承認 (継続審議)
8A/TEMP/284	WG5	Liaison statement to ITU-T Study Group 16 – Joint coordination activity on network aspects of identification systems (including RFID)	8A/482	WP8A プレナ リで承認 リエゾンとし て送付
8A/TEMP/285	WG3	CHAIRMAN'S REPORT OF WORKING GROUP 3	8A/494 8A/517 8A/525	WG3 議長報 告
8A/TEMP/286	-	CONTRIBUTION TO THE CHAIRMAN'S REPORT	-	WP8A 議長報 告へ添付
8A/TEMP/287	WG2	[DRAFT] REPLY TO THE LIAISON STATEMENT FROM ITU-T STUDY GROUP 12 – INVITATION TO PARTICIPATE IN GSC TASK FORCE IN SUPPORT OF	8A/479	WP8A プレナ リで承認 リエゾンとし て送付

		INTELLIGENT TRANSPORTATION SYSTEMS (ITS)		
8A/TEMP/288	Plenary	Draft liaison statement to ITU-T Study Group 16 – First version of the ITU-T Roadmap for Telemedicine	8A/478	WP8A プレナ リで承認 リエゾンとし て送付
8A/TEMP/289	Plenary	List of Working Party 8A contacts for liaison and collaboration with other organizations under Resolution ITU-R 9-2	-	WP8A プレナ リで承認 議長報告に 添付
8A/TEMP/290	Plenary	Proposed amendments to the Questions assigned to WP 8A	8A/514 8A/524	WP8A プレナ リで承認 SG8へ送付
8A/TEMP/291	WG7	Draft new Report ITU-R M.[8A/DFS-IMPLEMENTATION] – Testing procedures for implementation of dynamic frequency selection	8A/470 8A/490 8A/526 8A/539	WP8A プレナ リで承認 SG8へ送付
8A/TEMP/292	WG2	Chairman’s Report of Working Group 2 – (Intelligent Transport Systems (ITS))	-	WG2 議長報 告
8A/TEMP/293	LMH	Liaison statement to external organizations (copy to Working Party 8F)	-	WP8A プレナ リで承認 リエゾンとし て送付
8A/TEMP/294	LMH	Report of the convener of Adhoc Land Mobile Handbook	-	LMH 議長報 告
8A/TEMP/295	WG4	Liaison statement to Working Parties 3J and 1A	8A/552	WP8A プレナ リで承認 リエゾンとし て送付
8A/TEMP/296	WG4	LIAISON STATEMENT TO WIMAX FORUM CLARIFICATION OF THE ACLR VALUES FOR IEEE 802.16e	8A/527	WP8A プレナ リで承認 リエゾンとし て送付
8A/TEMP/297	-	Draft revision of the Guide to the use of ITU-R texts related to the land mobile service	-	WP8A プレナ リで承認
8A/TEMP/298	WG5	Meeting Report of Working Group 8A5	-	WG5 議長報 告
8A/TEMP/299	WG7	Editorial modifications to Recommendation ITU-R M.1653 – Operational and deployment requirements for wireless access systems including radio local area networks in the mobile service to facilitate sharing between these systems and systems in the EESS	8A/490	WP8A プレナ リで承認 SG8へ送付

		(active) and the space research service (active) in the band 5 470–5 570 MHz within the 5 460–5 725 MHz range		
--	--	---	--	--

(別紙)

ITU-R SG8 WP8A 第20回会合 日本代表団

	氏名	所属
団長	成澤 慶	総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課 システム開発係
	上野 衆太	日本電信電話株式会社 NTTアクセスサービスシステム研究所 ワイヤレスアクセスプロジェクト 研究主任
	上村 治	(株)ウィルコム 電波企画部 課長
	岡 誠一	(社)日本アマチュア無線連盟 総務部 部長付(国際問題担当)
	小山 敏	(株)日立製作所 トータルソリューション事業部 ITSソリューションセンター 担当部長
	樫木 勘四郎	KDDI(株) 技術開発本部メディア技術開発部コグニティブグループ 次長
	小坂 克彦	(社)電波産業会 参与
	酒井原 邦彦	松下電器産業株式会社 パナソニック システムソリューションズ社 システム技術センター ワイヤレス技術グループ 設計チーム チームリーダー
	佐藤 勝善	(独)情報通信研究機構 新世代ワイヤレス研究センター ユビキタスモバイルグループ 主任研究員
	中山 稔啓	(株)フジテレビジョン 技術局技術開発室企画開発部 副部長
	藤本 芳宣	日本電気(株) モバイルワイヤレス事業部 ワイヤレスアクセス事業部 ワイヤレスアクセス技術 プロフェッショナル
	山崎 高日子	三菱電機(株) 通信システム事業本部 通信システムエンジニアリングセンター 戦略事業推進グループ 専任
	吉野 仁	(株)NTTドコモ ワイヤレス研究所 信号処理研究室 主幹研究員

ITU-R SG8 WP8B 第20回会合 報告書

1 WP8B

WP8Bは、国際電気通信連合無線通信部門(ITU-R)の第8研究委員会(SG8:移動業務、無線測位業務、アマチュア業務及び関連する衛星業務)の作業部会であり、GMDSSを含む海上移動業務、航空移動業務、及び無線測位業務を扱っている。

1.1 会議の概要

WP8B第20回会合は、2007年6月13日(水)から21日(木)までの7日間、スイス国ジュネーブ市のITU本部において開催された。

本会議には、30の主管庁、6の認められた私企業等から計159名が参加し、日本からは表1に示す5名が出席した。

議長は、T.EWERS氏(独)が担当し、WPのもとに表2に示す8B1から8B3までの3つのサブワーキンググループ(SWG)を設置し、81件の寄与文書(Doc.8B/559-639:日本からの寄与文書はなし)について審議を行い、新勧告案5件、暫定新勧告案2件、新報告案7件、暫定新報告案1件、作業文書7件、リエゾン文書5件、その他の文書3件、合計30件の出力文書(TEMP Doc.)を作成した。なお、表6に入力文書一覧、表7に出力文書一覧を示す。

表1 日本からの出席者

氏名	所属
小坂 克彦	(社)電波産業会 研究開発本部 次長
北沢 弘則	(独)情報通信研究機構 無線通信部門 電磁環境センター EMC計測グループ
塩田 貞明	(独)情報通信研究機構 無線通信部門 電磁環境センター EMC計測グループ
古山 賢二	日本無線(株) 海上機器事業部 部長
三留 隆宏	(株)日立製作所 トータルソリューション事業部 公共・社会システム本部 公共システム部 主任技師

表2 WP8Bの審議体制

グループ	担務内容	議長
WP8B	GMDSSを含む海上移動業務、航空移動業務、及び無線測位業務	Mr. T. EWERS(独)
SWG8B1	無線測位業務	Mr. D. Reed(米)
DG8B1a	JRG 1A-1C-8B 関係	Ms. L. Clark(加)
DG8B1b	RNSS-RDS 関係	Mr. K. Buckwitz(独)
SWG8B2	航空移動業務	Mr. J. Mettrop(英)

DG8B2a	WRC-07議題1.5 5GHz帯レポートと勧告	
DG8B2b	WRC-07議題1.5 4/6GHz帯レポートと勧告	
DG8B2c	WRC-07議題1.6 レポートと勧告	Mr. M. Biggs(米)
SWG8B3	海上移動業務	Mr. J. Turban(米)
DG8B3a	AIS/VHF data 関連	Mr. A. Steward(英)
DG8B3b	Software Radio/Others関連	Mr. S. Ward(米)

2 審議の内容

2.1 SWG8B1(無線測位関連)

SWG8B1では、D. Reed氏(米)が議長を担当し、無線測位レーダー関連の入力文書について検討を行い、合計15件の出力文書を作成した。

SWG8B1では、Joint Rapoerure Group (JRG) 1A-1C-8Bからの最終報告を審議するドラフティングを設置し、1Aならびに1Cからの代表者を招いて会合が行われた。

また、1215-1300MHz帯における無線航行衛星業務(RNSS)と無線測位業務(RDS)の両立性に関係する事柄について、暫定勧告草案に作成に向けた作業報告書のドラフティング作業が行われた。

入力文書:

8B/4,566,562,577,578,588,589,590,599,600,601,602,603,604,607,611,618,621,626,630,441 (Annex 10, Annex13, Annex 14, Annex 15, Annex 16, Annex 22)

(8B/559より前は、前回会合より前に入力された文書で、今回会合へキャリアオーバーされた文書)

出力文書: 8B/TEMP/246,247,248,249,251,258Rev.1,259,260,261Rev.1,267,277

表3 SWG8B1の審議体制

グループ	検討事項	議長
DG8B1a	JRG 1A-1C-8B 関連	Ms. L. Clark (カナダ)
DG8B1b	RNSS-RDS 関連	Mr. K. Buckwitz (独)

2.1.1 JRG 1A-1C-8B関連(DG 8B1a)

DG8B1a (JRG 1A-1C-8B 関連)において、審議が行われた。

入力文書: 8B/562,599,601,637

出力文書: 8B/TEMP/259, 261Rev.1

Joint Raportur Group 1A-1C-8B (JRG 1A-1C-8B)から入力された、JRG最終報告書の扱いについて審議が行われた。JRGは、2003年11月に行われたITU-R Study Group(SG)8ブロックの会合Working Party 8B(WP8B)でその設置を提案し、ITU-R WP1A、WP1Cの合意を得て設

置されたものであり、JRG1A-1C-8Bでは勧告SM.1541-Annex8であげられている一次レーダーの”Design Objective(設計目標)”について多方面から検討し、ITU-Rへ意見と提案をすることが目的であった。この会合へは米国、英国、フランス、ドイツ、日本をはじめとする国々から、主に有識者が参加して論議を行ってきたものである。本会合では、そのJRG1A-1C-8Bの最終検討結果が報告された(8B/599)。この報告書では、JRGは設計目標の適合性に関して結論を出すことが出来なかったと述べている。また、必要帯域幅の計算式については、現行のITU-R SM.1541に示されている計算式は現在のレーダーシステムに沿わないものがあるため、見直しを行うべきであるとも述べている。JRGは設計目標の最終的な結論が出せなかった理由として、以下の点をあげた。

- ・ レーダーの種類が多岐にわたる(発振素子、変調方式、サイズ、コスト、仕様用途など)ため、全てのカテゴリのレーダーを一義的に判断するのは困難である。
- ・ 全てのカテゴリのレーダーに関して、スペクトラムデータが確認できなかった。

また、SM.1541の改定案についても最終結論には至らなかった事がコメントされた。

この報告はWP8Bと同時期に開催されていたWP1Aでも報告されたが、成果が十分に得られなかったことと、当初予定していたJRGの開催期間は過ぎたことから、WP1AによりJRGは解散された。しかし、WP1AならびにWP8Bの両方において、設計目標に対する実現の可能性の検討は技術的評価(データによるアセスメント)が重要であるという各国(特に英国、独、日本)の認識があることから、WP1AからWP8Bに検討依頼のリエゾン(8B/637)が提出され、これを受けてWP8Bラポータグループが設置される形となった。このラポータグループには、1Aならびに1Cの代表者を招く。1AのラポータはMr. Addil Abbas、1CのラポータはMr. Thomas Hasenpusch。さらに、今回の会合ではWP1Aからのリエゾンを受け、WP8Bのサブワーキンググループとして8B1aを設置し、WP1Aからのリエゾンに沿う形でWP8BのラポータグループとしてのTerms of Referenceを作成した。SWG8B1aの議長はMs. L. Clark (カナダ)。

作成されたTerms of Referenceの内容は、以下のように具体的にOOB領域のより効果的で効率的なスペクトラム使用のための検討を行うことが述べられている。

原則として、

1. 新しいマスクは、現在のレーダーには当てはまらない。
2. ITU-R SM.1541の変更は他の勧告に影響がある場合があるので、その部分については明確にするが、このグループでは検討を行わず、適当な部署に別の文書で通知する。
3. カテゴリの決定は、レーダーシステムの運用面の要求を基本とする。
4. 種々の動作要求を考慮して、異なるOOB放射マスクが必要であるが、その数は最小限とする。
5. 動作要件が満たされた場合、検討グループで決定された代表的なレーダーのデータをもとにスペクトラムのより効果的、かつ効率的な使用を促進するOOBマスクを検討する。
6. 作業プランは要求された項目に到達するべく作成されなければならない。

設置されたラポータグループの開催はWP8B会合の前後どちらかに2日間行われることになった。また、検討期限は2010年のWP1A会合の前とされた(WP1Aからのリエゾン8B/637に明示されている)。

8B/601はFMパルスレーダーのスペクトラム測定結果を示しものであるが、この文書では、この種のレーダーについては設計目標を達成することは不可能であることを示している。また、補正值についても言及しており、補正值がある値を取った場合マスクのロールオフが-30dB/decadeにあることも示している。本文書に対しては仏国より、SM.1541改定の検討は設計目標に適合させることだけが目的ではなく、さらに発展させることであるとコメントがあった。

2.1.2 1215-1300MHz帯におけるレーダーの追加特性の要求(DG8B1b)

DG8B1b(RNSS-RDS)において、審議が行われた。

入力文書： 8B/559 Annex16,588,600,602,621

出力文書： 8B/TEMP/258Rev.1

1215-1300MHz帯における衛星航法業務が無線標定業務に与える影響について、入力された多数の寄与文書を1つの報告書にまとめるため、その暫定新報告案について話し合いが行われた。この報告書の作成にあたっては、特定のレーダーシステムや特定のレーダークラスについて議論することはしない。レーダーについてはITU-R勧告M.1642とRNSSについては、現在WP8Dで作成中の勧告を参照するという前提で作業が進められた。また、レーダーの性能についてはITU-R勧告M.1642を参照するとしたが、干渉の評価に必要なパラメータがいくつか含まれていないことから、必要なパラメータについては分けて明確にすることにした。今回の会合では、1つの報告書にするための骨組(INDEX TABLE)が作られ合意された。今まで入力された関連寄与文書は、Annexとして文書番号が報告書案に示され、それと同時にINDEX TABLE内に文書の参照が示された。課題に対する不足情報については、さらに寄与文書を受けることになる。本文書は次回の会合へキャリーオーバーとなった。

2.1.3 地上設置型気象レーダーの特性

SWG-8B1(Radiodetermination)において、審議が行われた。

入力文書： 8B/559 Annex15,578,626

出力文書： 8B/TEMP/249

保護基準などを考慮するにあたり、地上設置の気象レーダーの代表的な特性をまとめた。本文書は暫定新勧告案 ITU-R M.[MET-RAD] としている。今回の会合では、米国より、アンテナパターンの影響を考慮する項目が追加された変更案が提出され、仏国からは気象レーダーに干渉信号を入力した場合の実験結果を示した寄与文書が入力された。米国の変更案をもとに、米国と仏国の間でドラフティングが行われ、変更案が作成された。仏国からは実験をさらに継続するとコメントがあった事もあり、本暫定勧告案は作成された変更案のまま次回の会合へキャリーオーバーされた。

2.1.4 3-50MHzにおけるHigh Frequency Surface RADAR (HFSR)の技術的ならびに運用面からの特性

SWG-8B1(Radiodetermination)において、審議が行われた。

入力文書: 8B/559Annex13,589,604,607

出力文書: 8B/TEMP/248

HFSRは、海洋における表層海流の研究などに長い間実験的に用いられており、現在は他のシステムへの干渉がない程度に運用されている。暫定勧告案ITU-R M.[HF-RADAR]は、今後推定されるこれらのレーダーによるネットワーク運用などを考慮した場合、このレーダーの技術的ならびに運用面からの特性を示した勧告が必要となることから作成されたものである。今回は、主に米国より提出された既存レーダーとの共用についての考察が追加され、さらに韓国、WP9Cより入力された寄与文書の検討と、それに基づいた修正が行われた。本文書は、今後も検討が必要であることから次回の会合へキャリアオーバーされた。

2.1.5 ウィンドプロファイラーレーダーの特性

SWG-8B1(Radiodetermination)において、審議が行われた。

入力文書: 8B/559 Annex14,618

出力文書: 8B/TEMP/267

ウィンドプロファイラーレーダーについては、前回の会合において、いくつかの関係文書を一つの暫定勧告案にまとめる作業が行われたところであるが、今回の会合ではその暫定勧告案の修正案が仏国より提案された。変更内容は主に1270-1295MHz帯で運用されているWPRで特性の追加・修正である。この変更に対するコメントは特になかった。ウィンドプロファイラーレーダーの特性については、まだ十分に評価できていないことから、次のITUの検討サイクルでも関係各国の寄与文書を求める必要があることから、キャリアオーバーされることになった。

2.1.6 2700-2900MHz帯のIMT-ADVANCEと無線測位業務の両立性(WRC-07議題1.4 関連)

SWG-8B1(Radiodetermination)において、審議が行われた。

入力文書: 8B/632

出力文書: 8B/TEMP/260

WP8Fからのリエゾンに対する回答。WP8Fは第22回WP8Fの会合において2700-2900MHz帯ならびに3400-3700MHz帯で運用されている無線測位業務とIMT-ADVANCEとの共用について新報告案をまとめた。これに対する意見をWP8Bに求めるリエゾンがあり、その回答を行った。本文書では特に3400-3700MHz帯について検討を行った結果についてまとめた。その内容は「報告書案にしめされた距離的分離では、いくつかの地域ではIMT-Advanceと無線測位業務の両立は(干渉)軽減技

術の適用無しでは難しい場合があり、軽減技術は更なる検討が必要である。また、報告書に記載の分析には一部保守的な考えの部分がある。とくに、計算によるレーダーとIMTの周波数分離についての結果は最悪値を仮定したもので、非現実的に高い周波数値である」というもの。本文書内ではWP8Fがまとめた新報告案に対し、その修正部分のみを記した。最終プレナリにおいて、Conclusionの一部文言が修正されたが、内容に大きな変更はなかったため承認された。文書の扱いは、WP8Fからのリエゾンに対する回答であるが、すでにWP8Fでは検討が終了し新報告案としてSG8に挙げられていることから、SG8に送り検討することになった。

2.1.7 450 – 470MHz帯の無線通信業務とIMTシステムの共用を検討する新報告書案

SWG-8B1(Radiodetermination)において、審議が行われた。

入力文書： 8B/630

出力文書： なし

WP8Fからリエゾン。WP8Fは第22回WP8Fの会合において450-470MHz帯で運用されている無線通信業務とIMTシステムの共用について新報告案をまとめた。これに対する意見をWP8Bに求めるものである。今回は特に寄与文書などが無いことから情報のみの扱いとなり、次回会合でも検討することになった。

2.1.8 EESSとレーダーの両立性検討(WRC-07議題1.20及び決議738(WRC-03)関係)

SWG-8B1(Radiodetermination)において、審議が行われた。

入力文書： 8B/590

出力文書： 8B/TEMP/247

船舶無線航行レーダーの受信機とEESS(active)ならびに無線標定の両立性について、EESSと無線評価システムが発射する波形のパルス幅とデューティサイクルの面から検討を行った寄与文書(8B/220)の改定。入力は米国によって行われたが、前回まではX-band(9410MHz付近)の船舶用レーダーについて実験をメインに検討を行ってきたが、今回入力された8B/590ではS-band(3050MHz付近)について、主にシミュレーションによる検討結果が追加された。内容に関するコメントは特に無かったが、さらに検討が必要であることから、暫定新報告案として次回の会合へキャリアフォワードとなった。

2.1.9 統計的側面を考慮したレーダーの保護

SWG-8B1(Radiodetermination)において、審議が行われた。

入力文書： 8B/441Annex22,603

出力文書： なし

8B/603は英国からの寄与文書で、レーダーの保護基準に対して、現在英国で行われている状況を

報告したものである。内容はレーダーと無線通信業務の共用に向けての保護基準の決定方法について記されているが、検討作業は理論面と実測定面から評価を行っているとしている。現在、この作業はQinetiQとERAで行われているが、2007年末にある程度の結論が出せるようである。英国は、この作業について引き続きWP8Bに報告を行い、ITUの課題35,216,226の解決に向けて役立てたいとしている。本寄与文書の扱いは、報告のみ。特に他国からのコメントもなかった。

2.1.10 伝搬予測の統計的側面

SWG-8B1(Radiodetermination)において、審議が行われた。

入力文書： 8B/566

出力文書： なし

無線測位業務帯で運用されているレーダーシステムとの共用ならびに保護基準を検討するうえで、宇宙-地球間通信などの伝搬路における減衰を考慮することは、正しく見積を行うためには重要な要素であることから、以前関係各部署(WP3J,WP3K,WP3M)にリエゾンを提出し意見を求めた(8B/TEMP/173)。8B/556はWP3Mからリエゾンバックされたものである。内容は、8B/TEMP/173 Annex1の§4.2.2の表などに示された方法は干渉源と被害システムの分離距離の予測に利用する。また、特定の地形や気候の数値を使用する代わりに、検討では様々な地形や気候の値を使用して計算により求めることを提案している。また、そこに入力する値の範囲は、限られたいくつかの数値を入力するか、モンテカルロ法に置き換えて行うことを薦めている。本件は、情報としての扱いであり、今後の検討に使用するため、次回の会合での参考文書とすることになった。

2.1.11 レーダーのアンテナパターン

SWG-8B1(Radiodetermination)において、審議が行われた。

入力文書： 8B/577,633

出力文書： 8B/TEMP/246

干渉の評価に用いるためのレーダー放射パターンの数式モデルについて記された暫定勧告案作成へ向けての作業文書。本件はWP8Fからもリエゾンがあり、IMT-2000とSバンドで使用されている気象レーダーの両立性を検討するための材料として、更なる検討が求められているところである。本件は、次回のITUピリオドでも検討が進められることになっていることから、作業文書として次回会合へキャリーオーバーすることになった。

2.1.12 RLANの5 GHz帯気象レーダーへの干渉

SWG-8B1(Radiodetermination)において、審議が行われた。

入力文書： 8B/611

出力文書： なし

RLANと気象レーダーの共用についてDynamic Frequency Selct (DFS)機能の有効性の報告。DFSは効果的ではないとまとめている。この件は、寄与文書提出国である仏国より、今後も引き続き検討を行い、さらに何らかの報告をする予定であることがコメントされた。

2.1.13 645-862MHz帯における航空無線航法システムの技術的特性と保護基準

SWG-8B1(Radiodetermination)において、審議が行われた。

入力文書: 8B/441 Annex10

出力文書: 8B/TEMP/251

645-862MHz帯における航空無線航法システムの技術的特性と保護基準をまとめた新勧告案である。本文章はRRC-6の検討用に作成したものを勧告にすることを目的としているが、ロシアのシステムしか記載されていないことから、前回の会合で他に645-862 MHzを航空航法業務に使用している国からの入力を即すためPDNRのまま持ち越しされていたものである。しかし、今回の会合でも関連文書の入力がなく、今後も寄与文書の入力がほとんど無いと予想されることから、今会合ではSummaryとScopeの全体の修正が行われると共にconsidering、recommendの修正、recognizingの追加が行われ、新勧告案として承認された。

2.1.14 無線測位業務におけるコグニティブシステムに関する新研究課題案 ITU-R [COG-RAD]

SWG-8B1(Radiodetermination)において、審議が行われた。

入力文書:

出力文書: 8B/TEMP/277

無線測位業務におけるコグニティブシステムに関する新研究課題案。近年、無線測位業務におけるコグニティブシステムの使用が検討されていることから、無線測位業務に使用されるコグニティブシステムに関する定義、特性などについてを調査するための審議代案を作成した。しかし、コグニティブシステム自体の定義(言葉)が明確になっていないことや、次回以降も本件について検討を行う必要があるとの意見が多かったためキャリーオーバーとなり、次回に寄与文書を求めることになった。

2.2 SWG8B2 (航空移動業務関連)

SWG8B2議長はMr. J. Mettrop (英) が担当し、33件の入力文書について審議を行い、13件の出力文書を作成した。

入力文書: 8B/559 Annexes 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 8B/560(rev1), 569, 579, 580, 581, 585, 586,595, 597, 605, 608, 609, 610, 613, 614, 615, 616, 617, 619, 622, 623, 629

出力文書: 8B/TEMP/225(rev1), 250(rev1), 252(rev1), 253, 254(rev1), 255(rev1), 256(rev1), 257, 263(rev1), 264, 265(rev1), 266, 268,

SWG 8B2は更に3つのドラフティンググループを立上げ、各々表2に示す議長の下で担当議題を審議して出力文書を作成した。

表2 SWG8B2の審議体制

グループ	検討事項	議長
DG8B2a	議題1.5 5GHz帯レポートと勧告	
DG8B2b	議題1.5 4/6GHz帯レポートと勧告	
DG8B2c	議題1.6 レポートと勧告	Mr. M. Biggs (米)

2.2.1 議題1.5 5GHz帯レポートと勧告関連(DG8B2a)

議題1.5 5GHz帯レポートと勧告のドラフティンググループを設置し、議題1.5 5GHz帯に関する事項の審議を行った。

入力文書: 8B/559 Annex1, 2, 3, 5, 6, 560(rev.1), 580, 597, 605, 608, 613, 614, 616, 622, 629

出力文書: 8B/TEMP/255(rev1), 257, 268

WRC-07議題1.5では、決議230に関連して、航空用テレコマンドと高ビットレート航空用テレメトリのための周波数要求及び可能な追加分配について検討がされている。

5GHz帯へのAMSの分配に関して、航空テレメトリとして使用されるAMSとFSSとの共用に関する報告案ITU-R M.[AMS-FSS]、航空無線航行業務とMLS (Microwave landing system) との共用に関する勧告案ITU-R M.[AMS-MLS]及び5GHz帯のAMT周波数要求に関する勧告案について検討が行われ、新勧告案2件、新報告案1件が承認された。

2.2.2 議題1.5 4/6GHz帯レポートと勧告関連(DG8B2b)

議題1.5 4/6GHz帯レポートと勧告のドラフティンググループを設置し、議題1.5 4/6GHz帯に関する事項の審議を行った。

入力文書: 8B/559 Annex4, 560(rev.1), 579, 615

出力文書: 8B/TEMP/252(rev1)

WRC-07議題1.5では、決議230に関連して、航空用テレコマンドと高ビットレート航空用テレメトリのための周波数要求及び可能な追加分配について検討がされている。

4/6GHz帯のフライトテスト用航空テレメトリの共用検討については、第19回会合の議長報告及び2件の入力文書について検討を行った結果、1件の新報告案「Sharing between mobile telemetry systems for flight testing and other systems operating in the 4400-4940 and 5925-6700MHz bands」が承認された。

2.2.3 議題1.6 レポートと勧告関連(DG8B2c)

議題 1.6 レポートと勧告のドラフティンググループ議長は Mr. M. Biggs (米) が担当し、議題 1.6 に関する事項の審議をした。

WRC-07 議題 1.6 では、決議 414 に関連して、108MHz から 6GHz の間での航空移動(R)業務の追加分配の検討がされている。

WRC-07 議題 1.6 の CPM レポートで ITU-R M.[AM(R)S 960-1164]、Report ITU-R M.[AM(R)S Spectrum requirements]、Report ITU-R M.[AM(R)S –RNSS/RAS]、Recommendation ITU-R M.[AM(R)S/AS 5091-5150 MHz] の勧告及びレポートが参照されており、これらの勧告及びレポートの作成作業が行われた。

入力文書： 8B/559 Annex 7, 8, 9, 10, 569, 581, 595, 609, 610, 617, 619, 623

出力文書： 8B/TEMP/250 (rev1), 254, 256, 265, 266

Report. ITU-R M.[AM(R)S 960-1164]においては、当初のスコープである共用検討が終了していないため、スコープを干渉計算方法のみとし、Draft New Report として出力した。検討が残っている範囲については、次回 WRC サイクルにて検討を継続することとした。

Report ITU-R M.[AM(R)S Spectrum requirements]においては、960-1164MHz 帯及び 5000-5150MHz 帯における航空移動(R)業務の周波数要求幅がまとめられている。それぞれ、960-1164MHz 帯は 60MHz 幅、5000-5150MHz 帯は 60 から 100MHz 幅が必要と結論付けている。特に大きな議論はなく、Draft New Report として出力された。

Report ITU-R M.[AM(R)S –RNSS/RAS]においては、5000-5030MHz 帯において航空移動(R)業務を追加分配した場合の、4990-5000MHz 帯の電波天文業務 (RAS) 及び 5000-5030MHz 帯の無線航行衛星業務 (RNSS) との両立性検討が扱われている。未だ検討が不完全であり、かつ前回議長報告では作業文書のステータスであったものを Draft New Report にするのは通常の ITU-R のプロセスではない等の理由から、フランス、ドイツ、豪州及び日本が Draft New Report とすることに反対した。このため、SWG8B2c で一度 Preliminary Draft New Report とする結論になった。しかし、SWG8B2 において、WP8B 議長や SG8 議長が「CPM レポートで参照されている Report が WRC 前に準備できないのはよくない。SG8 レベルで何も審議されないと、CPM レポートを読んだ人が混乱する。」として、もう一度 SWG8B2c に差し戻して審議を行うこととなった。再度の SWG8B2c での審議にて、ステータスが”study”に値しないとして、タイトルを”Initial consideration on regarding compatibility...”とする等の修正を行い、更に検討未了の点の明記等がなされた。RAS や RNSS を所掌する WP7D や WP8D の意見を聞いていない等多くの検討未了点が列挙された。最終的に Draft New Report として出力された。このため、TEMP/253 の他 WP へのリエゾンは出力されなかった。

Recommendation ITU-R M.[AM(R)S/AS 5091-5150 MHz]では、航空移動(R)業務(AM(R)S)及び航空安全(AS)アプリケーションの技術及び運用要求がまとめられている。干渉保護クライテリア DT/T=2%超過の場合の調整方法が議論になったが、非公式会合にて解決がなされた。DNR として出力された。

2.2.4 108MHz以下の放送業務との共用

SWG-8B2において検討が行われた。

入力文書： 8B/559 Annex11, 585, 586

出力文書： 8B/TEMP/264, 263(rev1)

勧告ITU-R M.[GBAS]について、WP6Eから本勧告案はアナログシステムに限ったであり、デジタルシステムについては、別途検討すべきとのリエゾン文書に基づき、勧告ITU-R M.[GBAS]のタイトルをアナログシステムに限ったものであることが明確になるよう修正し、新勧告案(8B/TEMP/265)として承認された。

また、デジタルシステムについては、次会期に検討することになり、WP6Eと連携を取り検討していく旨のリエゾン文書を作成、承認された。

2.3 SWG8B3（海上移動業務関連）

SWG8B3議長はMr. J. Turban（米）が担当し、23件の入力文書について審議を行い、9件の出力文書を作成した。

入力文書： 8B/485, 506, 524, 563, 565, 567, 568, 571, 572, 573, 574, 575, 576, 584, 587, 592, 593, 594, 598, 620, 624, 625, 628,

出力文書： 8B/TEMP/262, 269, 270, 271, 272, 273, 274, 275(Rev.1), 276

SWG 8B3は更に2つのドラフティンググループを立上げ、各々表3に示す議長の下で担当議題を審議して出力文書を作成した。

表3 SWG8B3の審議体制

グループ	検 討 事 項	議 長
DG8B3a	AIS/VHF data関連	Mr. A. Steward (英)
DG8B3b	Software Radio/Others	Mr. S. Ward (米)

2.3.1 AIS/VHF data関連(DG8B3a)

AIS/VHF data ドラフティンググループ議長は Mr. A. Stewart (英) が担当し、12件の入力文書について審議を行い、6件の出力文書を作成した。

入力文書： 8B/506, 524, 565, 568, 571, 572, 584, 592, 593, 594, 598, 624

出力文書： 8B/TEMP/271 AISロングレンジに関するWP3Mへのリエゾン
 8B/TEMP/272 VHF dataに関するIALA、IMOへのリエゾン
 8B/TEMP/273 Broad-band VHF dataに関する作業文書
 8B/TEMP/274 AISロングレンジに関する新報告案
 8B/TEMP/275(Rev.1) VHF data/e-Navサービス海岸局のEMC評価に関する新報告案
 8B/TEMP/276 Narrow-band VHF dataの特性に関する暫定新勧告案

(1) VHFデータ通信関連

a) Narrow-band VHF dataの特性に関する暫定新勧告案

ノルウェーのTelenor社がVHF 25kHzチャンネルを9チャンネル分束ねて高速データ通信を行う方式を勧告として纏めることを提案しているが、このシステムはスペクトラムが広がりすぎておりAISチャンネルを含めて近接チャンネルへ妨害を与えるとして、問題提起並びに代替方式の提案が IALA (8B/584) 及び米国 (8B/592) よりあり、夫々の技術内容について議論された。

Telenor社より、25kHzチャンネルを9チャンネル分束ねる Broad-band方式 (GMSK、133kbps) と、25kHzチャンネルを使う Narrow-Band方式 (GMSK 21.1kbps) の2つを提案しているが、主体はNarrow-band方式でBroad-band方式は限定用途であること、これらのシステムは既にノルウェー全海岸線をカバーしており、実績があること等が説明された。

米国は、隣接チャンネルへ妨害を与えないために現在AIS、DSC、音声の全てに適用している IECのエミッションマスク (25kHz離調で-70dB) を守ることが重要で、Telenor社のスペクトラムでは海岸局配置が非現実的な距離になることを主張すると共に、Telenor社のBroad-band方式のスペクトラムは、RR付録第3号のスプリアス規定さえも満たしていないことを指摘した。また、米国や IALAから代替方式として提案しているTETRA変調方式 ($\pi/4$ -DQPSK、 $\pi/8$ -D8PSK) はNarrow-band方式で、IECのエミッションマスクを満たすこと、更にカルテジアンフィードバック技術を適用すれば25kHz離調で-80dBも達成できること、データ伝送速度も28.8kbps ($\pi/4$ -DQPSK) 又は43.2kbps ($\pi/8$ -D8PSK) で、Telenor社のNarrow-band方式 (21.1kbps) よりも高速であること等がデータに基づいて説明された。

スウェーデンからは、RR付録第3号を満たせば IECのエミッションマスクを満たさなくても規則的には問題はないとの意見があったが、米国は IECエミッションマスクは音声通信の時代から適用されており、DSCやAISでも適用していること、特にAISはGMSK変調で変調指数を 0.5とすべきところを 0.4にしてエミッションマスクに適合させていること等を説明し、IECエミッションマスクの重要性を主張した。

VHF dataに関しては、送信スペクトラムと IECエミッションマスクに関する議論が大半を占めたが、デンマークからTETRA変調方式を支持する旨が、またフィンランドからはVHFデータ通信を市場は待っているので勧告を最終化すべきでTETRA変調方式も良いとの意見があり、これにスウェーデンも同調したものの、ロシアからは勧告の最終化には更なる研究が必要との意見があった。しかし、フランス提案により、VHFデータ通信の暫定新勧告案として、Annex 1に米国提案のTETRA変調方式を、Annex 2にTelenor社のNarrow-band方式を記述して纏めることとなった。米国よりTelenor社に対してNarrow-band方式のスペクトラムデータ及び特許が関係するか否かの提示を求めたが、結局スペクトラムデータは会期中に提示されなかったものの、暫定新勧告案にデータ伝送速度と隣接チャンネル電力減衰比-70dBを規定することとした。また関連特許は無いことが口頭で説明されたが、正式文書にてITUに提出するようTelenor社に求めた。なお、両方式とも IPプロトコルでの両立性を記述したが、特にAnnex 1ではVDLによるship-to-ship通信とその拡張によるad-hoc通信が盛り込まれた。

以上により、Narrow-band VHF dataの特性に関する暫定新勧告案 8B/TEMP/276が作成され、一部修正の上、WP8Bで承認された。

また、Telenor社提案のBroad-band方式に関してはRR付録第3号を満たしていないことから、8B/TEMP/273を作業文書とし、次回継続検討することとなった。

b) VHF data/e-Navサービス海岸局のEMC評価に関する新報告案

米国より、Telenor社提案のVHFデータ通信システムは隣接チャンネルへ妨害を与えることから、TETRA変調方式を提案するとともに、AIS海岸局や公衆通信海岸局間の配置を検討するためのEMC解析に関する新報告案を提案しているが（8B/584）、議論としては上記a)項と同様であり、ほぼ原案のまま、基地局e-NAVサービスにおけるEMC解析とVHFデータ通信の規格案に関する新報告案（8B/TEMP/275(Rev.1)）として一部修正の上、WP8Bで承認された。

c) VHFデータ通信に関するリエゾン回答

IALAからのTelenor社提案のVHFデータ通信システムはAISチャンネルへの妨害があるとしてTETRA変調方式等を検討すべきとのリエゾン（8B/584）に対する回答案が検討された。内容としては、VHFデータ通信システムとして、IALAからの助言を基にAISチャンネルへの干渉を考慮した Narrow-band（25kHz）を使用する2つの方式（IALA/米国提案のTETRA変調方式及びTelenor社提案方式）の暫定新勧告案を纏めたこと、Telenor社提案のBroad-band（225kHz）方式については、継続検討を行うこと、基地局e-NAVサービスのガイダンスとしてEMC解析に関する新報告案を纏めたこと、及び RR 付録第18号の脚注 o) でAISチャンネルを含めて他のチャンネルへの妨害を与えないことが記述されている等が盛り込まれ、一部修正の上、WP8Bで承認された（8B/TEMP/272）。

(2) AISロングレンジ関連

a) AISロングレンジに関する新報告案

AISの地上系ロングレンジについては、2006年9月のWP8Bで持ち越し審議となっていたが、前回の寄書に対して Annex 5として対流圏散乱伝搬の実測データを追加した寄書が米国より提出された（8B/594）。米国より、対流圏散乱伝搬は 200マイルまで離れたAISを受信可能で、船舶の長距離追跡に有用である旨の説明があり、一部修正の上、新報告案としてWP8Bで承認された（8B/TEMP/274）。

b) AISロングレンジに関するリエゾン回答

AISのロングレンジ伝搬に関して、WP3Mより対流圏散乱伝搬はITU-R 勧告 P.617の適用下限周波数200MHzの結果を162MHzに拡張しても大差ないのではないかととのリエゾン回答があった（8B/565）。これに対する回答として、米国からの対流圏散乱伝搬実測データを基に作成したAISロングレンジに関する新報告案(8B/TEMP/274)を紹介するWP3Mへのリエゾン回答（8B/TEMP/271）を作成し、WP8Bで承認された。

c) AISの衛星検出

AISの衛星検出に関する報告書について、2006年9月のWP8Bで持ち越し審議となっていた米国からの寄書（8B/506）の検討が行なわれたが、米国より非輻輳海域では解析が進んでいるものの、輻輳海域での解析が進んでおらず、また衛星打ち上げも遅れているため、将来の課題としての位置付けとし、今回も持ち越し審議としたい旨の説明があった。

また、技術的コメントとして、衛星から見て真下のAIS信号と斜めから来るAIS信号とは伝搬遅延差が大きく、タイムスロット内での重なりが問題になるとの説明が米国よりあった。

2.3.2 Software Radio/Others関連(DG8B3b)

Software Radio/Othersドラフティンググループ議長は Mr. S. Ward (米)が担当したが、8B3プレナリーにおいてSoftware Radio関連の6件 (8B/563, 567, 574, 576, 587, 628) 及びHF高速データ送信に関する1件 (8B/573) の寄書は情報リエゾンであることと、今回技術的な寄書が無いことから今会合では扱わないこととなった。

また、当ドラフティンググループには次の3つのグループを作り、11件の入力文書について審議を行い、3件の出力文書を作成した。

- ・ DSCグループ： DSC関連 議長 Mr. J. Turban (米)
- ・ MMSIグループ： MMSI登録書式関連 議長 Mr. S. Ward (米)
- ・ PUBグループ： 船上備付書類関連 議長 Mr. J. Steenge (蘭)

入力文書： 8B/485, 563, 567, 573, 574, 575, 576, 587, 620, 625, 628

出力文書： 8B/TEMP/262	船舶搭載機器以外のMMSI登録書式に関するBR事務局への覚書
8B/TEMP/269	ITU-R M.493-12 (DSC)の明確化に関するETSIへのリエゾン回答 (CC: IEC、IMO)
8B/TEMP/270	船上備付書類の統合・改訂に関する作業文書

(1) DSC関連

DSCに関するITU-R勧告 M.493-12に於いて、Annex 2でクラス毎の機能を定義しているが、Class-D 及び Class-E について詳細機能を記述している Table 4.1~4.10.2との間で不一致があるとして、ETSIよりその明確化が求められた(8B/625)。

Class-D、Class-Eは小型船用の簡略化したDSC機能であるが、例えばTable 4.2ではClass-Dは遭難呼出応答できないことになっているが、遭難呼出のキャンセルを送信する必要があること、また、Class-DはAnnex 2では遭難中継や遭難中継応答ができないことになっているものの Table4.3と一致していないこと、テスト送信についても Annex 2とTableとで不一致になっている等が議論された。その結果、

- ・ DSCの機能は Annex 2よりもTable 4.1~4.10.2 規定の機能を優先する。
- ・ Annex 2 の Class-B ~ Class-E の各項目に、「Table 4.1~4.10.2を参照」を今後追記する。
- ・ Class-D、Class-Eは Annex 2 では遭難中継機能について記述していないが、Tableで規定している通り遭難中継も可とする。
- ・ 位置要求及び試験呼出しは、安全関連であるのでClass-Dでも可とする。
- ・ ITU-R勧告M.493については、今後もWP8Bで検討を継続し検討内容提供する。

という内容をETSIに回答すると共に、IEC TC80 WG8 及びIMO COMSARへもコピーを送付するためのリエゾン文書 (8B/TEMP/269) を作成し、一部修正の上 WP8Bで承認された。

(2) MMSI関連

SAR航空機やAtoN等、船舶搭載機器以外で使用するMMSIをMARSデータベースに登録するための書式案及び検索画面案がBR事務局より提案された (8B/575)。

検討の結果、

- ・ Annex 1 SAR航空機用書式については、航空機の所有者欄の削除、搭載機器欄の修正
- ・ Annex 2 データフォーマットについては、母船の付随船用機器のデータ長を決定
- ・ Annex 3 AtoN機器については、「00MIDXXXX」の削除及び「Remarks」を「Contact Information」に修正
- ・ Annex 4 検索画面については原案のまま

とすることとし、BR事務局への覚書(8B/TEMP/262)が一部修正の上、WP8Bで承認された。

(3) 船上備付書類関連

船上備付書類はRR 第20条の規定により、List IV (海岸局リスト)、List V (船舶局リスト)、List VI (無線標定局及び特別業務局リスト)、List VIIA (コールサイン及びMMSIリスト)の他、海上移動業務マニュアル、海上衛星移動業務マニュアル2冊が必要となっている。CPMLレポートで、書類の簡素化、電子化のために RR 付録第16号の修正案が取り纏められているが、具体的にその内容をどのようにするのかをデンマークからの寄書 (8B/620) 及びノルウェーからの寄書 (8B/384) を基に検討した結果、

- ・ List IVと List VI を統合し、List IV(海岸局及び特別業務局リスト)とする。
- ・ List Vと List VIIAを統合し、List V(船舶局及び海上移動業務識別リスト)とする。
- ・ 主管庁は、List IVの変更について少なくとも月1回連絡すること。
- ・ List IV及び List Vの内容についての変更をBRに通知しなかった主管庁名をそのリストに掲載する。
- ・ List IV及び List Vの情報について、BRは定期的に主管庁に確認を行い、2版連続して情報提供がなかった場合には、その情報を削除する。

などを盛り込んだ RR 第20条の修正案を作成した。この修正案は、CEPTよりWRC-07に提案することとなった。

また、船上備付書類の具体的な内容、書式等を次期研究期間に継続して行うために、List の統合・簡素化、マニュアルの内容更新の作業の必要性和各国主管庁の協力が必要である旨を記述した暫定新報告案を作業文書 (8B/TEMP/270) として取り纏め、議長報告に添付することとなった。

3 今後の予定

次回WP8B会合 2008年2月5日(火)から2月14日(木)まで(スイス・ジュネーブ)

表6 WP8B入力文書一覧

文書番号 Doc.8B/	提出元	題 目	担当SWG	出力文書 Doc.8B/ TEMP/
559	Chairman, WP 8B	Report of the 19 th meeting of working party 8b - Geneva, 5 to 13 September 2006	—	—
559 Ann1	Chairman, WP 8B	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[AMT 5 030-5 250 MHz] - Technical and operational requirements for aircraft stations of aeronautical mobile service limited to transmissions of telemetry for flight testing in the band 5 030-5 250 MHz	8B2	268
559 Ann2	Chairman, WP 8B	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[AMS-MLS] - Method for determining [coordination] distances, in the 5 GHz band, between the international standard microwave landing system (MLS) stations operating in the aeronautical radionavigation service and transmitters operating in the aeronautical mobile service (AMS) to support telemetry	8B2	257
559 Ann3	Chairman, WP 8B	Preliminary Draft New Report - [Examples of bilateral coordination results between administrations operating the MLS receivers and whose territory is located with the distance "D" of the AMT flight test area, where "D" is defined in the proposed new Resolution ITU-R M.[AMT-5 GHz]]	8B2	257, 268
559 Ann4	Chairman, WP 8B	Revisions to Preliminary Draft New Report - Sharing between aeronautical mobile telemetry systems and systems of other co primary services in the 4 400-4 940 and 5 925-6 700 MHz bands	8B2	252
559 Ann5	Chairman, WP 8B	Working document towards Preliminary Draft New Recommendation ITU-R M.[AMT 5 150-5 250 MHz] - Technical and operational requirements for aircraft stations of aeronautical mobile service limited to transmissions of telemetry for flight testing in the band 5 150-5 250 MHz	8B2	268
559 Ann6	Chairman, WP 8B	Combined Reports on Sharing with AMT at 5 GHz	8B2	255R1
559 Ann7	Chairman, WP 8B	Preliminary Draft New Recommendation ITU-R M.[AM(R)S/AS 5 091-5 150 MHz] - Technical and operational requirements for stations of aeronautical mobile (R) service limited to surface application at airports and for stations of aeronautical mobile service limited to aeronautical security (AS) applications in the band 5 091-5 150 MHz	8B2	256R1
559 Ann8	Chairman, WP 8B	Working document towards a preliminary draft new Report - Compatibility between proposed new aeronautical mobile (R) service (AM(R)S) and both radionavigation satellite service (RNSS) in the 5 000-5 010 MHz and 5 010-5 030 MHz bands and radio astronomy	8B2	250R1
559 Ann9	Chairman, WP 8B	Working document towards a preliminary draft new Report	8B2	254
559 Ann10	Chairman, WP 8B	Working document towards a Preliminary Draft New Report on AM(R)S Sharing feasibility in the 960-1 164	8B2	265, 266

文書番号 Doc.8B/	提出元	題 目	担当SWG	出力文書 Doc.8B/ TEMP/
		MHz band		
559 Ann11	Chairman, WP 8B	Preliminary Draft New Recommendation ITU-R M.[8B.GBAS] - Compatibility between the sound-broadcasting service in the band of about 87-108 MHz and new aeronautical mobile (R) services in the band 108-117.975 MHz	8B2	263R1, 264
559 Ann12	Chairman, WP 8B	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[VHF DATA] - Characteristics of VHF radio system and equipment for the exchange of data and electronic mail on maritime Appendix 18 channels	8B3	272, 273, 276
559 Ann13	Chairman, WP 8B	Working document towards a Preliminary Draft New Recommendation ITU-R M.[HF-RADAR] - Technical and operational characteristics of high frequency surface wave radars operating in sub-bands within the frequency range 3-50 MHz	8B1	248
559 Ann14	Chairman, WP 8B	Working document towards a preliminary draft new Recommendation (PDNR) - Technical and operational characteristics of wind profiler radars operated in bands in the vicinity of 50 MHz, 400 MHz, 1 000 MHz and 1 300 MHz	8B1	267
559 Ann15	Chairman, WP 8B	Proposed text for a PDNR on technical and operational aspects of ground-based meteorological radars	8B1	249
559 Ann16	Chairman, WP 8B	Working document towards a preliminary draft new Report and/or Recommendation on studies regarding the impact of the radionavigation-satellite service into radiodetermination service systems receivers	8B1	258R1
559 Ann17	Chairman, WP 8B	Preliminary draft new Report - Long range detection of automatic identification system (AIS) messages using terrestrial techniques	8B3	271, 274
559 Ann18	Chairman, WP 8B	Consolidation of liaison statements	—	—
559 Ann19	Chairman, WP 8B	Assignment of input documents	—	—
559 Ann20	Chairman, WP 8B	List of output documents	—	—
560	WP 4A	FSS sharing with aeronautical mobile service applications - Draft Liaison statement to WP 8B - Technical and operational requirement for aircraft stations of aeronautical mobile service limited to transmissions of telemetry for flight testing in the bands 5 091-5 250 MHz, 4 500-4 800 MHz and 5 925-6 700 MHz	8B2	255R1
561	WP 3M	Liaison statement to Working Parties 1A, 1C, 4A, 4-9S, 6E, 7B, 7C, 7D, 8A, 8B, 8F, 9A and 9D - Spreadsheet implementation of the clear-air portion of Recommendation ITU-R P.452-12	—	—
562	Chairmen, WPs 1A and 1C	Report of the third meeting of ITU-R JRG 1A-1C-8B	8B1	—
563	WP 8A	Liaison statement to Working Parties 8B and 8D - Copy to WP 8F - Development of a consolidated Report on software defined radio	8B3	—

文書番号 Doc.8B/	提出元	題 目	担当SWG	出力文書 Doc.8B/ TEMP/
564	WP8A	Liaison statement to Working Parties 6J and 9D copy to 4B, 6E, 7C, 7D, 8B, 8F, 9B, and ITU-T Study Group 9 - System characteristics of television outside broadcast (TVOB), electronic news gathering (ENG) and electronic field production (EFP) in the mobile service	—	—
565	WP3M	Reply to liaison statement to Working Party 8B on long-range tracking of automatic identification system (AIS) messages	8B3	271
566	WP3M	Reply to the Liaison statement from WP 8B - Consideration of the statistical aspects of propagation predictions	8B1	—
567	WP1B	Liaison statement to WPs 1A, 4A, 4-9S, 6E, 6S, 7B, 7C, 7D, 8A, 8B, 8D, 8F, 9B and 9D - The study of software defined radio and cognitive radio systems in Working Party 1B	8B3	—
568	WP8D	Liaison statement to ITU-R Working Party 8B - Satellite detection of AIS	8B3	—
569	WP8D	Liaison statement to Working Party 8B - Compatibility studies between aeronautical mobile (R) and radionavigation-satellite services in the bands 5 000-5 010 MHz and 5 010-5 030 MHz	8B2	250R1, 253
570	Coordinati on Committee for Vocabular y (CCV)	Liaison statement to Radiocommunication Study Groups and Working Parties - Terminology database	—	—
571	IALA	Liaison statement to Working Party 8B - AIS search and rescue transmitter (AIS-SART) station	8B3	—
572	IALA	Liaison statement to Working Party 8B - Maintenance and administration of AIS binary messages and the proposed preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1371-2	8B3	—
573	BR SGD	ITU-R Study Group 9 Question to be brought to the attention of Working Party 8B	8B3	—
574	WP 8F	Liaison statement to ITU-R Working Party 1B on the study of software defined radio and cognitive radio systems in Working Party 1B - (Copy for information to ITU-R WPs 1A, 4A, 4-9S, 6E, 6S, 7B, 7C, 7D, 8A, 8B, 8D, 9B and 9D)	8B3	—
575	Director, Radiocom munication Bureau	Follow-up actions on Resolution 353 (WRC-03) - Maritime mobile service identities for equipment other than shipborne mobile equipment	8B3	262
576	WP 6S	Reply to Liaison statement from 1B on the study of software defined radio and cognitive radio systems	8B3	—
577	USA	Working document towards preliminary draft new Recommendation - Mathematical models for radar radiation patterns for use in interference assessment	8B1	246
578	USA	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[MET-RAD] - Technical and operational aspects of	8B1	249

文書番号 Doc.8B/	提出元	題 目	担当SWG	出力文書 Doc.8B/ TEMP/
		ground based meteorological radars		
579	USA	Revisions to preliminary draft new Report - Sharing between aeronautical mobile telemetry systems and systems of other co-primary services in the 4 400-4 940 and 5 925-6 700 MHz bands	8B2	252
580	USA	Revisions to Combined Reports on Sharing with AMT at 5 GHz - Compatibility between proposed systems in the aeronautical mobile service and the existing fixed-satellite service in the 5 091-5 150 MHz band	8B2	255R1
581	USA	Draft new Report - Initial estimate of new aviation AM(R)S spectrum requirements	8B2	254
582	ITU-T TD 348 Rev.1 (WP 2/13) - TD 485 (GEN/19)	On the development of a PDN Report ITU-R M.[IP CHAR] "Key technical and operational characteristics for access technologies to support IP applications over mobile systems" in response to Question ITU-R 223-1/8	—	—
583	WP 6E	Liaison statement to Working Parties 8A, 8B and 9C - Review of Report ITU R M.2080 - Consideration of sharing conditions and usage in the 4-10 MHz band	—	—
584	IALA	Liaison statement to ITU - VHF radio system and equipment for the exchange of data and e-mail on Maritime Appendix 18 channels under WRC-07 Agenda item 1.14	8B3	272, 275R1, 276
585	WP6E	LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 8B Compatibility of aeronautical mobile (R) and broadcasting services above and below 108 MHz*	8B2	263R1, 264
586	WP6E	LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 8B COMPATIBILITY STUDIES BETWEEN THE AERONAUTICAL MOBILE (R) SERVICE IN THE BAND 108-117.975 MHz AND BROADCAST SERVICES BELOW 108 MHz	8B2	263R1, 264
587	WP 9B, 9D	LIAISON STATEMENT TO ITU-R WORKING PARTY 1B ON THE STUDY OF SOFTWARE DEFINED RADIO AND COGNITIVE RADIO SYSTEMS IN WORKING PARTY 1B	8B3	—
588	Russian	Proposal for a preliminary draft new report ITU-R M. - Radionavigation satellite service effect on receivers in the radiodetermination systems in the 1 215-1 300 MHz frequency band	8B1	258R1
589	USA	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[HF-RADAR] - Technical and operational characteristics of high-frequency surface wave radars operating in sub-bands within the frequency range 3-50 MHz	8B1	248
590	USA	Draft new Report - Test results and simulations illustrating the effective duty cycle of frequency modulated pulsed radiolocation and EESS waveforms in marine radionavigation receivers	8B1	247
591	USA	On the compatibility of air surveillance radars (ASR) and meteorological radar with IMT systems within the 2 700-2 900 MHz band	8B1	—
592	USA	Preliminary draft new Report on EMC assessment of	8B3	272,

文書番号 Doc.8B/	提出元	題 目	担当SWG	出力文書 Doc.8B/ TEMP/
		shore-based eNAV services and new draft standards for data services in the VHF maritime mobile band (156-174 MHz)		275R1, 276
593	USA	Working document towards a PDRN (Recommendation) regarding VHF maritime digital messaging service	8B3	272, 275R1, 276
594	USA	Proposed revisions to preliminary draft new Report - Long-range detection of automatic identification system (AIS) messages using terrestrial techniques	8B3	271, 274
595	USA	Compatibility between proposed new aeronautical mobile (R) service (AM(R)S) and both radionavigation satellite service (RNSS) in the 5 000-5 010 MHz and 5 010-5 030 MHz bands and radio astronomy in the 4 990-5 000 MHz band	8B2	250R1
596	USA	Preliminary draft new Question ITU-R 8B - Unmanned aircraft systems (UAS)	—	—
597	USA	Evaluation of interference into mobile-satellite service feederlinks operating in the 5 150-5 250 MHz band	8B2	268
598	Telenor ASA	Amendments to preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[VHF DATA] - Characteristics of VHF radio system and equipment for the exchange of data and electronic mail on maritime Appendix 18 channels	8B3	272, 273, 275R1, 276
599	JRG 1A- 1C-8B	Final Report of Joint Rapporteur's Group 1A/1C/8B	8B1	—
600	USA	Working document towards a draft new Report - Data requirements, techniques and factors which contribute to the satisfactory operation of radars and RNSS in the band 1 215-1 300 MHz	8B1	258R1
601	USA	Linear frequency modulated pulsed radar emission mask	8B1	—
602	United Kingdom	RNSS interference into radars	8B1	258R1
603	United Kingdom	Radar protection criteria	8B1	—
604	Korea	Hf surface wave radar systems and estimated available frequency bands within 3 to 50 MHz in Korea	8B1	248
605	ICAO	Interference levels for MLS receivers	8B2	257, 268
606	WP9C	Liaison statement to WP 8B (for information to WP 8A and WP 6E) - Consideration of sharing issues in the 4-10 MHz band and possible update of Report ITU-R M.2080	—	—
607	WP9C	Consideration of sharing with high-frequency surface wave radar systems	8B1	248
608	EUROCO NTROL	Sharing study in the band 5 091-5 150 MHz between the Aeronautical Mobile Service (AMS) Aeronautical Security (AS) and Aeronautical Mobile Telemetry (AMT) (specifically AS into AMT)	8B2	268
609	EUROCO NTROL	Interoperability of the AM(R)S Airport Network and Locating Equipment (ANLE) system and Aeronautical Security (AS)	8B2	256R1
610	EUROCO	Susceptibility of the planned Aeronautical Mobile	8B2	256R1,

文書番号 Doc.8B/	提出元	題 目	担当SWG	出力文書 Doc.8B/ TEMP/
	NTROL	Service (AMS) Aeronautical Security (AS) system in the band 5 091 - 5 150 MHz		268
611	France	Initial results of RLAN 5 GHz testing	8B1	—
612	United Kingdom	Review of Report ITU-R M.2080 - Consideration of sharing conditions and usage in the 4-10 MHz band	—	—
613	France	Update of the PDN Recommendation ITU-R M.[AMT 5 030-5 250 MHz] - Technical and operational requirements for aircraft stations of aeronautical mobile service limited to transmissions of telemetry for flight testing in the band 5 030-5 250 MHz	8B2	268
614	France	Draft new Report - Examples of bilateral coordination results between administrations operating the MLS receivers and whose territory is located with the distance "D" of the AMT flight test area, where "D" is defined in the proposed new Resolution ITU-R M.[AMT-5 GHz]	8B2	268
615	France	Revisions to preliminary draft new Report - Sharing between aeronautical mobile telemetry systems and systems of other co primary services in the 4 400-4 940 and 5 925-6 700 MHz bands	8B2	252
616	France	Combined reports on sharing with AMT in 5 GHz	8B2	255R1
617	France	Update of the draft new Report: Initial estimate of new aviation AM(R)S spectrum requirements	8B2	254
618	France	Technical and operational characteristics of wind profiler radars operated in bands in the vicinity of 50 MHz, 400 MHz, 1 000 MHz and 1 300 MHz	8B1	267
619	France	Compatibility studies between aeronautical mobile (R) and radionavigation satellite services in the bands 5 000-5 010 MHz and 5 010-5 030 MHz	8B2	250R1
620	Netherlands	Comments on the Report of the Director on the activities of the Radiocommunication Sector: Issues of interest for CPM	8B3	270
621	Germany	Proposal towards a draft new Report - Results of measurements related to the impact of the GALILEO radio-navigation satellite service into radars operating in the radiolocation service in the 1 260-1 300 MHz band	8B1	258R1
622	France	Update of the PDN Recommendation ITU-R M.[AMS-MLS] - MLS protection criteria for determining the protection distances between transmitters operating in the aeronautical mobile service (AMS) to support telemetry for flight testing and MLS ground stations operating in the aeronautical radionavigation service	8B2	257
623	France	Update of the PDN Recommendation ITU-R M.[AM(R)S/AS 5 091-5 150 MHz] - Technical and operational requirements for stations of aeronautical mobile (R) service limited to surface application at airports and for stations of aeronautical mobile service limited to aeronautical security (AS) applications in the band 5 091-5 150 MHz	8B2	256R1

文書番号 Doc.8B/	提出元	題 目	担当SWG	出力文書 Doc.8B/ TEMP/
624	Telenor ASA	Comments to liaison statement to ITU from IALA - VHF radio system and equipment for the exchange of data and e-mail on maritime Appendix 18 channels	8B3	272
625	ETSI	Liaison statement to ITU-R Working Party 8B on clarification of ITU-R M.493-12 - Digital selective calling issues	8B3	269
626	France	Initial results of meteorological radar interference testing	8B1	249
627	VT Communic ations Ltd	Review of Report ITU-R M.2080 - Consideration of sharing conditions and usage in the 4-10 MHz band	—	—
628	WP 4A	Liaison statement to WP 1B - Study of Software Defined Radio and cognitive radio systems in WP 1B	8B3	—
629	WP 4A	Liaison statement to Working Party 8B – FSS sharing with aeronautical mobile service applications – Technical and operational requirements for aircraft stations of aeronautical mobile service limited to transmissions of telemetry for flight testing in the bands 5 150–5 250 MHz	8B2	255R1, 268
630	WP8F	Liaison statement to Working Parties 8A, 8B, and Study Group 6 - Draft new Report on sharing studies between Radiocommunication services and IMT Systems operating in the 450-470 MHz band	8B1	—
631	BR Study Group Departme nt	List of documents issued		
632	WP8F	Liaison statement on the draft new Reports on sharing studies between IMT-Advanced and the radiolocation service in the 3 400-3 700 MHz band and 2 700-2 900 MHz band	8B1	260
633	WP8F	Liaison statement - Selectivity masks and antenna diagrams of aeronautical radionavigation and meteorological radars for frequency-related matters for the future development of IMT-2000 and IMT-Advanced related to WRC-07 agenda item 1.4	8B1	—
634	WP8A	Liaison statement to WP 8B (for information to WP 7C, 6E, 9C and 9D) - Consideration of sharing with high-frequency surface wave radar systems		
635	WP8A	Liaison statement to Working Parties 6E, 8B and 9C regarding review of Report ITU-R M.2080 - Consideration of sharing conditions and usage of the 4-10 MHz band		
636	WP8A	Liaison statement to Working Party 8F (copy to Working Party 8B) - Frequency-related matters for the future development of IMT-2000 and IMT-Advanced - Sharing studies between IMT-Advanced systems and radars operating in the 3 400-3 700 MHz band		
637	WP1A	Liaison statement to Working Party 8B - Future work related to Annex 8 of Recommendation ITU-R SM.1541-2	8B1	261R1, 259

文書番号 Doc.8B/	提出元	題 目	担当SWG	出力文書 Doc.8B/ TEMP/
638	WP1A	Response to the liaison statement of Working Party 3J (copy to WPs 4A, 6E, 6M, 6S, 7B, 7C, 7D 8A, 8B, 8D, 8F and 9B) - Radio noise		
639	WP1A	Liaison statement to Working Parties 6E, 7A, 7B, 7C, 7D, 8A, 8B, 8F, 9A and 9C - Interference protection requirements from power line telecommunications systems on radiocommunications systems operating in the LF, MF, HF and VHF bands below 80 MHz		

表7 WP8B出力文書一覧

文書番号 Doc.8B/ TEMP/	題 目	入力文書 Doc.8B/	処理
246	Working document towards preliminary draft new Recommendation - Mathematical models for radar radiation patterns for use in interference assessment	577	WDとして議長報告に添付 (Annex 1)
247	Preliminary draft new Report - Test results and simulations illustrating the effective duty cycle of frequency modulated pulsed radiolocation and EESS waveforms in marine radionavigation receivers	590	PDNレポートとして承認 議長報告に添付 (Annex 2)
248	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[HF-RADAR] - Technical and operational characteristics of high-frequency surface wave radars operating in sub-bands within the frequency range 3-50 MHz	559Ann13, 589, 604, 607	WDとして議長報告に添付 (Annex 3)
249	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[MET-RAD] - Technical and operational aspects of ground based meteorological radars	559Ann15, 578,626	PDNRとして承認 議長報告に添付 (Annex 4)
250R1	Draft new Report - Compatibility between proposed new aeronautical mobile (R) service (AM(R)S) and both radionavigation satellite service (RNSS) in the 5 000-5 010 MHz and 5 010-5 030 MHz bands and radio astronomy in the 4 990-5 000 MHz band	559Ann8, 569,595,61 9	DNレポートとして承認 (8/214)
251	Draft new Recommendation - Technical characteristics and protection criteria of aeronautical radionavigation service systems in the 645-862 MHz frequency band	441Ann10	DNRとして承認 (8/225)
252	Draft new Report - Sharing between mobile telemetry systems for flight testing and other systems operating in the 4 400-4 940 and 5 925-6 700 MHz bands	559Ann4, 579, 615	DRレポートとして承認 (8/227)
253	Draft Liaison statement to WP 8D - Compatibility between proposed new aeronautical mobile (R) service (AM(R)S) and both radionavigation satellite service (RNSS) in the 5 000-5 010 MHz and 5 010-5 030 MHz bands and radio astronomy in the 4 990-5 000 MHz band	569	withdrawn
254	Draft new Report - Initial estimate of new aviation AM(R)S spectrum requirements	559Ann9	DNレポートとして承認 (8/215)
255R1	Draft new Report ITU-R M.[AMS-FSS] - Compatibility between proposed systems in the aeronautical mobile service and the existing fixed-satellite service in the 5 091-5 250 MHz band	559Ann6, 560,560(re v1), 616	DNレポートとして承認 (8/217)

文書番号 Doc.8B/ TEMP/	題 目	入力文書 Doc.8B/	処理
256R1	Draft new Recommendation ITU-R M.[AM(R)S/AS 5 091-5 150 MHz] - Technical and operational requirements for stations of aeronautical mobile (R) service limited to surface application at airports and for stations of aeronautical mobile service limited to aeronautical security (AS) applications in the band 5 091-5 150 MHz	559Ann7, 609, 610, 623	DNRとして承認 (8/216)
257	Annex 2 to Working Party 8B Chairman's Report - Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[AMS-MLS] - Method for determining the necessary geographical separation distances, in the 5 GHz band, between the international standard Microwave Landing System (MLS) stations operating in the aeronautical radionavigation service and transmitters operating in the Aeronautical Mobile Service	559Ann2, 605, 622	DNRとして承認 (8/220)
258R1	Working document towards a preliminary draft new Report - Compatibility of the radionavigation-satellite service with radiodetermination service systems receivers in the 1 215-1 300 MHz band	559Ann16, 588, 600, 602, 621	WDとして議長報告に添付 (Annex 5)
259	Terms of reference for the 8B Rapporteurs Group on unwanted emissions of radars in the out of band domain	559, 637	承認 議長報告に添付 (Annex 11)
260	Review of the draft new Report on sharing studies between IMT-Advanced and radiolocation services in the 3 400-3 700 MHz bands	632	承認 議長報告に添付、SG8へ送付 (Annex 6)
261R1	Liaison statement to Working Parties 1A and 1C - Future work related to Annex 8 of Recommendation ITU-R SM.1541-2	637	WP1A、1Cへのリエゾンとして承認 (1A/166, 1C/176)
262	Note to the Director, BR related to the incorporation of information into the ITU maritime services database per Resolution 353 (WRC-03) maritime mobile service identities for equipment other than shipborne mobile equipment	575	BRへ送付
263R1	Draft Liaison statement to Working Party 6E - Compatibility between aeronautical and broadcast systems above and below 108 MHz	559Ann11, 585, 586	WP6Eへのリエゾンとして承認 (6E/500)
264	Draft new Recommendation ITU-R M.[8B.GBAS] - Compatibility between FM sound-broadcasting in the band of about 87-108 MHz and the aeronautical Ground Based Augmentation System (GBAS) in the band 108-117.975 MHz	559Ann11, 585, 586	DNRとして承認 (8/224)
265	Draft new Report on guidelines for AM(R)S sharing studies in the 960-1 164 MHz band	559Ann10	DNレポートとして承認 (8/218)

文書番号 Doc.8B/ TEMP/	題 目	入力文書 Doc.8B/	処理
266	Working document towards a preliminary draft revision to the Report on guidelines for AM(R)S sharing studies in the 960-1 164 MHz band	559Ann10	WDとして議長報告に添付 (Annex 7)
267	Working document - Technical and operational characteristics of wind profiler radars operated in bands in the vicinity of 50 MHz, 400 MHz, 1 000 MHz and 1 300 MHz	559Ann14, 618	WDとして議長報告に添付 (Annex 8)
268	Draft new Recommendation ITU-R M.[AMT 5 030-5 250 MHz] - Technical and operational requirements for aircraft stations of aeronautical mobile service limited to transmissions of telemetry for flight testing in the 5 GHz band	559Ann1, 597, 608, 613, 629, 610, 605, 597	DNRとして承認 (8/219)
269	Liaison statement to European standards institute ERM TG26 (Copy to IEC TC80 WG 8, IMO COMSAR) - Clarification of Recommendation ITU-R M.493-12 digital selective calling issues	625	ETSI TG26へのリエゾンとして承認
270	Working document towards a preliminary draft new Report - [Outline of a Report to identify additions, modification, and suppression of ITU Publications related to the Maritime mobile service]	384, 620	WDとして議長報告に添付 (Annex 9)
271	Reply Liaison statement to Working Party 3M on long-range tracking of automatic identification system (AIS) messages	559Ann17, 565, 594	WP3Mへのリエゾンとして承認 (3M/229)
272	Draft Liaison statement to IALA and IMO - VHF radio system and equipment for the exchange of data and electronic mail on maritime Appendix 18 channels under WRC-07 Agenda item 1.14	559Ann12, 584, 592, 593, 598, 624	IALA、IMOへのリエゾンとして承認
273	Working document - Example of maritime broadband VHF data system	559Ann12, 598	WDとして議長報告に添付 (Annex 10)
274	Draft new Report ITU-R M.[LRS-AIS] - Long range detection of automatic identification system (AIS) messages using terrestrial techniques	559Ann17, 594	DNレポートとして承認 (8/223)
275R1	Draft new Report ITU-R M.[EMC2AIS] - EMC assessment of shore-based eNAV services and new draft standards for data services in the VHF maritime mobile band (156-174 MHz)	592, 584	DNレポートとして承認 (8/222)
276	Preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[VHFDATA] - Characteristics of VHF radio system and equipment for the exchange of data and electronic mail in the maritime mobile service Appendix 18 channels	599Ann12, 584, 592, 593, 598, 624	DNRとして承認 (8/221)
277	Draft new Question ITU-R [COG-RAD] - Cognitive systems in the radiodetermination service		withdrawn

ITU-R SG8 第20回会合報告書

1 ITU-R SG8

ITU-R SG8はすべての移動業務、無線測位および標定業務、アマチュア業務及びこれら業務に関連する衛星業務を所掌している。

1.1 会議の概要

SG8会合は、2007年6月25日(月)から26日(火)までの2日間、スイス国ジュネーブ市のITU本部において開催された。

本会議には31カ国の主管庁、7つの国際機関及び認められた私企業等から120名が参加した。日本からは表1に示す11名が出席した。

議長はC. VAN DIEPENBEEK (蘭)であり、副議長はJ.COSTA(加、WP8A 議長)、D.DRAZENOVICH (米)、T.EWERS (独、WP8B 議長)、水池 健氏 (日本、WP8D 議長)、J.NASSER (アラブ首長国連邦)、V.STRELETS (露)である。

今回会合においては、参考資料1に示す60件の寄与文書について審議を行い、勧告案については、表2に示す14件が郵便による採択・承認同時手続に、2件が通常の郵便による採択・承認の手続に、1件が決議44-1に基づく修正の手続に、8件が通常の勧告廃止承認手続に、1件がRA-07で継続審議に、1件がWPへ差戻しとなった。

また、表3に示す22件の研究課題改訂案及び5件の研究課題の削除提案が採択されるとともに、16件の新報告案及び11件の報告の削除提案が承認された。

なお、勧告文書の採択・承認手続きの手順については、参考資料2のとおり。

表1 SG8会合出席者一覧

氏名	所 属
成澤 慶	総務省 総合通信基盤局電波部移動通信課 システム開発係
新 博行	(株)NTTドコモ 電波部電波企画担当課長
小山 敏	(株)日立製作所 トータルソリューション事業部 ITSソリューションセンター 担当部長
岸 洋司	(株)KDDI研究所 無線ネットワークアーキテクチャグループ グループリーダー
小坂 克彦	社団法人電波産業会 参与
小松 裕	ソフトバンクモバイル(株) 技術本部 ネットワーク統括部 電波部 課長
白石 基	社団法人電波産業会 研究開発本部 主任研究員
中村 元	(株)KDDI研究所 ネットワーク設計グループ グループリーダー
中村 裕治	在ジュネーブ国際機関 日本国政府代表部 一等書記官
中山 稔啓	(株)フジテレビジョン 技術局 技術開発室 企画開発部 副部長
三留 隆宏	(株)日立製作所 公共・社会システム本部 公共システム部 主任技師

表2 SG8 会合での勧告の採択状況

	郵便による採択・承認の同時手続		通常の郵便による採択及び承認手続		決議44-1に基づく修正手続	通常の勧告廃止承認手続	解決を求めるためRA-07で審議		WPへの差戻し	
	新	改訂	新	改訂	改訂	廃止	新	改訂	新	改訂
WP8A	4	0	0	1	1	6	0	0	0	0
WP8B	5	0	1	0	0	1	0	0	0	0
WP8D	1	3	0	0	0	1	0	0	0	0
WP8F	1	0	0	0	0	0	0	1	0	3
合計	11	3	1	1	1	8	0	1	0	3
	14		2				1			

表3 SG8 会合での課題、報告、決議の採択・承認状況

	採択された研究課題案 (RA-07へ送付)			承認された報告書案			WPへ差戻し	
	新	改訂	削除	新	改訂	削除	新	改訂
WP8A	0	18	5	4	0	11	0	0
WP8B	0	0	0	6	0	0	1	0
WP8D	0	3	0	1	0	0	0	0
WP8F	0	1	0	5	0	0	1	0
合計	0	22	5	16	0	11	2	0
	27			27			2	

2 審議の内容

2.1 WP8A (IMT-2000を除く陸上移動通信)関連

(1) 勧告

WP8Aからは4件の新勧告案と2件の勧告改訂案を提出した。

以下の2件の勧告改訂案が審議され、1件は通常の郵便による採択及び承認(Approval)手続き、1件はSG内郵便投票による承認手続きを行うことが合意された。

① (勧告M.1450の改訂案) Draft revision of Recommendation ITU-R M.1450-2 – Characteristics of broadband radio local area networks

【入力文書:8/205】

<主な変更点>

2頁目：F.2036をF.2086に修正。

本勧告は、シリアからResolution 229の確認の為に、通常の郵便による採

択と承認の手続きとすべきとの意見が出され、承認された。

- ② (勧告M.1653の改訂案) Draft revision of Recommendation ITU-R M.1653 - Operational and deployment requirements for wireless access systems including radio local area networks in the mobile service to facilitate sharing between these systems and systems in the Earth exploration – satellite service (active) and the space research service (active) and the space research service (active) in the band 5 470 – 5 570MHz

【入力文書:8/210】

エディトリアルな修正のみなので、ITU-R 44-1を適用したSG内の郵便投票によって、勧告を修正する。また、以下の4件の新勧告案についてはPSAAの手続きを取るようになった。

- ③ (新勧告案)Draft new Recommendation ITU-R M.[LMS.CHAR.CELL] - Technical and operational characteristics of digital cellular land mobile systems for use in sharing studies

【入力文書:8/203】

<主な変更点>

文書中の表で、空欄の部分がある為、表記を修正。その後、PSAAにて承認。

- ④ (新勧告案) Draft new Recommendation ITU-R M.[ENG] –System characteristics of television outside broadcast (TVOB), electronic news gathering (ENG) and electronic field production (EFP) in the mobile service for use in sharing studies

【入力文書:8/206】

特に修正なく、PSAAとして承認。

- ⑤ (新勧告案) Draft new Recommendation ITU-R M.[METH.SHAR.LMS] – Guidance on technical parameters and methodologies for sharing studies related to systems in the land mobile service

【入力文書:8/209】

<主な変更点>

エディトリアルな修正の上、PSAAとして承認。

- ⑥ (新勧告案) Draft new Recommendation ITU-R M.[LMS.PPDR.4.9 GHz] – Harmonized frequency channel plan for broadband public protection and disaster relief operations at 4 940-4 990 MHz in Regions 2 and 3

【入力文書:8/212】

シリアから Region 2, 3 でのチャンネルプランに対する明確化の質問があったが、ニュージーランドから CITEL と APT の勧告に基づくものとの説明がなされ、修正なく PSAA として承認。

(2) 研究課題

WP8A 会合で検討された研究課題の見直しに関し、研究課題 18 件が見直され、研究課題案 5 件が削除された。

- ① ITU-R Question 1-3: Interference protection ratios and minimum field strengths

required in the mobile services

【入力文書:8/207】

課題名が次のとおり変更“...required in the land mobile services”。また、further decidesでused by the BRが削除された。なお、CategoryもS1からS2に修正された。

②ITU-R Question 7-5: Characteristics of equipment for the land mobile service between 25 and 3 000 MHz

【入力文書:8/207】

周波数帯が3000MHzから6000MHzまで拡大され、その他、エディトリアルな修正がされた。

③ITU-R Question 37-4: Digital land mobile systems for dispatch traffic

【入力文書:8/207】

decides 2 の market が users に修正され、また Category S1 が S2 に修正された。

④ITU-R Question 48-5: Techniques and frequency usage in the amateur service and amateur-satellite service

【入力文書:8/207】

WP8A からの提案どおり。

⑤ITU-R Question 77-5: Consideration of the needs of developing countries in the development and implementation of mobile radiocommunication technology

【入力文書:8/207】

decides の”standard equipment for land, maritime and aeronautical mobile use;”を削除。

⑥ITU-R Question 99-0: Interference due to intermodulation products in the land mobile services between 25 and 6 000 MHz

【入力文書:8/207】

WP8A からの提案どおり。

⑦ITU-R Question 101-3 : Quality of service requirements in the land mobile service

【入力文書:8/207】

Delay の意味についてのシリアからの明確化の質問あり、decides 2 の”delay and delay variation” が “delay and delivery of delay”に修正された。また、脚注に SG2 and SG12 を追記。

⑧ITU-R Question 106-0 : Criteria for sharing between the broadcasting-satellite service (sound) and complementary terrestrial broadcasting and the mobile and amateur services within the range 1-3 GHz

【入力文書:8/207】

WP8A からの提案どおり。

⑨ITU-R Question 205-3 : Intelligent transportation systems

【入力文書:8/207】

カテゴリーが S1 から S2 に修正された。

⑩ITU-R Question 208-0: Evolution of land mobile systems towards IMT-2000 and systems beyond IMT-2000

【入力文書:8/207】

カテゴリーが S1 から S2 に修正された。

⑪ITU-R Question 209-2 : Contributions of the mobile and amateur services and associated satellite services to the improvement of disaster communications

【入力文書:8/207】

considering: Resolution 34(Doha)を b)として挿入。また、further decides 3: should be considered another study groups.を追記。なお、脚注については、カウンセラが適切な修正を行う。

⑫ITU-R Question 212-2: Nomadic wireless access systems including radio local area networks for mobile applications

【入力文書:8/207】

シリアより、ITU-R は standard を作るのではなく、勧告を作るところであるため、課題に standard を入れることに反対を表明し、代わりに、External standards を提案。また、カナダが specification を提案、さらに、シリアが Normadic の意味について質問。結局議長が SG 再編でそのあたりの問題が解消すると言及し、

Decides 1: technical characteristics ⇒ requirements に修正。

Decides 2: What standards are to specifications may be recommended for NWA systems.(including 以下は削除)に修正。

カテゴリーが S1 から S2 に修正された。

⑬ITU-R Question 215-1: Frequency bands, technical characteristics, and operational requirements for fixed wireless access systems in the land mobile service

【入力文書:8/207】

カテゴリーが S1 から S2 に修正された。

⑭ITU-R Question 223-1: Internet protocol applications over mobile systems

【入力文書:8/207】

Telecom Italia より、本課題は WP8A だけでなく WP8F もこの課題をリードすべきではないか？とのコメントが出されが、8A 議長より、課題を推進するために核となる WP が必要であること、8F 議長より、この課題については WP8F がリードする必要は無いとの回答が出され、WP8A 提案どおりとなった。

⑮ITU-R Question 224-1: Adaptive antennas

【入力文書:8/207】

WP8A からの提案どおり。

⑯ITU-R Question 230-1: Software defined radios

【入力文書:8/207】

エディトリアルな修正がなされた。

⑰ITU-R Question 238: Broadband wireless access systems for the mobile service

【入力文書:8/207】

WP8A からの提案どおり。

⑩ITU-R Question 241: cognitive radio systems in the mobile service

【入力文書:8/207】

WP8A からの提案どおり。

また、ITU-R Question 51-3, 107-1, 114-0, 213-0, 214-0が削除された。

(3) 報告

新報告案 4 件が承認された。

①(新報告案)Draft new Report ITU-R M.[8A/DFS-IMPLIMENTATION] - Testing procedures for implementation of dynamic frequency selection

【入力文書:8/208】

特に議論なく承認された。

② (新報告案) Draft new Report ITU-R M.[LMS.CHAR-BWA] - Characteristics of broadband wireless access systems operating in the land mobile service to be used in sharing studies

【入力文書:8/211】

特に議論無く、承認された。

③ (新報告案) Draft new Report ITU-R M.[SDR] - Software defined radio in the land mobile, amateur and amateur satellite services

【入力文書:8/213】

特に議論無く、承認された。

④ (新報告案) Draft new Report ITU-R M.[IP.CHAR] - Key technical and operational characteristics for access technologies to support IP applications over land mobile systems

【入力文書:8/223】

特に議論無く、承認された。

(4) 審議報告

Executive Report of the 20th meetings of Working Party 8A

【入力文書: 8/228(WP8A議長)】

WP8A 前回会合における審議報告並びに次回 WP8A で審議を行う案件 (Annex 1) について報告があり、承認された。

2. 2 WP8B (GMDSS を含む海上移動業務、航空移動業務及び無線測位業務)関連

WP8B 関連では、6 件の Draft New Recommendation 及び 7 件の Draft New Report の審議を行った。

Draft New Recommendation については全て郵便投票で採択の手続きに入ることになった。

Draft New Report については、Report ITU-R M.[AM(R)S –RNSS/RAS]について、後述のように豪州、フランス、日本及びイランの反対によって承認されなかった。他の Draft New Report は全て SG8 にて承認された。

入力文書：8/214(WP8B), 215R1(WP8B), 216(WP8B), 217(WP8B), 218(WP8B), 219(WP8B), 220(WP8B), 221(WP8B), 222(WP8B), 223(WP8B), 224(WP8B), 225(WP8B), 226(WP8B 議長), 227(WP8B)

(1) 勧告

- ①(新勧告案)ITU-R M. [AMSRS/AS 5 091 – 5 150 MHz] “Technical and operational requirements for stations of aeronautical mobile (R) service limited to surface application at airports and for stations of aeronautical mobile service limited to aeronautical security (AS) applications in the band 5 091-5 150 MHz”

【入力文書: 8/216 (WP8B)】

WRC-07 議題 1.6 関連で、航空移動(R)業務(AM(R)S)及び航空安全(AS)アプリケーションの技術及び運用要求がまとめられている。Scope にて”limited to the surface application”とある箇所についてシリアから、”limited to the ground application”のほうがよいとの意見が出たが、surface の用語は ICAO でも使用されていることと CPM レポートでも使用されていることから、surface のままとなった。PSAA にて採択と承認の手続きに入ることとなった。

- ②(新勧告案)ITU-R M. [AMT 5 030 - 5 250 MHz] “Technical and operational requirements for aircraft stations of aeronautical mobile service limited to transmission for flight testing in the bands around 5 GHz”

【入力文書: 8/219 (WP8B)】

WRC-07 議題 1.5 関連で、飛行試験のためのテレメトリ送信に限定される航空移動業務の技術的及び運用上の要求をまとめられている。編集上の修正が行われたのみで、特に問題なく、PSAA にて採択と承認の手続きに入ることとなった。

- ③(新勧告案)ITU-R M. [AMS-MLS] “Method for determining the necessary geographical separation distances, in the 5 GHz band, between the international standard microwave landing system (MLS) stations operating in the aeronautical radionavigation service and transmitters operating in the aeronautical mobile service (AMS) to support telemetry”

【入力文書: 8/220 (WP8B)】

WRC-07 議題 1.5 関連で、5GHz 帯における国際標準 MLS と議題 1.5 で検討中のテレメトリのための AMS 送信機との間に必要な地理的隔離距離の計算方法をまとめられている。タイトルは“5GHz band”と記されていたが、Scope や *recommends* に 5030-5150MHz と記されていた。計算方法は周波数帯を限定せずに適用可能であることと、WRC の結論を先走らないためにも周波数帯は特定しないほうがよいとの意見が出たため、Scope や *recommends* においても “5GHz band”と記す（正確には ITU-R の表記になら

い、5000MHz band とする) こととなった。この他にも編集上の修正がなされ、PSAA にて採択と承認の手続きに入ることとなった。

④(新勧告案)ITU-R M.[VHFDATA] “Characteristics of VHF radio system and equipment for the exchange of data and electronic mail in the maritime mobile service Appendix 18 channels”

【入力文書: 8/221 (WP8B)】

決議 342(WRC-2000)に基づいて、VHF Appendix 18 チャンネルにおける海上業務における新技術としてデータと電子メール交換のためのシステムの技術特性をまとめている。シリアがアラブのポジションが決められないため、留保を表明し、シリアの留保が SG8 議長方向に記載されることとなった。また、シリアの要求により Appendix18 は WRC-07 で扱わないことも SG8 議長報告に記載される。特許について、Annex2 にある VHF data system example 2 に特許が関連しているため、ITU 事務局にて調査を行うことになった。もし、特許があり、特許保持者から patent statement が得られない場合は、ITU 事務局と WP8B 議長と SG8 議長との間で Annex2 を削除する編集を行い、採択することを SG8 議長が提案し、受け入れられた。通常の手続きで採択及び承認を行うこととなった。

⑤(新勧告案)ITU-R M. [8B.GBAS] “Compatibility between FM sound-broadcasting in the band of about 87-108 MHz and the aeronautical Ground Based Augmentation System (GBAS) in the band 108-117.975 MHz”

【入力文書: 8/224 (WP8B)】

決議 413(WRC-03)に従い、87-108MHz 帯の FM 音声放送と 108-117.975MHz 帯における ICAO 標準の GBAS(Ground Based Augmentation System: 地上補完システム)との間の両立性検討に関する技術ガイドラインを提供している。シリアが本件についてはアラブグループは反対しており、アラブグループ主官庁と放送業者に確認が必要として8月末まで時間が必要と要求した。その他、編集上の修正が行われ、手続きは保留された。(8月から PSAA にて採択及び承認に入る。)

⑥(新勧告案)ITU-R M. [UHF-RAD] “Technical characteristics and protection criteria of aeronautical radionavigation service systems in the 645-862 MHz frequency band”

【入力文書: 8/225 (WP8B)】

RRC-06にてカバーされていない645-862MHz帯におけるANRSの技術特性を、共用・両立性検討に用いることを目的として提供している。Scopeにおいて編集上の修正を行った。(PSAA にて採択及び承認に入る)。

(2) 報告

①(新報告案)ITU-R M.[AMSS-RNSS-RAS] “Initial considerations on compatibility between proposed new aeronautical mobile (R)service (AM(R)S) and both radionavigation satellite service (RNSS)in the 5 000-5 010 MHz and 5 010-5 030 MHz bands and radio astronomy in the 4 990-5 000 MHz band”.

新報告案 ITU-R M.[AM(R)S –RNSS/RAS] 【入力文書:8/214(WP8B)】においては、5000-5030MHz 帯において航空移動(R)業務を追加分配した場合の、4990-5000MHz 帯の電波天文業務 (RAS) 及び 5000-5030MHz 帯の無線航行衛星業務 (RNSS) との両立性検討が扱われている。WP8B において、フランス、ドイツ、豪州及び日本が Draft New Report とすることに反対したが、WP8B 議長や SG8 議長が「CPM レポートで参照されている Report が WRC 前に準備できないのはよくない。SG8 レベルで何も審議されないと、CPM レポートを読んだ人が混乱する。」として、検討未了の点の明記等を行った後にとりあえず Draft New Report として出力され、SG8 へ入力されたという経緯がある。

文書 8/214 の審議に当って、WP8B からの報告【入力文書 8/226】から下記のイランの声明が WP8B 議長から紹介された。

Statement by the Islamic Republic of Iran:

Reference to a PDN Report or PDN Recommendation in the CPM does not mean that these preliminary DNR or Recommendations should be upgraded to a Report or Recommendation if the required studies have not been completed or if the preliminary draft Report or recommendation was only based on one single study

豪州が、作業文書から Draft New Report にするのは通常の手続きと異なること、検討が未だ初期段階で完成度が低い（例えば、文書中のパラメータ表が空欄になっていること）こと等を理由に文書 8/214 の承認に反対し、フランスと日本が続いた。シリアもイランと同様の理由から承認に反対した。一方、米国とカナダは、RNSS については WP8D のパラメータを拾っており承認に問題ないと意見した。最終的に、承認のための十分な支持がないと SG8 議長が判断し、承認に十分な支持がないと SG8 議長報告にノートすることにより、承認しないこととした。

②(新報告案) ITU-R M. [AM(R)S – Spectrum Requirements] “Initial estimate of new aviation AM(R)S spectrum requirements”.

【入力文書:8/215Rev.1(WP8B)】

960-1164MHz 帯及び 5000-5150MHz 帯における航空移動(R)業務の周波数要求幅がまとめられている。それぞれ、960-1164MHz 帯は 60MHz 幅、5000-5150MHz 帯は 60 から 100MHz 幅が必要と結論付けている。シリアから「新しいシステムを航空機にインテグレーションする」との表記のある箇所を” Integration of radio services and related equipment networks”とするようコメントがあり、反映された後、承認された。

③(新報告案)ITU-R M.[AMS-FSS] “Compatibility between proposed systems in the aeronautical mobile service and the existing fixed-satellite service in the 5 091-5 250 MHz band”.

【入力文書:8/217(WP8B)】

WRC-07 議題 1.5 に関して、5091-5250MHz 帯における FSS と AMS との間の両立性検討のための方法を提供している。T/T を用いて干渉評価を行うものである。シリアの留保（完成度が低いなどが理由）を議長報告にノートして承認された。

- ④ (新報告案)ITU-R M.[AMRS 960 – 1 164 MHz] “Guidelines for AM(R)S sharing studies in the 960-1 164 MHz band”.

【入力文書:8/218(WP8B)】

960-1164MHz 帯における AM(R)S と他業務との共用検討のためのガイドラインとして干渉計算方法等が提供されている Report である。特に問題なく承認された。

- ⑤ (新報告案)ITU-R. [EMC2AIS] “EMC assessment of shore-based electronic navigation (eNAV) infrastructure and new draft standards for data exchange in the VHF maritime mobile band (156-174 MHz)”.

【入力文書:8/222(WP8B)】

156-174MHz 帯における海上移動業務におけるデータ交換のための海岸をベースとした電子航行(eNAV)インフラ及び新標準の EMC 評価を扱ったレポートである。全ての海上業務の保護のため、及び eNAV と SOLAS との間のインターオペラビリティを確認するために行われた検討である。問題なく承認された。

- ⑥ (新報告案)Document 8/223 (source WP 8B) contained the draft new Report ITU-R M. [LRD-AIS] – Long range detection of automatic identification system (AIS) messages under various tropospheric propagation conditions”.

【入力文書:8/223(WP8B)】

様々な地上伝播条件における AIS の長距離検知を扱っている。ITU-R 勧告 M.1317 で扱われていない特定の条件での長距離検知を扱っている。シリアから knife edge に関するコメントがあったのみで承認された。

- ⑦ (新報告案)ITU-R M.[AMT 4/6 GHz] – “Sharing between aeronautical mobile telemetry systems for flight testing and other systems operating in the 4 400-4 940 and 5 925-6 700 MHz band”.

【入力文書:8/227(WP8B)】

5925-6700MHz 帯及び 4400-4940MHz 帯における航空移動テレメトリ (AMT) と他システムとの間の共用検討を取り扱っている。他業務としては FSS 地球局 (送信及び受信)、FSS 宇宙局 (送信)、電波天文業務、固定／移動業務が取り扱われている。シリアから 8/217 と同じ留保がつくことにより承認された。

(3) 審議報告

Executive report of the 20th meeting of Working Party 8B

【入力文書: 8/226 (WP8B議長)】

ITU-R 勧告 M. 1313 を SUP することが報告され、文書は承認された。

2. 3 WP8D(移動衛星業務(アマチュア業務を除く)・無線測位衛星業務)関連

(1) 勧告

新勧告案 1 件と勧告改訂案 3 件について、郵便による PSAA 手続きにかけら

れることとなった。

- ① (新勧告案) ITU-R 勧告 M.[RNSS_COORD_METHOD] : “A coordination methodology for RNSS inter-system interference estimation” 「無線航行衛星業務システム間干渉推定の調整方法」

【入力文書:8/233 (WP8D)】

本勧告案は、シリアの指摘により Recognizing f)はnoting 1に変更し、PSAAによる採択・承認を諮ることとなった。

- ② (勧告M.1318の改訂案) ”Evaluation model for interference from radio sources other than in the radionavigation-satellite service to the radionavigation-satellite service systems and networks operating in the 1 164-1 215 MHz, 1 215-1 300 MHz, 1 559-1 610 MHz and 5 010-5 030 MHz band” 「無線航行衛星業務以外の干渉源から1 164-1 215 MHz, 1 215-1 300 MHz, 1 559-1 610 MHz, 5 010-5 030 MHz帯で運用される無線航行衛星業務システムとネットワークに対する干渉評価モデル」

【入力文書:8/229 (WP8D)】

カウンセラからタイトルに”continuous”を追加。SWG8D4議長より、WP8D会合での合意事項としてrecommends 2の後半を削除。以上の修正のうえ、PSAAによる採択・承認を諮ることとなった。

- ③ (勧告 M.1642-1 の改訂案) ”Methodology for assessing the maximum aggregate equivalent power flux-density at an aeronautical radionavigation service station from all radionavigation-satellite service systems operating in the 1 164-1 215 MHz band ” 「1 164-1 215 MHz 帯で運用される全ての無線航行衛星業務システムによる航空無線航行業務局における最大総合等価電力束密度の評価方法」

【入力文書:8/231 (WP8D)】

特段の修正なく、PSAAによる採択・承認を諮ることとなった。

- ④ (勧告 M.1583 の改訂案) ”Interference calculations between non-geostationary mobile-satellite service or radionavigation-satellite service systems and radio astronomy telescope sites” 「電波天文望遠鏡と非静止移動衛星業務と非静止無線航行衛星業務システム間の干渉計算」

【入力文書:8/232 (WP8D)】

前回SG8会合において、シリアの反対によりWP8Dに審議を差し戻されていたものである。シリアからの提案により、電波規則22.5C.1への参照を削除した上で、PSAAによる採択・承認を諮ることとなった。

(2) 研究課題

WP8Dによる既存文書のレビューの結果作成された3件の研究課題改訂案が採択され、RAにおいて承認を諮ることとなった。

- ① (研究課題 ITU-R 217-1/8 の改訂案) “Interference to the radionavigation-satellite service in the ICAO global navigation satellite system” 「ICAO GNSS における無線航行衛星業務への干渉に関する研究課題(271/8)改訂案」

【入力文書:8/234 (WP8D)】

シリアより研究結果を Recommendations のみに限るのは不相当であると

のコメントがあったが、本研究課題に関しては Recommendations に限ることとなった。よって、原案通り採択され、RA での承認を諮ることとなった。

- ② (研究課題 ITU-R 236-1/8 の改訂案) “Characteristics and operational requirements of radionavigation-satellite service (space-to-Earth, space-to-space, Earth-to-space) systems” 「1-3 GHz 帯の移動衛星業務における非静止衛星により運用する移動地球局のための技術特性に関する研究課題(210/8)改訂案」

【入力文書:8/235 (WP8D)】

原案通り採択され、RA での承認を諮ることとなった。

- ③ (研究課題 ITU-R 239/8 の改訂案) “Methodology for the coordination of radionavigation-satellite service systems and networks” 「無線航行衛星業務システム間の調整方法」

【入力文書:8/236 (WP8D)】

本研究課題については、今後 FDMA システムに関する研究を行うべく、原案通り採択し、RA での承認を諮ることとなった。

(3) 報告

WRC-07議題1.7に関連する新報告案1件が承認された。

- ① (新報告案) ITU-R 報告 M. [MSS-SRS-1.6 GHz] : “Interference calculations to assess sharing between the mobile satellite service and space research (passive) service in the band 1 668-1 668.4 MHz” 「1 668-1 668.4MHz 帯における移動衛星業務と宇宙研究 (受動) 業務との共用検討のための干渉計算」

【入力文書: 8/230 (WP8D)】

本新報告案は、WRC-07 議題 1.7 の CPM 報告書案に記載された、1 668-1 668.4MHz 帯における移動衛星業務と宇宙研究 (受動) 業務との共用検討の詳細結果を取りまとめたものである。本新報告書案は原案通り承認された。

(4) 審議報告・文書の削除の提案

- ① (議長報告) Executive report of Working Party 8D

【入力文書 : 8/237 (WP8D議長)】

ITU-R 報告書 M.1049 の主管を WP8D に移すことが報告された。

- ② (連絡文書) WP 8A への連絡文書 (SG8 にコピー) : “Completion of a consolidated Report on software defined radio” 「ソフトウェア定義無線に関する統合報告書の完成」

【入力文書 : 8/239 (WP8D議長)】

WP 8A が取りまとめているソフトウェア定義無線に関する報告書案に対して、WP 8D からは現時点で特段の寄与文書が無いことを報告すると共に、当該報告書におけるソフトウェア定義無線の定義に、移動衛星業務を含めることを要請するものである。

- ③ (連絡文書) WP 8F と SG8 への連絡文書 : “Suppression of Recommendation

ITU-R M.1455-2” 「ITU-R 勧告 M.1455-2 の削除」

【入力文書：8/240 (WP8D議長)】

WP 8F からの勧告 ITU-R M.1455-2 の削除提案に対して、WP 8D から、図 2 をどこかに残しておく必要がある旨コメントしたもの。WP 8F 議長より、当該図については回章に記載されていることから、特段問題ない旨、回答があった。

そこで、本勧告については削除を採択することとし、主管庁に対する consultation による承認を諮ることとなった。

2. 4 WP8F (IMT-2000 and Systems beyond IMT-2000)関連

(1) 勧告

WP8F から入力された新勧告案 1 件及び改訂勧告案 4 件について、審議した。

なお、本 SG8 への入力文書について審議した WP8F 会合（第 22 回：京都）が、本 SG8 会合の直前（本年 5 月 23 日～31 日）に開催されており、決議 ITU-R1-4 第 10.2.2 項(Procedure for adoption at a Study Group meeting)の規定（審議する新勧告案又は改訂勧告案は少なくとも SG8 開始日の 4 週間前に配布すること）に抵触するため、WP8F から入力した新勧告案及び改訂勧告案については、議長が予め同規定に従って、“Recommendations where notice of intention to seek adoption was not given” として、Agenda に記載した。したがって、これらの勧告案は、本 SG8 での採択はなく、本 SG8 会合後、郵便による採択、承認手続き（採択後承認を行う 2 段階手続き又は採択と承認を同時に行う同時手続き (PSAA))などを行うことになっている。

① (新勧告案) ITU-R 勧告 M.[IMT.SERV] “Framework for services supported by IMT” (IMT で提供されるサービスのフレームワーク勧告)

【入力文書：8/187(WP8F)】

WP8F 議長から、本新勧告案の内容に併せて、本勧告案は、WRC-07 に関するレファレンス文書としても重要との説明があり、審議に入った。シリアから、本勧告案の中で“services”という単語を単独で使用するについて、「何のサービスを指すのか不明であり、“radio services”とすべき」との意見が示された。これに対してカナダから、「“telecommunication services”の方がより適切である」との意見が示され、シリアも合意したため、勧告案全体でエディトリアルに修正を行なうこととした。また日本より、「勧告本体における Annex への参照先の表現が誤っていること、Annex 2 の項目のインデントが誤っていること」を指摘し、エディトリアルに修正を行なうこととした。以上の修正を行なって、郵便による採択・承認同時手続き (PSAA)を行なうことが合意され、サーキュラーレターに付ける Summary として、Introduction の最後のパートと Scope 部をつけることとした。

② (勧告 M.1036-2 の改訂案) “Frequency arrangements for implementation of the terrestrial component of International Mobile Telecommunications-2000 (IMT 2000) in the bands 806-960 MHz, 1 710-2 025 MHz, 2 110-2 200 MHz and 2 500-2 690 MHz” (806-960 MHz, 1 710-2 025 MHz, 2 110-2 200 MHz 及び 2

500-2 690 MHz 帯における地上系 IMT-2000 のための周波数配置)

【入力文書：8/241(SG8)】

WP8F 議長より、SG8 から WP8F へ差戻しになっている本勧告改訂案の審議状況として、本改訂に反対をしているシリアからの具体的な修正提案が WP8F に提出されていない旨の説明が行われ、審議を行なうこととなった。シリアより、「本勧告の改訂にはアラブグループとして反対しており、地上系 IMT-2000 の周波数配置が決定されて導入されると、WRC-07 議題 1.9 の検討結果で示されているように衛星系 IMT-2000 を同一地域で地上系 IMT-2000 と周波数共用して導入することができないことから、衛星系 IMT-2000 を重要視する立場として認められない」と表明した。これに対してカナダより、「本件は長らく審議が行なわれており問題解決のため RA へ送るべき」との意見が示され、スウェーデン、英国、ドイツが支持した。SG8 議長より、「WP8F への差戻しへの繰り返しでは状況は変わらないとして、RA に送る」との意見が示され合意された。その際にシリアからは、「RA に対してシリアからコメントを出すことになるであろうし、RA に送ったとしても議論の状況は同じである」との意見が示された。

③ (勧告 M.1457-6 の改訂案) “Detailed specifications of the radio interfaces of International Mobile Telecommunications-2000 (IMT-2000)” (IMT-2000 無線インタフェースの詳細仕様)

【入力文書：8/186(WP8F)、8/197 (イタリア)、8/198 (イラン)】

(勧告 M.1580-1 の改訂案) “Generic unwanted emission characteristics of base stations using the terrestrial radio interfaces of IMT-2000” (IMT-2000 地上系無線インタフェースを使用する基地局の一般的な不要発射特性)

【入力文書：8/193(WP8F)、8/200(WiMAX Forum)】

(勧告 M.1581-1 の改訂案) “Generic unwanted emission characteristics of mobile stations using the terrestrial radio interfaces of IMT-2000” (IMT-2000 地上系無線インタフェースを使用する移動局の一般的な不要発射特性)

【入力文書：8/194(WP8F)、8/200(WiMAX Forum)】

WP8F 議長より、「本件は ITU-R 勧告 M.1457 の第 7 版への改訂に関わり、IEEE 及び WiMAX Forum より提案された OFDMA TDD WMAN を、新たな地上系 IMT-2000 無線インタフェースとして追加する議論が WP8F において決着しておらず、8/186 の入力文書には中国、ドイツ、セクタメンバ 9 社の意見が添えられた提出されている」との説明が行われた。続いて、SG8 議長より上記添付された意見の内容説明の機会が与えられ、中国は「WP8F からの報告にあるように未解決の問題があり、地上系 IMT-2000 無線インタフェースの追加は時期尚早」、ドイツからは「未解決の問題があり、RA の前に会合を設けて議論すべき」、セクタメンバ 9 社を代表してエリクソンから「性能評価に関する未解決の問題、及び不要発射の規定が不完全であり、次回 WP8F 会合で継続議論すべき」との意見が示された。

これに関連した入力文書の説明も併せて行われ、イタリア(8/197)より、「問題解決を図るためのラポータ会合を開催すべき」との提案が行われた。また、イラン(8/198)の提案をシリアが代理で説明し、「RA に直接 WP8F の議論を持ち込むことによる RA での審議の混乱を回避すべきという意図の提案であり、本件に関わる Correspondence Forum を設けて改訂案の修正を作成し、RA 開催前に WP8F 会合を開催してこの修正案を承認し、SG8 議

長の権限で RA に入力すべき」との解決案が示された。これに対してカナダからは、「RA 前に何らかの中間会合を開催しても WP8F の議論が繰り返されるだけで意味がなく、今回の SG8 及び RA で決着を図るべき、また不要発射の勧告改訂は M.1457 の改訂の議論と切り離すべき」との意見が示され、英国、米国、韓国、WiMAX Forum が支持した。一方、スウェーデン、ドイツは「技術的な内容を SG8 及び RA で議論するのは不可能であり WP8F に差戻して議論をすべき、また不要発射の勧告改訂をセットにして議論すべき」との意見を示し、エリクソンが支持した。一方、中国は上記議論の過程の中で、「RA では本件を十分に審議する時間が取れないことが問題であり、中間会合を持つことを支持する」との意見を表明した。なお WP8F 議長から、「WP8F から IEEE 及び WiMAX Forum に対して連絡文書を発出し、Administrative issues について確認を行なっている」とのコメントがあったが、IEEE, WiMAX Forum からは既に回答済みとのコメントが出され、カウンセラが確認を行い、その内容が 8/242 として登録された。

休憩を挟んだ後 SG8 議長より、「先ほどの議論の中で一致した意見は、この SG8 会合にて不要発射の勧告改訂等の技術的な議論を行なうことは不可能であり、RA 会合までに何らかの中間会合を設けることである。また、RA での無用な議論を避けるため、中間会合を設ける場合にも、議論すべき項目を明確化しておく必要がある」とのガイダンスが示された。これに対して WP8F 議長より、「中間会合で議論すべき内容を明確化するため、TEMP 文書を作成して議論したい。作成にはイタリアの入力文書の Annex 1 をベースにしたい」との意見が示され、ドラフティング会合により別途内容を議論することとした。

ドラフティング会合では、WP8F 議長が作成した TEMP 文書をもとに議論が行なわれた。TEMP 文書の冒頭に、「SG8 では 8/186, 8/193, 8/194 の議論の結論が出され、これらの文書を RA-07 に送ることとした」との表現に対して、ドイツより「不要発射に関わる 8/193, 8/194 については、中間会合で議論、更新されるべき内容であり現状の内容を RA に送っても意味がない」として反対の意見が示され、中国、スウェーデンが支持した。一方英国は、「これら 3 つの文書をまとめて RA に送るべき」との意見を示し、米国、韓国、フランスらが支持した。またこれ以外にも、TEMP 文書中の文言の修正の提案が行われた。さらに、中間会合の開催時期、場所については、複数の案が示されると共に、韓国が自国で開催する用意があるとの意見表明を行なった。最終的に本ドラフティング会合では、各国から示された意見を集約したのみで、結論は出さないまま終了した。

翌日の SG8 会合にて、上記の意見を反映した TEMP 文書の Rev. 1 が出されたが、具体的内容の審議は行なわれず、この TEMP 文書 Rev.1 の内容を、さらに WP8F 議長がオフラインで関係国と協議した結果として、以下の内容を今回の SG8 の議長報告(Summary of records)に記載する案が示された。

「8/186 で表明された懸念に対し、WP8F 特別会合でも合意が得られなかった場合、あるいは 8/186 について前進が得られなかった場合には、SG8 議長は 8/186 に含まれる WP8F 京都会合の出力結果（寄せられたメンバーの意見を含む）を、RA-07 での検討及び承認のため、RA-07 に提出する機会を有する。」

この案に対してカナダからは、「RA に文書を入力することは支持できるが、カナダは特別会合に参加することは難しい。8/186 の内容は特別会合にて修正すべきでなく、不要発射の勧告改訂のみに絞るべき。また、8/186 に記載する最大電力の規定 (P.285、脚注 4) については、本 SG8 会合にて、WiMAX Forum の入力文書の内容で置き換えるべき」との意見が示された。一方、米国は SG8 議長案を支持した。続いて、ドイツも SG8 議長案を支持する一方で、カナダからの提案内容には反対を行い、豪州、スウェーデンもドイツを支持した。また、ニュージーランドは、「関連する 3 つの文書のレビューを特別会合で行なうべきであり、それが出来ないのであれば WP8F23 回会合で審議すればよい」との意見を示し、カナダの提案に反対をした。また中国からも同様な意見が示された。

続いて特別会合の開催時期についての確認のコメントが出され、BR より「RA への一般の入力文書の〆切は開催日の 1 週間前であるが、RA にて承認を求める勧告案については 1 ヶ月に提出する必要がある、本件もこれに該当する」との回答が行なわれた。WP8F 議長からは、「TEMP 文書の案では、韓国で 8/29-31 に開催し、9/10 に BR に報告予定であり、上記〆切に間に合う」との見解が示された。これに対して中国からは、「特別会合の結果を RA に直接送付することには反対であり、特別会合のタイミングとしては 9 月末か、10 月の第 1 週が良い」との意見が示された。中国の意見に対しては、英国、イタリア、デンマーク、韓国が反対の意見を示した。一方シリアからは、「特別会合で本件に関わる問題が開催されないのであれば、RA にていかなる発表もすべきではないとの発言を SG8 の議長報告に記載してもらいたい。さらに、同様な考えを持つイランの意向も確認する」との意見が示された。

さらに上記 SG8 議長報告に記載する文面の議論が続けられ、エリクソンより「中国の懸念を解消するため、『SG8 議長は 8/186 に含まれる WP8F 京都会合の出力結果（寄せられたメンバーの意見を含む）を、RA-07 での検討及び承認のため、RA-07 に提出するかどうかを決定する機会を有する』との表現にすべき」との修正案が出され、イスラエル、中国が支持した。またシリアからは、「『RA-07 での検討のため』で十分であり、『承認のため』は削除すべき」との意見が示された。以上の議論の結果、SG8 議長報告に以下のテキストを記載することで合意した。

If further consensus is not achieved on the concerns expressed by members on Doc 8/186, or Doc 8/186 itself achieves no further positive progress in the WP 8F Special meeting, then the Study Group 8 Chairman would have the opportunity to decide whether the WP 8F Kyoto output as contained in Doc 8/186, including the provided members statements would be submitted to the Radiocommunication Assembly (RA-07) for its consideration.

また、中間会合のスコープ、開催時期は以下の内容で合意した。

The terms of reference for the “Special Meeting of Working Party 8F” are the following tasks:

a) Resolve the specific concerns raised in the member statements provided in Doc 8/186 and the remaining pending issues related to the OFDMA TDD WMAN submission in order to complete the process delineated in Circular Letter

8/LCCE/95. Resolve the situation with regard to 3 of the 7 the Minimum Performance Capabilities (multimedia, handover, and circuit switched) as per Attachment 6 of 8/LCCE/47; using the Technology Working Group, the M.1457 Sub-Working Group and M.1457 Drafting Group 2 reports of the Kyoto WP 8F meeting, as captured in Document 8F/1322 Attachments 6.1, 6.2 and particularly 6.4 to provide guidance

b) Complete the draft Revision of Recommendations ITU-R M.1580-1 (“Generic unwanted emission characteristics of base stations using the terrestrial radio interfaces of IMT 2000”) and M.1581-1 (“Generic unwanted emission characteristics of mobile stations using the terrestrial radio interfaces of IMT-2000”) with the incorporation of additional information on issues such as spurious emissions and maximum power based initially on Docs 8F/1329 and 8F/1330.

Meeting Date for “Special Meeting of Working Party 8F”	Input Cutoff for “Special Meeting of Working Party 8F”	Report Due to BR Secretariat & Chairman SG 8 from Special Meeting of WP 8F	Submission to RA-07
29-31 August 2007 Wednesday-Friday	22 August 2007	10 September 2007	15 September 2007

さらに、WP8F 特別会合を有効に利用するため、WP8F 特別会合の最終的な準備に関わる告知を含めた情報の伝達を関係者で行なうため、本件に関わる Correspondence Forum が設立されることも記載された。

最後に日本から、「本作業の進め方については、決議 1-4 の手続きに従っているか」との確認を行なったが、SG8 議長は「従っていると認識している」との回答が行なわれた。

以上で本件に関わる審議は終了し、Correspondence Forum 及び WP8F 特別会合にて継続審議が行なわれることとなった。

(2) 報告

- ① (新報告案)「ITU-R 報告 “Sharing studies between IMT-Advanced systems and geostationary satellite networks in the fixed satellite service in the 3 400-4 200 and 4 500-4 800 MHz frequency bands” (IMT-Advanced システムと 3 400-4 200 MHz 及び 4 500-4 800MHz 帯における固定衛星業務の静止衛星ネットワークとの共用検討)」

【入力文書:8/185(WP8F)、8/195 (UAE)】

WP8F で承認された新報告案(8/185)の審議の前に、UAE からの入力文書(8/195)を、アラブグループのポジションとしてシリアが代理にて説明を行った。8/195 の内容は、「3 400-4 200 MH 帯は NOC を強く推奨し、FSS 地球局は保護されるべきである」であり、本見解を SG8 の議長報告に記載することとした。さらに、8/185 の内容について、アラブグループを代表してシリアは、「本新報告案の内容を拒否する」との発言を行ったため、SG8 議長報告に記載することとした(承認については反対をしなかった)。それ以外に意見は示されず、新報告案は SG8 にて承認された。

- ② (新報告案)「ITU-R 報告 “Sharing studies between radiocommunication services and IMT systems operating in the 450-470 MHz band” (450-470MHz 帯における無線通信業務と IMT システムとの共用検討)」

【入力文書:8/188(WP8F)】

WP8F で承認された新報告案(8/188)に対し、アラブグループを代表してシリアより「アラブが WP8F 会合に出席しておらず Conclusion 部分に合意できないとしリザベーションをかける」とのコメントが出された。それ以外の意見は示されず、新報告案はアラブグループの保留付きで SG8 にて承認された。

- ③ (新報告案)「ITU-R 報告 “Sharing studies between IMT-Advanced and radiolocation services in the 3 400-3 7000 MHz bands” (3 400-3 700MHz 帯における IMT-Advanced システムと無線標定業務との共用検討)」

【入力文書:8/189(WP8F)、199 (米国)、226 (WP8B議長報告)】

WP8F で承認された新報告案(8/189)に対し、米国より WP8B の議長報告にコメントが記載されているとの指摘があり、WP8B 議長から、8/226 の Attachment 1 に記載された修正の提案が 4 箇所説明された。米国は WP8B の修正に満足していると説明した。具体的な修正は以下の通りである。

(修正1) 干渉軽減技術の詳細な記述が、Annex 3のStudy Aに含まれている→現在までの干渉軽減技術に関する記述が、Annex 3のStudy 3に含まれている

(修正2) レーダからIMT-Advancedへの干渉の場合、周波数離調は1 GHz以上である → ワーストケースの解析では、レーダからIMT-Advancedへの干渉の場合、周波数離調は1 GHz以上である

(追加1) 干渉軽減技術の適用なしでは、同一エリア内での無線標定業務とIMTとの同一周波数での共用は難しいであろう

(修正3) DFS機能に関する手続きや性能のような、干渉軽減技術の実際の具体的な仕様の検討が必要である → DFS機能に関する手続きや性能のような、干渉軽減技術の実際の具体的な仕様を確立するための検討が必要である

またシリアからは、「本新報告案では IMT の保護基準を $I/N=-10\text{dB}$ とし他方は $I/N=-6\text{dB}$ としているが何故か」との確認 (WRC-07 議題 1.9 では $I/N = -10\text{dB}$ を仮定して問題視していた) が行なわれたが、ニュージーランド (WP8F : SWG-Sharing 議長)より「共用は一般に困難だが、お互いが痛みを分かち合うため、双方が合意して $I/N = -6\text{dB}$ としている」との回答がなされ、シリアも納得したため、それ以上の議論にはならなかった。以上の WP8B からの修正を反映した上で、新報告案は SG8 にて承認された。

- ④ (新報告案)「ITU-R 報告 “Draft new Report on compatibility studies between IMT-2000 and digital terrestrial television broadcasting” (IMT-2000 とデジタル地上テレビジョン放送との両立性検討)」

【入力文書:8/190(WP8F)、201 (NDR, ZDF)】

スイス、ZDR/ZDF から「本検討は未完成。WP6E からのコメントや我々が WP8F に提出した懸念点が考慮されていない。このため作業文書として

次回研究期間も検討を継続すべき」とし、シリア「報告書として完成していないこと、RRC-06の結果と逆の結果になってことから反対」とし、チャド、ロシアらがスイス、シリアらを支持した。

ニュージーランドが「この検討ではひとつの例が扱われているだけ、更なる検討が必要なことは確かだが、この報告書により WRC で何が検討されて何が検討されていないかがわかるので、この状態で承認すべき」とし、エリクソン、カナダ、オーストラリア、スウェーデン、フランス、英国フィンランド、ブラジルらが支持した。

SG8 議長より「報告書の Introduction 部分に RRC-06 の合意は有効であること、更なる検討が必要なこと」としタイトルも「Report on progress on the compatibility studies,,,,」と変更することを提案し、オーストラリア、フランス、スウェーデンらが支持したが、シリアが「反対が多数あるのに承認することが分からない。タイトルに RRC-06 に関係しない国と明記する必要がある」と反対し、一旦議論を中断した。

議論再開後、シリアが再度タイトルに「RRC-06 に関係しない国のための検討」と明記することを提案したが、オーストラリア、ドイツ、フランスらが反対し、シリアは今度は「結論に重大な懸念があるので反対」とした。

SG8 議長が「十分な支持が得られないので、not approved とし、WP8F にて再検討すること」と結論付けようとした。フランスが「議長の結論に懸念、WRC に重要な文書、RA で審議すべき」とし、スウェーデン、カナダ、フィンランド、英国らが支持したが、シリアから「RA に送る手段はない」とし、ロシア、アルメニア、スイスらが議長提案を支持した。

結局、SG8 議長が「大多数の支持が無いので、これ以上議論しない。各国のステートメントは受け付ける。」と結論付け、本報告書案は承認されず、WP8F に差戻しとなった。

⑤ (新報告案)「ITU-R 報告 “Draft new Report on the compatibility/sharing of airport surveillance radars and meteorological radar with IMT systems within the 2 700-2 900 MHz band” (2 700-2 900MHz 帯における IMT システムと航空監視レーダ及び気象レーダとの両立性/共用検討)」

【入力文書:8/191(WP8F)】

シリアから、Introduction の 2) の IMT への割当や「2015-2020 年の間に利用されるだろう」との時期の表現に懸念があり反対と表明したが、ニュージーランドから共用は困難する情報は WRC に重要とし、SG8 議長より「2015-2020 年の前に」との表現の修正が提案されたがシリアが「WRC で 2020 年まで IMT に使用不可能と決めたわけでもなく、またこの周波数帯が IMT に使用される決まったわけでもない」と合意せず、WP8F 議長も「既に IMT 技術のあるシステムがこの周波数帯で使用されており、2020 年まで使用できないとの表現は性格でない」とし、一旦継続検討となった。

審議再開時に、SG8 議長より Introduction 1)、2) の削除を提案し、シリアも異議無く合意したため、この修正をもって新報告案は SG8 にて承認された。

⑥ (新報告案)「ITU-R 報告 “Draft new Report on sharing studies in the 2 500-2 690 MHz band between IMT-2000 and fixed broadband wireless access (BWA) systems including nomadic applications in the same geographical area” (2 500-2

690MHz 帯における IMT-2000 とノマディックアプリケーションを含む固定ブロードバンドワイヤレスアクセス(BWA)システムとの同一地域における共用検討)」

【入力文書:8/192(WP8F)】

シリアから「本新報告案は IMT-2000 の衛星系コンポーネントが考慮されておらず、結果を拒絶する」とのコメントが出されたため、ニュージーランド (WP8F SWG Sharing 議長) から、「新報告のスコープに衛星系コンポーネントは考慮していないということを記載し、将来的に検討が必要」とのテキストを追加する修正案が示された。しかしながらシリアは合意をせず、「衛星系-地上系のハイブリッドが有望な方法であり、地上系コンポーネントだけの検討は不十分。また WRC-07 議題 1.9 の研究結果から、地上系コンポーネントが導入されると、衛星系コンポーネントを導入することができなくなり、その点が問題である」とのコメントを出した。これに対し WP8F 議長からは、「WP8F の中で完結させるために作成した新報告案であり、衛星系コンポーネントには触れていない」、英国からは「衛星系と地上系の共用については別の勧告・レポートを参照すればよい」との意見が示された。さらにシリアからは「Table 1.1 の内容 (2.5GHz 帯におけるチャンネル配置の表) が問題」との意見が出されたため、インテルから「この表は削除してもよい」との意見が示された。

一方 Qualcomm からは、「本新報告案は 802.16e の不要発射の規定が示されておらず、値が決まってから承認を考えるべき」との反対意見が示され、エリクソンが支持した。これに対して英国から、「内容は WP8F で合意されたもので、ここで詳細議論を開始すべきではない」とし、WiMAX Forum も承認を行なうことを支持した。

以上の議論を踏まえて、SG8 議長の提案により、(1)新報告のスコープに地上系のみを取り扱っていることを明記、(2) Table 1.1 を含む Section 1.2 全体を削除、(3) 新報告の内容は、将来的に修正が必要であると明記、(4) この新報告で仮定した不要発射の内容を説明する脚注を追加、の 4 点の修正が提案されたが、シリアは依然として懸念を表明した。したがって、SG8 議長が、「シリアが反対ということを Note することで承認を実施してよいか」との最終案が示され、シリアも合意し、新報告案は SG8 にて承認された。

(3) 審議報告

Executive Report from Working Party 8F

【入力文書:8/196(WP8F 議長)】

WP8F 議長から、WP8F から本 SG8 への入力文書の審議経過及び本 SG における各入力文書の STATUS について説明が行われた。

3 今後のスケジュール

今後のスケジュールは以下のとおり。

WP8F 特別会合	2007 年 8 月 29 日 ~ 31 日	韓国 (予定)
RA-07 会合	2007 年 10 月 15 日 ~ 10 月 19 日	ジュネーブ
WRC-07 会合	2007 年 10 月 22 日 ~ 11 月 16 日	ジュネーブ

参考資料 1 SG 8 入力文書一覧表

番号	提出元	題目	備考	結果
8/183R1	SG 8	Summary record of the meeting of Study Group 8 (Geneva, 20-21 September 2006)	SG8議長報告	-
8/184	CCV	Liaison statement to Radiocommunication Study Groups and Working Parties - Terminology database	連絡文書	-
8/185	WP 8F	Draft new Report on sharing studies between IMT-Advanced systems and geostationary satellite networks in the fixed satellite service in the 3 400-4 200 and 4 500-4 800 MHz frequency bands	新報告案	承認 (M.2109)
8/186	WP 8F	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1457-6 - Detailed specifications of the radio interfaces of International Mobile Telecommunications-2000 (IMT-2000)	勧告改訂案	WP8F特別会 合へ送付
8/187	WP 8F	Draft new Recommendation ITU-R M.[IMT.SERV] - Framework for services supported by IMT	新勧告案	PSAA (CAR 246)
8/188	WP 8F	Draft new Report on sharing studies between radiocommunication services and IMT systems operating in the 450-470 MHz band	新報告案	承認 (M.2110)
8/189	WP 8F	Draft new Report on sharing studies between IMT-Advanced and radiolocation services in the 3 400-3 700 MHz bands	新報告案	承認 (M.2111)
8/190	WP 8F	Draft new Report on compatibility studies between IMT-2000 and digital terrestrial television broadcasting	新報告案	WPへ差戻し (Doc. 8F/1336)
8/191	WP 8F	Draft new Report on the compatibility/sharing of airport surveillance radars and meteorological radar with IMT systems within the 2 700-2 900 MHz band	新報告案	承認 (M.2112)
8/192	WP 8F	Draft new Report on sharing studies in the 2 500-2 690 MHz band between IMT-2000 and fixed broadband wireless access (BWA) systems including nomadic applications in the same geographical area	新報告案	承認 (M.2113)

番号	提出元	題目	備考	結果
8/193	WP 8F	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1580-1 - Generic unwanted emission characteristics of base stations using the terrestrial radio interfaces of IMT-2000	勧告改訂案	WP8F特別会合へ送付
8/194	WP 8F	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1581-1 - Generic unwanted emission characteristics of mobile stations using the terrestrial radio interfaces of IMT-2000	勧告改訂案	WP8F特別会合へ送付
8/195	United Arab Emirates	Allocation of 3 400-4 200 MHz band for IMT-Advanced systems and its impact on FSS Earth stations	IMT-Advancedへの周波数の特定に関する意見	-
8/196	Chairman, WP 8F	Executive Report from Working Party 8F	WP8F議長報告 (5件の研究課題改訂案)	承認
8/197	Italy	On the addition of a proposed sixth terrestrial radio interface for Recommendation ITU-R M.1457	勧告改訂案 (Doc. 8/186) への意見	-
8/198	Iran (Islamic Republic of)	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1457-6 - Detailed specifications of the radio interfaces of International Mobile Telecommunications-2000	勧告改訂案 (Doc. 8/186) への意見	Considered
8/199	United States of America	Review of the draft new Report on sharing studies between IMT-Advanced and radiolocation services in the 3 400-3 700 MHz bands	新報告案(Doc. 8/189)への意見	-
8/200	WiMAX Forum	Draft revision of Recs. ITU-R M.1580-1 and ITU-R M.1581-1 on unwanted emissions characteristics of the terrestrial radio interfaces of IMT-2000	勧告改訂案 (Doc. 8/193, Doc. 8/194) への意見	-
8/201	NDR and ZDF	Draft new Report on compatibility studies between IMT-2000 and digital terrestrial television broadcasting	新報告案 (Doc. 8/190) への意見	-
8/202	WP 8A	Joint WP 8A/WP 8F draft new Report ITU-R M.[IP.CHAR] - Key technical and operational characteristics for access technologies to support IP applications over land mobile systems	新報告案	承認 (M.2114)

番号	提出元	題目	備考	結果
8/203	WP 8A	Draft new Recommendation ITU-R M.[LMS.CHAR.CELL] - Technical and operational characteristics of digital cellular land mobile systems for use in sharing studies	新勧告案	PSAA (CAR 246)
8/204	Director, Radiocom municatio n Bureau	Status of texts prepared by Study Group 8	SG8作成文書の報告	-
8/205	WP 8A	Draft revision of Rec. ITU-R M.1450-2 - Characteristics of broadband radio local area networks	勧告改訂案	通常の郵便 による採 択・承認手続 き (8/LCCE/15 6)
8/206	WP 8A	Draft new Recommendation ITU-R M.[ENG] - System characteristics of television outside broadcast (TVOB), electronic news gathering (ENG) and electronic field production (EFP) in the mobile service for use in sharing studies	新勧告案	PSAA
8/207	WP 8A	Proposed amendments to the Questions assigned to Working Party 8A	研究課題改訂案	採択 RA-07へ送付 (8/1003)
8/208	WP 8A	Draft new Report ITU-R M.[8A/DFS-IMPLEMENTATION] - Testing procedures for implementation of dynamic frequency selection	新報告案	承認 (M.2115)
8/209	WP 8A	Draft new Recommendation ITU-R M.[METH.SHAR.LMS] - Guidance on technical parameters and methodologies for sharing studies related to systems in the land mobile service	新勧告案	PSAA (CAR 246)
8/210	WP 8A	Editorial modifications to Rec. ITU-R M.1653 - Operational and deployment requirements for wireless access systems including radio local area networks in the mobile service to facilitate sharing between these systems and systems in the Earth exploration-satellite service (active) and the space research service (active) in the band 5 470-5 570 MHz ...	勧告改訂案 (文書上の修正)	決議44-1に 基づく修正 が承認

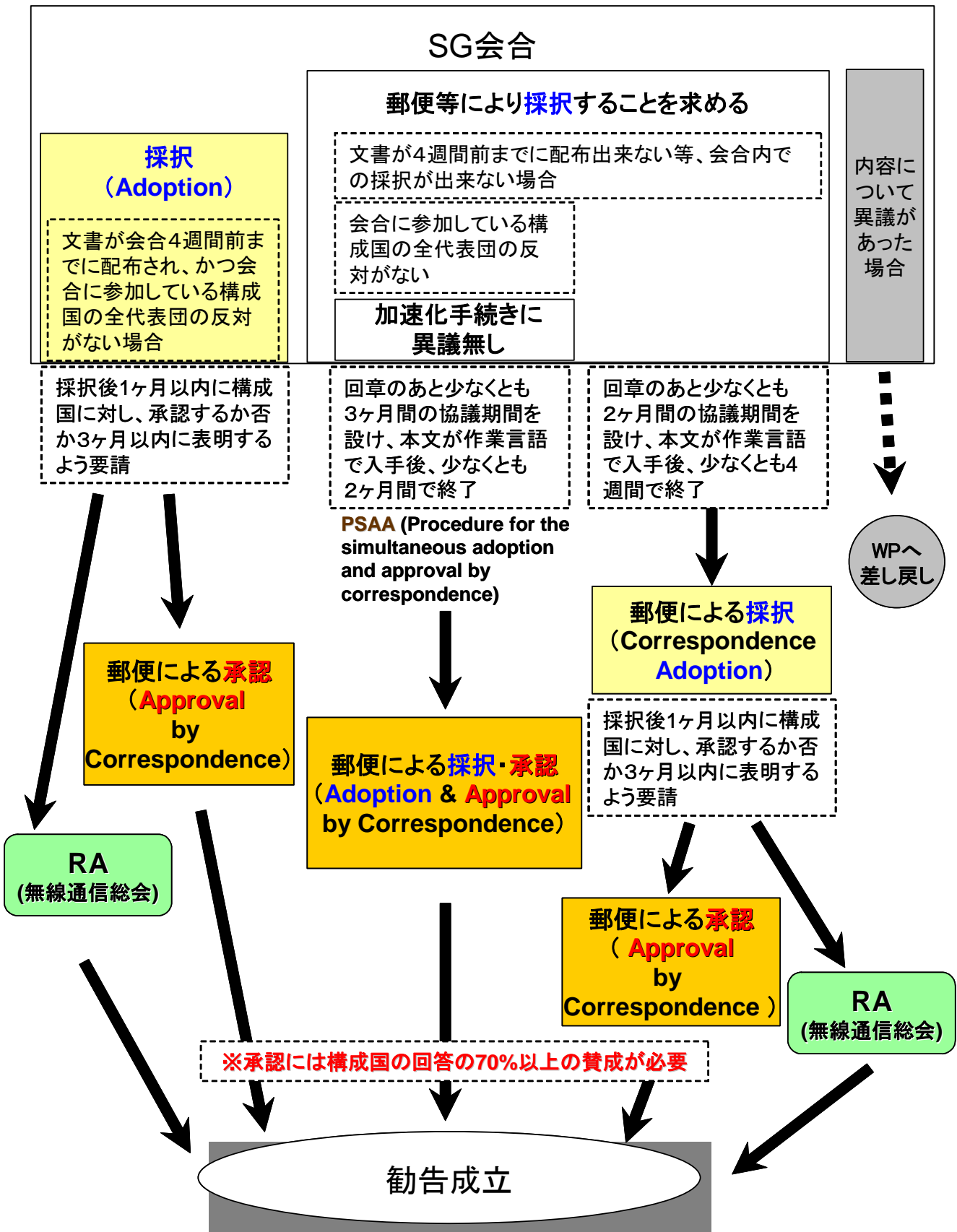
番号	提出元	題目	備考	結果
8/211	WP 8A	Draft new Report ITU-R M.[LMS.CHAR-BWA] - Characteristics of broadband wireless access systems operating in the land mobile service to be used in sharing studies	新報告案	承認 (M.2116)
8/212	WP 8A	Draft new Recommendation ITU-R M.[LMS.PPDR.4.9 GHz] - Harmonized frequency channel plan for broadband public protection and disaster relief operations at 4 940-4 990 MHz in Regions 2 and 3	新勧告案	PSAA (CAR 246)
8/213	WP 8A	Draft new Report ITU-R M.[SDR] - Software defined radio in the land mobile, amateur and amateur satellite services	新報告案	承認 (M.2117)
8/214	WP 8B	Draft new Report ITU-R M.[AMSS-RNSS-RAS] - Initial considerations on compatibility between proposed new aeronautical mobile (R) service (AM(R)S) and both radionavigation satellite service (RNSS) in the 5 000-5 010 MHz and 5 010-5 030 MHz bands and radio astronomy in the 4990-5 000 MHz band	新報告案	WPへ差戻し (Doc. 8B/643)
8/215R1	WP 8B	Draft new Report ITU-R M.[AM(R)S - SPECTRUM REQUIREMENTS] - Initial estimate of new aviation AM(R)S spectrum requirements	新報告案	承認 (M.2120)
8/216	WP 8B	Draft new Recommendation ITU-R M.[AM(R)S/AS 5 091-5 150 MHz] - Technical and operational requirements for stations of aeronautical mobile (R) service limited to surface application at airports and for stations of aeronautical mobile service limited to aeronautical security (AS) applications in the band 5 091-5 150 MHz	新勧告案	PSAA (CAR 246)
8/217	WP 8B	Draft new Report ITU-R M.[AMS-FSS] - Compatibility between proposed systems in the aeronautical mobile service and the existing fixed-satellite service in the 5 091-5 250 MHz band	新報告案	承認 (M.2118)
8/218	WP 8B	Draft new Report ITU-R M.[AMRS 960-1 164 MHz] on guidelines for AM(R)S sharing studies in the 960-1 164 MHz band	新報告案	承認 (M.2121)

番号	提出元	題目	備考	結果
8/219	WP 8B	Draft new Rec. ITU-R M.[AMT 5 030-5 250 MHz] - Technical and operational requirements for aircraft stations of aeronautical mobile service limited to transmission for flight testing in the bands around 5 GHz	新勧告案	PSAA (CAR 246)
8/220	WP 8B	Draft new Recommendation ITU-R M.[AMS-MLS] - Method for determining the necessary geographical separation distances, in the 5 GHz band, between the international standard microwave landing system (MLS) stations operating in the aeronautical radionavigation service and transmitters operating in the aeronautical mobile service (AMS) to support telemetry	新勧告案	PSAA (CAR 246)
8/221	WP 8B	Draft new Recommendation ITU-R M.[VHFDATA] - Characteristics of VHF radio system and equipment for the exchange of data and electronic mail in the maritime mobile service Appendix 18 channels	新勧告案	通常の郵便 による採 択・承認手続 き (8/LCCE/15 6)
8/222	WP 8B	Draft new Report ITU-R M.[EMC2AIS] - EMC assessment of shore-based electronic navigation (eNAV) infrastructure and new draft standards for data exchange in the VHF maritime mobile band (156-174 MHz)	新報告案	承認 (M.2122)
8/223	WP 8B	Draft new Report ITU-R M.[LRD-AIS] - Long range detection of automatic identification system (AIS) messages under various tropospheric propagation conditions	新報告案	承認 (M.2123)
8/224	WP 8B	Draft new Recommendation ITU-R M.[8B.GBAS] - Compatibility between FM sound-broadcasting in the band of about 87-108 MHz and the aeronautical Ground Based Augmentation System (GBAS) in the band 108-117.975 MHz	新勧告案	PSAA (CAR 250)
8/225	WP 8B	Draft new Recommendation - Technical characteristics and protection criteria of aeronautical radionavigation service systems in the 645-862 MHz frequency band	勧告改訂案	PSAA (CAR 246)

番号	提出元	題目	備考	結果
8/226	Chairman, WP 8B	Executive report of the 20th meeting of Working Party 8B	WP8B議長報告	-
8/227	WP 8B	Draft new Report [AMT 4/6 GHz] - Sharing between aeronautical mobile telemetry systems for flight testing and other systems operating in the 4 400-4 940 and 5 925-6 700 MHz band	新報告案	シリアによる留保を付して承認 (M.2119)
8/228	Chairman, WP 8A	Executive report of the 20th meeting of Working Party 8A	WP8A議長報告 (勧告 6 件及び報告 1 1 件の削除提案)	承認
8/229	WP 8D	Draft revised Recommendation ITU-R M.1318 - Evaluation model for interference from radio sources other than in the radionavigation-satellite service to the radionavigation-satellite service systems and networks operating in the 1 164-1 215 MHz, 1 215-1 300 MHz, 1 559-1 610 MHz and 5 010-5 030 MHz band	勧告改訂案	PSAA (CAR 246)
8/230	WP 8D	Draft new Report ITU-R M.[MSS-SRS-1.6GHz] - Interference calculations to assess sharing between the mobile satellite service and space research (passive) service in the band 1 668-1 668.4 MHz	新報告案	承認 (M.2124)
8/231	WP 8D	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1642-1 - Methodology for assessing the maximum aggregate equivalent power flux-density at an aeronautical radionavigation service station from all radionavigation-satellite service systems operating in the 1 164-1 215 MHz band	勧告改訂案	PSAA (CAR 246)
8/232	WP 8D	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1583 - Interference calculations between non-geostationary mobile-satellite service or radionavigation-satellite service systems and radio astronomy telescope sites	勧告改訂案	PSAA (CAR 246)
8/233	WP 8D	Draft new Recommendation ITU-R M.[RNSS_COORD_METHOD] - A coordination methodology for RNSS inter-system interference estimation	勧告改訂案	PSAA (CAR 246)

番号	提出元	題目	備考	結果
8/234	WP 8D	Draft revision of Question ITU-R 217-1/8 - Interference to the radionavigation-satellite service in the ICAO global navigation satellite system	研究課題改訂案	採択 RA-07へ送付 (8/1003)
8/235	WP 8D	Draft revision of Question ITU-R 236-1/8 - Characteristics and operational requirements of radionavigation-satellite service (space-to-Earth, space-to-space, Earth-to-space) systems	研究課題改訂案	採択 RA-07へ送付 (8/1003)
8/236	WP 8D	Draft revision of Question ITU-R 239/8 - Methodology for the coordination of radionavigation-satellite service systems and networks	研究課題改訂案	採択 RA-07へ送付 (8/1003)
8/237	Chairman, WP 8D	Executive report of Working Party 8D	WP8D議長報告	-
8/238	BR Study Group Department	List of documents issued	文書一覧	-
8/239	WP 8D	Liaison statement to Working Party 8A and copied to Study Group 8 - Completion of a consolidated Report on software defined radio	連絡文書	-
8/240	WP 8D	Liaison statement to Working Party 8F and Study Group 8 - Suppression of Recommendation ITU-R M.1455-2	連絡文書	承認
8/241	SG 8	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1036-2 - Frequency arrangements for implementation of the terrestrial component of International Mobile Telecommunications-2000 (IMT 2000) in the bands 806 960 MHz, 1 710-2 025 MHz, 2 110 2 200 MHz and 2 500-2 690 MHz	勧告改訂案	RA-07へ送付 (8/1005)
8/242	Chairman, SG 8	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1457-6	勧告改訂案 (Doc. 8/186) への意見	-

参考資料2 勧告文書の承認プロセス



WP8F 特別会合報告書

第1. 1版

平成20年1月8日

日 本 代 表 団

ITU-R WP8F 特別会合（韓国、ソウル）会合報告書 目次

1. はじめに	1
2. 会議構成	2
3. 主要結果概要	2
4. 各AH等における主要論議	2
4. 1 AH-M.1457	2
4. 1. 1 Minimum Performance Capability (MPC)	3
4. 1. 2 DG Capacity (DG CAP)	4
4. 1. 3 DG Link Budget (DG LB)	5
4. 2 AH-M.1580 & M.1581	6
付属資料1 参加国・機関と寄与文書数	8
付属資料2 ITU-R WP8F 特別会合日本代表団名簿	10
付属資料3 日本寄書等の審議結果 8F/1370（日本寄書）	11
付属資料4 入力文書一覧	12
付属資料5 出力文書一覧	15

1. はじめに

IMT-2000 の高度化及びその後継システムを目指す "future development of IMT-2000 and systems beyond IMT-2000" を所掌とする ITU-R SG8 WP8F(Working Party 8F) の"Special Meeting of Working Party 8F" (以下特別会合という)が、2007 年 8 月 29 日～8 月 31 日に韓国のソウルにおいて開催されたので、その結果について報告する。

特別会合開催に至る経緯は次のとおりである。

WP8F 第 22 回会合 (2007 年 5 月 23 日～5 月 31 日に日本の京都において開催)において、IMT-2000 の新たな地上系無線インタフェースとしての OFDMA TDD WMAN の追加に関する検討が行われ、勧告 M.1457-6 の改訂草案並びに勧告 M.1580-1 及び M.1581-1 の改訂草案が作成された。それぞれの改訂草案は、その後開催された SG8 会合 (2007 年 6 月 25 日～6 月 26 日にスイスのジュネーブにおいて開催)において承認が求められたが合意に至らず、同 SG8 において、コンセンサスを形成するため同年 8 月 29 日から 31 日まで WP8F 特別会合を開催することが決定された。

同 SG8 会合において決定された特別会合の所掌は、次のとおりである。

- (1) WP8F から SG8 に入力された、勧告 M.1457-6 の改訂草案 (地上系 IMT-2000 の第 6 番目となる新無線インタフェースに関する勧告改訂草案 : Doc.8/186) の中で、statements として提起されている具体的な案件や未解決事項を解決し、Circular Letter 8/LCCE/95 の中で示されているプロセスを完成させること、及び、Circular Letter 8/LCCE/47 に記述されている 7Minimum Performance Capability の内、3Minimum Performance Capability(multimedia, handover, and circuit switched)に関する課題を解決すること。
- (2) 不要輻射に関する勧告 M.1580-1 及び M.1581-1 の勧告改訂草案を完成すること。

なお、本特別会合で合意された出力は、Res.ITU-R 1-4 にしたがって、SG8 議長に送付され SG8 議長案として直接 RA に入力される予定であり、もし、合意されなかった場合は、WP8F 第 22 回 (京都) 会合出力である、勧告 M.1457-6 の改訂草案 (Doc.8/186) を RA に入力するかどうかについて、SG8 議長に委ねることとなっている。

今回の会合には、11 ヶ国及び 24 機関から合計 142 名の参加 (付属資料 1 参照) があり、そのうち、日本からは 11 名が参加した (付属資料 2 参照)。

入力文書は合計 49 件であり、そのうち日本から入力した寄書は 1 件であった (付属資料 3、4 参照)。

本会合における出力文書 (TEMP 文書) は合計 9 件であった (付属資料 5 参照)。

2. 会議構成

Special Meeting の各 AH 等の担当項目と議長を表 1 に示す。

日本は各 AH および DG に積極的に参加し、会議の進展に貢献した。

表 1 各 WG 等の担当項目と議長

Group	担当項目	議長
WP8F	ITU-R WP8F 全体	S. BLUST (米)
AH M.1457	勧告 M.1457 改訂案審議	N. MAGNANI (伊)
DG – Cap	OFDMA TDD WMAN の Capacity と Delay に関する審議	A.JAMIESON(ニュージーランド)
DG – LB	OFDMA TDD WMAN の Link Budget と Outage に関する審議	K.J. Wee (韓)
AH M.1580 & M.1581	勧告 M.1580 及び M.1581 改訂案審議	H. WANG (中)

3. 主要結果概要

- 6 番目の新無線インタフェース (OFDMA TDD WMAN) の SG8 会合での未解決事項の明確化がなされ、勧告 M.1457 改訂案 (Doc.8/186 の修正案) は承認された。
- 基地局と移動局の不要輻射に関する勧告 M.1580 と M.1581 の改訂案 (Doc.8/193 と Doc.8/194 の修正案) が承認された。
- 上記 3 件の勧告改訂案は、リエゾン文書とともに、SG8 議長へ送付されることになった。
- 中国から、勧告 M.1457 改訂案の多くの技術項目についてはいまだコンセンサスが得られていないとの懸念が表明され、SG8 議長へのリエゾン文書の Appendix に、中国の声明文が含まれることになった。
- リエゾン文書の Appendix には、中国のほかに、いくつかの技術項目に対して懸念を表明したセクターメンバーからの声明文も盛り込まれることになった

4. 各AH等における主要論議

4. 1 AH-M.1457

(1) 議長 : Nicola Magnani (伊)

(2) 主要メンバー : 森、佐藤(孝)、鬼頭、石田、白石、吉野、新井田、小畑、庄納、伊藤、石川、中国、韓国、米国、英国、ドイツ、IEEE, WiMAX Forum 他全 150 名程度

(3) 入力文書

(3-1) M.1457 General, Minimum Performance

8F/186 (WP8F) , 8F/1322(Chairman, WP 8F), 8F/1335 (SG 8), 8F/1337 (Germany), 8F/1340 (IEEE), 8F/1356 (Italy), 8F/1357 (AT&T) ,8F/1358 (Deutsche Telekom, Telstra, Qualcomm, Hutchison3G UK , France Télécom, E-Plus Mobilfunk, LM Ericsson) , 8F/1359 (WiMAX Forum) , 8F/1360 (LM Ericsson) , 8F/1363 (LM Ericsson) , 8F/1365 (LM Ericsson) , 8F/1366 (Sprint Nextel) , 8F/1367 (USA) , 8F/1368 (USA) , 8F/1369 (New Zealand) , 8F/1371 (Bell Canada, Sprint Nextel, KT, eAccess, Rogers Wireless, Samsung Electronics, Nortel Networks, Nokia, Nokia Siemens Networks, Intel, Lucent Technologies, Motorola, British Telecommunications) , 8F/1372 (Intel, Nortel Networks) , 8F/1374 (India) , 8F/1377 (China) , 8F/1378 (China) , 8F/1382 (IEEE, WiMAX Forum) , 8F/1383 (AT&T)

(3-2) DG Link Budget

8F/1347 (WiMAX Forum) , 8F/1349 (WiMAX Forum) , 8F/1361 (LM Ericsson) , 8F/1362 (LM Ericsson) , 8F/1373 (Intel) , 8F/1380 (Qualcomm)

(3-3) DG Capacity

8F/1348 (WiMAX Forum) , 8F/1375 (TTA) , 8F/1376 (Intel)

- (4) 出力文書 : 8F/TEMP/605 ((M.1457 改訂原案)
8F/TEMP/606 (SWG M.1457 Meeting Report)

(5) 審議概要 :

(5-1) 所掌と経緯

本 AH は、SG8 から指示された所掌事項のうち a)項: Minimum Performance, 8F/186 で示された懸案事項(Link Budget, Capacity)についての検討を所掌としている。

(5-2) 体制

下記の 3 つのグループという体制で審議を行った。

Group	Chairman	Topic
MPC	Mr. Nicola Magnani (伊)	Minimum Performance Capabilityに関する討議
DG CAP	Mr. Alan Jamieson (NZ)	Capacityに関する討議
DG LB	Dr. KJ Wee (韓)	Link Budgetに関する討議

(5-3) 審議概要と主要結果

- 1) 今回の会合において、入力文書による追加情報により、異なった意見について理解は深まったものの、異なる評価方法、前提条件を使用しているために、直接比較して判断することができないという理由で、最小要求条件について新たなコンセンサスを得ることができた項目はなかった。
- 2) AH-M.1580&1581 から提案された端末の最大送信電力に関しては、「運用によって、各地域・国際標準に従うこと。2500-2690MHz では最大再送信電力は 20-24dBm とする。」および注釈に「規制によるが、非ハンドヘルド端末では 33dBm までの送信電力での運用をサポートする。」として、M.1457 に追記された。
- 3) その他、ACS の記述が必要とする独、中からの提案(1337, 1378)については、BWA に関する M.2116 で ACLR と ACS の値は収集しているとするインテルからの提案(1381)とともに、AH 議長レポートに記述された。

(6) 今後の課題 :

特になし。

4. 1. 1 Minimum Performance Capability (MPC)

- (1) 議長 : Nicola Magnani (伊)
- (2) 主要メンバー : 森、佐藤(孝)、鬼頭、石田、白石、吉野、新井田、小畑、庄納、伊藤、石川、中国、韓国、米国、英国、ドイツ、IEEE, WiMAX Forum 他全 150 名程度
- (3) 入力文書 :
8F/186 (WP8F) , 8F/1322(Chairman, WP 8F), 8F/1335 (SG 8), 8F/1337 (Germany), 8F/1340 (IEEE), 8F/1356 (Italy), 8F/1357 (AT&T) ,8F/1358 (Deutsche Telekom, Telstra, Qualcomm, Hutchison3G UK , France Télécom, E-Plus Mobilfunk, LM Ericsson) , 8F/1359 (WiMAX Forum) , 8F/1360 (LM Ericsson) , 8F/1363 (LM Ericsson) , 8F/1365 (LM Ericsson) , 8F/1366 (Sprint Nextel) , 8F/1367

(USA) , 8F/1368 (USA) , 8F/1369 (New Zealand) , 8F/1371 (Bell Canada, Sprint Nextel, KT, eAccess, Rogers Wireless, Samsung Electronics, Nortel Networks, Nokia, Nokia Siemens Networks, Intel, Lucent Technologies, Motorola, British Telecommunications) , 8F/1372 (Intel, Nortel Networks) , 8F/1374 (India) , 8F/1377 (China) , 8F/1378 (China) , 8F/1382 (IEEE, WiMAX Forum) , 8F/1383 (AT&T)

(4) 出力文書：なし

(5) 審議概要：

(5-1) 所掌と経緯

本グループの所掌は、コンセンサスの得られていない最小要求条件に対する検討である。

(5-2) 審議概要と主要結果

課題となっているハンドオーバー・マルチメディア・回線交換サポートの3項目について、入力文書の説明およびそれに対する質疑という形で審議が進められた。

京都会合および本会合において最小要求条件を満足できていることは示されているという意見と要求条件を満足する場合の前提条件が理想的なものであり現実的でないという意見が対立したまま整合はとれなかった。その議論の中で満足するかどうかを判定するためのシミュレーションの前提条件、および判定する条件が明確でないことが認識された。

(6) 今後の課題：

特になし。

4. 1. 2 DG Capacity (DG CAP)

(1) 議長：Alan R. Jamieson (New Zealand)

(2) 主要メンバー：森、佐藤(孝)、鬼頭、石田、白石、吉野、新井田、小畑、庄納、伊藤、石川、中国、韓国、米国、英国、ドイツ、IEEE、WiMAX Forum 他 約 150 名

(3) 入力文書：8F/1348 (WiMAX Forum), 8F/1360 (L M Ericsson), 8F/1375 (TTA), 8F/1376 (Intel Corporation), 8F/1380 (QUALCOMM Inc.).

(4) 出力文書：8F/TEMP/599-E (DG CAP 議長報告)、

(5) 審議概要：

(5-1) 経緯と所掌

本 DG は、未だにコンセンサスのとれていない M.1457 における Voice と Data に関する Capacity および遅延特性に関する検討を行うものである。

(5-2) 審議概要と主要結果

1) 音声とデータキャパシティ：

- WiMAX Forum は、8F/1348 により前回京都会合で指摘されていた OFDMA TDD WMAN の Voice Capacity について、M.1225 に則ったシミュレーション条件と Deployment Model に変更し、データ通信の上下リンク、および音声通話について評価を行い、説明を行った。これに対し、主にクアルコムとエリクソンから、シミュレーション条件 (Data と Voice の場合での DL/UL 比差異、Data と Voice の同時にサポート、その他実運用条件との差異) に関し多くの質問があり、議論になった。WiMAX Forum から、「ここでの目的は事例の提供であって、ガイドラインの提供でない」「技術はフレキシブルにサポートできる」などの回答があった。多くの技術項目について質疑が行われたが合意形成には至らず。8F/1079r1 の改訂要求がでたが、合意に至らなかった。

- TTA から 8F/1375 により OFDMA TDD WMAN のハンドオーバーおよび遅延の要求条件に関する追加情報が提供され

た。クアルコムとエリクソンから Voice と Data 評価時の条件明確化の要求や、詳細な評価パラメータ条件が適切に反映されているか仔細に質問があった。TTA とサムスンから、これは Voice と Data 個々の要求条件の評価ではなく、インプリにおける一般的なガイドラインを示すもの、との回答があった。

- ・ エリクソンとクアルコムは 8F/1360 と 8F/1380 により 8F/1079r1 と 8F/1348 の差異とデータ不足を指摘し、8F/1079r1 の改訂要求を行った。IEEE、インテルから、8F/1348 は RTT が要求条件に沿うことを示すデータの追加であり資料の前提条件や評価目的が 8F/1079 とは異なりデータ追加や改定は不要、との意見が出され、この要求は合意に至らなかった。
- 2) 遅延特性： インテルから 8F/1376 により遅延条件に関する報告がなされた。クアルコムとエリクソンから 8F/1376 と 8F/1079r1 との計算の差異、video サービスの要求条件、などに関し、多くの質問があり、議論になった。主にインテルと韓国から、これらの仕様は遅延要求条件を満たし、video サービスを満たすより高い伝送速度が可能で、要求条件を満たすとの回答があった。
- 3) 結果： 議論は平行線のままであったが、議長は、ほぼ全ての意見が出たとみられるところで議論を終了させた。議長は、最終報告 (8F/TEMP/599-E) で、OFDMA TDD WMAN のキャパシティと遅延特性につき理解が深まった点で進歩があったものの、結論として異なる見解が見られるとともに、評価を完了させるに十分な情報が提供されたか否かについても意見が分かれたままであった、と報告した。

- (6) 今後の課題：
特になし

4. 1. 3 DG Link Budget (DG LB)

- (1) 議長： K.J.Wee (韓)
- (2) 主要メンバー： WiMAX Forum, Intel, Nortel, Ericsson, Qualcomm, Nokia, Motorola, 中国、ドイツ、カナダ、フランス、ニュージーランド、オーストラリア、韓国、アメリカ、インド、他各国、日本代表団全員 約 150 名
- (3) 入力文書： Doc. 8F/1347 (WMF), 8F/1349 (WMF), 8F/1361 (Ericsson), 8F/1362 (Ericsson), 8F/1373 (Intel), 8F/1378 (China), 8F/1380 (Qualcomm)
- (4) 出力文書： 8F/TEMP/600 (Meeting report of DG LB)
- (5) 審議概要：
 - (5-1) 所掌と経緯
 - ・ 第 22 回京都会合でもちあがった OFDMA TDD WMAN の Link Budget と Outage に関する質問・疑問を、今回のソウル特別会合に OFDMA TDD WMAN の提案者から準備された寄書をもとに討議し、OFDMA TDD WMAN の技術的理解を促進することを目的として、この DG が設立された。
 - ・ この DG の出力文書は、AH M.1457 に上げて、DG Cap ととも、取りまとめる予定である。
 - (5-2) 審議概要と主要結果

1) Link Budget について

- ・ WiMAX Forum から 8F/1347 にて、Intel から 8F/1373 にて、前回の京都会合で 8F/1300 (Qualcomm), 8F/1309 (Ericsson) で質問・疑問が提示された OFDMA TDD WMAN のリンクバジェットに関して、その内容を解消するための寄書が説明された。Ericsson からは、その 8F/1347 に対するさらなる技術的なコメントが 8F/1362 にてなされた。また、Qualcomm からは、8F/1380 とともに、会場の Server に “Responces to 1373” の情報も準備され、説明がなされた。
- ・ 主要な論点は、M.1225 の Link Budget の Template の中で、(1) Eb/No の計算、(2) “Other Gains” の解釈であり、Eb/No は帯域幅、チャネル推定、Cyclic Prefix のオーバーヘッド等が議論され、“Other Gains” では、

subcannelisation 利得、repetition 利得、cell selecton 利得、tower top アンブ等が議論された。

- ・ 双方とも異なる解釈、アプローチではあったが、OFDMA TDD WMAN の提案にある “Other Gains” はさらなる精査は必要ではあるが、リンクバジェットの計算には有用であろう、との認識は示されたが、他の内容は双方の見解をのべるに留まった。

2) Outage について

- ・ WiMAX Forum から 8F/1349 にて、カバレッジのパフォーマンスに関して説明があり、Ericsson からはその 8F/1349 に対する質問が 8F/1361 にて、Qualcomm から 8F/1380 にて質問が提示された。
- ・ 主要な論点は、(1) パスロスモデルの差、(2) Outage 値の導出法、(3) Outage の結果評価、(4) MMSE と MRC の性能差、等であり、詳細な議論がされた。
- ・ 今回、OFDMA TDD WMAN の提案者から、追加の性能評価結果が説明され、より実現的なモデルである、との同意が得られたように思われるが、双方に共通の理解・合意を得るには至らなかった。

(6) まとめ :

議長より、前回の京都会合での上げられた OFDMA TDD WMAN に対する技術的な質問・疑問が、今会合では、新たな寄書による説明もあり、かなり詳細な技術的議論がなされたのではないかと、また他の技術を理解するうえで、良い機会であったのではないかと、とのコメントがあり、結論は Closing Plenary にてさらに議論をする、とのとりまとめでこの DG LB は終了をした。

4. 2 AH-M.1580 & M.1581

(1) 議長 : H. Wong (中)

(2) 主要メンバー : 独(Reitz)、韓(Wee, Lim)、中、米、仏(Li)、英(Green)、Sprint Nextel(Humbert)、Nortel(Costa)、Intel(Arefi)、Lucent(Rudrapatna)、Motorola(Kubik)、IEEE(Marks)、WiMAX Forum(Jayasuriya)、日本団(森、佐藤、石川、新井田)(約 100 名)

(3) 入力文書 : 8/193, 194(WP8F), 8F/1322 (WP8F 議長報告), 1329, 1330(WiMAX Forum), 1335(SG8), 1337(独), 1344, 1345, 1346R1(WiMAX Forum), 1351(カナダ), 1353(英), 1354, 1355(独), 1356(伊), 1358(ドイツテレコム, テルストラ, 他), 1364(エリクソン), 1367(米), 1370(日), 1371(ベルカナダ, スプリントネットワークス, 他), 1377, 1378, 1379(中), 1380(クアルコム), 1381(インテル)

(4) 出力文書 : 8F/TEMP/604 (AH M.1580&M.1581 議長報告)、
8F/TEMP/603 (M.1580 勧告改訂案)、
8F/TEMP/602 (M.1581 勧告改訂案)

(5) 審議概要 :

(5-1) 経緯と所掌

本 AH は、IMT-2000 基地局および移動局に関する、スペクトルマスクや不要輻射などを規定した勧告 ITU-R M.1580-1 および M.1581-1 の改訂を検討するため、本特別会合において設定されたものである。

(5-2) 審議概要と主要結果

- ・ AH-M.1580&M.1581 は、会期内に 6 回の審議が行われた。
- ・ IMT-2000 基地局および移動局に関する、スペクトルマスクや不要輻射を規定した勧告 ITU-R M.1580-1 および M.1581-1 の改訂案が承認され、SG-8 議長へ送付されることとなった。ただし、これらの勧告と併せて、各勧告の改訂承認に対する懸念事項を持つ国やメンバーが、SG8 議長に対してリエゾンを送付することとなった。
- ・ 日本寄与文書について、その規定が WiMAX Forum が提案している規定と比較して厳しいことから、米国や WiMAX Forum、インテル、モトローラ、スプリントなどから、特に移動局の規定を勧告へ盛り込むことに対する反対意見が数多く出された。特に 5MHz システムの移動局規定については、日本での運用予定が無いはずであるため、勧告への

盛り込みには意味がないとする意見が数多く出された。また、帯域の 2.5 倍以上の周波数に関するスペクトラムマスクの規定については、ITU-R での通例に反するとする意見が出された。これらの意見に対し、日本提案が盛り込まれた箇所については、“日本のシステムを守るためである”とする Note を付記し、更に 5GHz システムに関する帯域の 2.5 倍以上のスペクトラムマスクの規定をスプリアス規定に盛り込む形に変更して、メンバーの了解を取り付けた。この結果、移動局に関する Receiver spurious emission を除く全ての日本の要求条件が反映された。

- ・ ACLR の計算方法に関する議論が、エリクソンやドイツなどより厳しい基準を求めるメンバーと、WiMAX Forum やインテルなどが対立し、議論が行われた。文言の修正などを数多く行ったものの完全な合意に至らず、今回会合で送られる SG8 議長へのリエゾン内に、懸念事項を記述することとなった。
- ・ 中国が提案した、同一エリア内での他システムとの共存に関する章は、本章を含めることそのものに対して反対をする米国や英国、WiMAX Forum メンバーと、重要な情報であるため含めるべきとする中国、フランステレコム、クアルコム、E-Plus などとの間で議論が行われた。“要求条件を規定するために将来的な検討が必要”との Note を付記する形で、本章は残されることとなった。

(6) 今後の課題：

RA-07 においても、本特別会合に行われた議論が再燃する可能性がある。特に 5MHz システムに対しては、WP8F 特別会合に参加したメンバーからの反対だけでなく、中心周波数に対する制限をスプリアス規定に盛り込むという手法に対して、それ以外のメンバーからの反対もあり得るため、他国からの強い反対に対する対処方針を立てる必要がある。

付属資料1 参加国・機関と寄与文書数

参加国・機関	参加者数	寄与文書数
ドイツ	3	3
オーストラリア	3	
カナダ		1
中国	15	3
韓国	39	
アメリカ	10	2
フランス	1	
インド	5	
イタリア	2	1
日本	11	1
ニュージーランド	2	1
英国	7	1
小計	96	13

参加国・機関	参加者数	
Alliance for Telecommunications Industry solutions		1
AT&T Inc	1	2
Bell Canada		1(再掲 1)
British Telecommunications PLC	2(再掲 2)	1(再掲 1)
Chairman, WP 8F		2
China Mobile Communications Corp.	2	
Deutsche Telekom AG	1(再掲 1)	1(再掲 1)
eAccess Ltd	2(再掲 2)	
E-Plus Mobilfunk GmbH & Co. KG	1(再掲 1)	1(再掲 1)
ETRI	3(再掲 3)	
France Telecom	2(再掲 1)	1(再掲 1)
Hitachi Ltd.	1(再掲 1)	
Huawei Technologies Co. Ltd	3(再掲 2)	
Hutchison 3G UK Ltd(3)	1	1(再掲 1)
IEEE	2(再掲 1)	1
Intel Corporation(UK) Ltd	1(再掲 1)	
Interl Corporation (USA)	6	5
KDDI Coropration	1(再掲 1)	
KT Corp.		1(再掲 1)
LG Electronics, Inc.	2(再掲 1)	
LM Ericsson		7(再掲 1)
Lucent Techonologies Inc	2	1(再掲 1)
Motorola Inc	4	1(再掲 1)
NEC Corporation	1(再掲 1)	
Nokia Corporation	1	1(再掲 1)
Nokia Siemens Networks GmbH & Co. KG	1	1(再掲 1)
Nortel Networks(Canada)	3	
Nortel Networks(USA)	1	2(再掲 2)
NTT DoCoMo Inc	1(再掲 1)	
Qualcomm. Inc	7	2
Radiocommunication Bureau	1	2
Rogers Wireless Inc	1	1(再掲 1)

Samsung Electronics Co. Ltd	1	1(再掲 1)
SG8		1
Sprint Nextel Corporation	1	2(再掲 1)
Telecom Italia SpA	2(再掲 2)	
Telecom New Zealand Ltd.	1(再掲 1)	
Telefon AB-L.M. Ericsson	3	
Telefonica SA	1	
Telstra Corporation Ltd.		1(再掲 1)
Telus Mobility	1	
WiMAX Forum	4(再掲 3)	9
WP8F		3
ZTE Corporation	1	
小計	44	35
総計	142	48

付属資料2 ITU-R WP8F特別会合日本代表団名簿

区分	氏名	会社名・団体名	所属・役職
団長	森 孝	総務省 総合通信基盤局	電波部 移動通信課 新世代移動通信システム推進室長
副団長	佐藤 孝平	(社) 電波産業会	常務理事
構成員	小畑 至弘	イー・アクセス(株)	最高技術責任者 (CTO)
構成員	庄納 崇	インテル(株)	研究開発本部 主幹研究員
構成員	吉野 仁	(株)NTT ドコモ	総合研究所 研究推進グループ 主幹研究員
構成員	石田 和人	クアルコム ジャパン(株)	標準化担当部長
構成員	新井田 統	KDDI(株)	KDDI 研究所 特別研究員プロジェクト 特別研究員
構成員	鬼頭 英二	日本電気(株)	モバイルネットワーク事業企画部 エグゼクティブエキスパート
構成員	伊藤 健司	ノキアシーメンス ネットワークス(株)	テクノロジープラットフォーム 標準化担当部 シニアスペシャリスト
構成員	石川 禎典	(株)日立製作所	Network Platform 事業推進室 主任技師
構成員	白石 基	(社) 電波産業会	研究開発本部 移動通信グループ 主任研究員

付属資料3 日本寄書等の審議結果

項 目	日本寄書等	内 容	結 果
AH-M.1580& M.1581	Doc. 8F/1370	<p>WP8F 第 22 回会合において、IMT 2000 の新無線インタフェースとしての OFDMA TDD WMAN の追加に関する検討が行われたが、作成された改訂案は SG8 会合において合意に至らず、コンセンサスを形成するため WP8F 特別会合での再検討が促された。本件に関わり、現在 WP8F 及び SG8 に提案されているスペクトルマスクや不要輻射等の規定は日本の技術基準と一部齟齬があるため、日本の技術基準を示し、M.1580 及び M.1581 改訂案に反映するよう提案した。</p>	<p>M.1580（基地局）の変更に関しては、日本の提案が盛り込まれ形で改訂案が作成された。M.1581（移動局）の変更に関しては、Receiver emission の表が消去されたものの、それ以外は日本の主張が盛り込まれた形で改訂案が作成された。これらの文書は、SG8 議長に送られることとなった。</p>

付属資料4 入力文書一覧 (1/3)

Doc.	TITLE	Source
8/186	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1457-6 – Detailed specifications of the radio interfaces of International Mobile Telecommunications-2000 (IMT-2000)	WP 8F
8/193	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1580-1 – Generic unwanted emission characteristics of base stations using the terrestrial radio interfaces of IMT-2000	WP 8F
8/194	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1581-1 – Generic unwanted emission characteristics of mobile stations using the terrestrial radio interfaces of IMT-2000	WP 8F
8F/1322	Report of the 22 nd meeting of Working Party 8F (Kyoto, 23-31 May 2007)	Chairman, WP8F
8F/1329	Unwanted emission characteristics of IMT-2000 OFDMA TDD WMAN base stations – Additional material for Annex 6 of Recommendation ITU-R M.1580	WiMAX Forum
8F/1330	Unwanted emission characteristics of IMT-2000 OFDMA TDD WMAN mobile stations – Additional material for Annex 6 of Recommendation ITU-R M.1581	WiMAX Forum
8F/1335	Special Meeting of Working Party 8F to complete consensus on the addition of a new IMT-2000 radio interface	Study Group 8
8F/1337	Issues to be clarified at the WP 8F Special Meeting to complete the addition of the proposed new IMT-2000 radio interface (OFDMA TDD WMAN) into Recommendations ITU-R M.1457 and to complete Recommendations ITU-R M.1580 and ITU-R M.1581	Germany (Federal Republic of)
8F/1340	OFDMA TDD WMAN (IP-OFDMA) support of minimum requirements	IEEE
8F/1344	Unwanted emission characteristics of IMT-2000 OFDMA TDD WMAN mobile stations – Further additional material for Annex 6 of Recommendation ITU-R M.1581	WiMAX Forum
8F/1345	Unwanted emission characteristics of IMT-2000 OFDMA TDD WMAN base stations – Further additional material for Annex 6 of Recommendation ITU-R M.1580	WiMAX Forum
8F/1346 (Rev. 1)	Impact of new information on ACLR performance of IMT-2000 OFDMA TDD WMAN on sharing between IMT-2000 and fixed and nomadic broadband wireless access systems	WiMAX Forum
8F/1347	Clarifications regarding OFDMA TDD WMAN link budget	WiMAX Forum
8F/1348	Data and voice capacity of OFDMA TDD WMAN	WiMAX Forum
8F/1349	OFDMA TDD WMAN coverage performance	WiMAX Forum
8F/1350	Proposed method of work for Special WP 8F Meeting and initial schedule	Chairman, WP8F
8F/1351	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1457-6	Canada
8F/1352	Comment on OFDMA-TDD-WMAN issues	Alliance for Telecommunications Industry Solutions
8F/1353	New air interface within Recommendation ITU-R M.1457	United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland
8F/1354	Changes to Annex 6 of Recommendations ITU-R M.1580 and ITU-R M.1581 as proposed in Contributions 8F/1329 and 8F/1330	Germany (Federal Republic of)
8F/1355	Importance of transmitter and receiver characteristics of the proposed new IMT-2000 radio interface (OFDMA TDD WMAN)	Germany (Federal Republic of)
8F/1356	Progress of work toward the addition of a new sixth terrestrial radio interface for Rec. ITU-R M.1457	Italy
8F/1357	An equivalency approach to address circuit switched requirements	AT&T Inc.

付属資料4 入力文書一覧 (2/3)

Doc.	TITLE	Source
8F/1358	Issues relevant to the evaluation of OFDMA TDD WMAN	Deutsche Telekom AG, LM Ericsson, E-Plus Mobilfunk GmbH & Co. KG, France Télécom, Hutchison3G UK Ltd, Qualcomm, Telstra Corporation Ltd
8F/1359	Supporting material for the compliance of OFDMA TDD WMAN with the three minimum performance capabilities upon which full consensus was not previously established	WiMAX Forum
8F/1360	Comments on updated data and voice simulations for OFDMA TDD WMAN	LM Ericsson
8F/1361	Comments on Document 8F/1349 pertaining to outage	LM Ericsson
8F/1362	Comments on the modified link budget submitted by WiMAX Forum	LM Ericsson
8F/1363	Comments concerning the three outstanding minimum performance capabilities	LM Ericsson
8F/1364	Comments on ACLR performance	LM Ericsson
8F/1365	On the treatment of circuit switched capabilities for packet data systems qualifying for IMT-2000	LM Ericsson
8F/1366	Sprint Nextel views on OFDMA TDD WMAN	Sprint Nextel Corporation
8F/1367	United States views to complete consensus on the addition of OFDMA TDD WMAN IMT-2000 radio interface	United States of America
8F/1368	Elimination of the "Circuit switched services" requirement for IMT-2000 systems	United States of America
8F/1369	Inclusion of OFDMA TDD WMAN in Recommendation ITU-R M.1457 as the 6 th IMT-2000 radio interface: the circuit switched requirement	New Zealand
8F/1370	Proposed revision of Recommendation ITU-R M.1580-1 and Recommendation ITU-R M.1581-1 to meet technical requirements in Japan	Japan
8F/1371	Summary of contributions provided to complete consensus at the special meeting of Working Party 8F	Bell Canada, British Telecommunications Public Ltd. Co., Intel Corporation, Lucent Technologies Inc., Motorola Inc., Nortel Networks, Nokia Corporation, Nokia Siemens Networks GmbH & Co. KG, Rogers Wireless, Inc., Samsung Electronics Co. Ltd., Sprint Nextel Corporation, KT Corporation, eAccess Ltd.,
8F/1372	Circuit-switched data services support in OFDMA TDD WMAN	Intel Corporation, Nortel Networks (USA)
8F/1373	Additional clarifications on the OFDMA TDD WMAN link budget	Intel Corporation
8F/1374	Initiation of evaluation process for possible inclusion of IP-OFDMA technology as one of the interfaces for IMT-2000	India
8F/1375	Clarification on the compliance of the proposed new terrestrial IMT-2000 radio interface with minimum performance capability of IMT-2000	Director, Radiocommunication Bureau (TTA/PG 302)
8F/1376	Additional material in support of OFDMA TDD WMAN for IMT-2000 requirements and objectives	Intel Corporation

付属資料4 入力文書一覧 (3/3)

Doc.	TITLE	Source
8F/1377	Proposed way forward for the Special Meeting	China (People's Republic of)
8F/1378	Issues to be clarified at the WP 8F Special Meeting	China (People's Republic of)
8F/1379	Proposed to include "Additional spectrum emission requirement of OFDMA-TDD-WMAN base station when coexistence with other systems" in the updating of Recommendation ITU-R M.1580	China (People's Republic of)
8F/1380	Issues to be clarified regarding the evaluation of the proposed new IMT-2000 terrestrial radio interface (OFDMA TDD WMAN) at the WP 8F Special Meeting	Qualcomm Inc.
8F/1381	On relevance of inclusion of ACLR and ACS in Recommendations ITU-R M.1580-1 and ITU-R M.581-1	Intel Corporation
8F/1382	Draft revision of Recommendation ITU-R M.1457-6	Director, Radiocommunication Bureau
8F/1383	Updating Document 8F/1079(Rev.1) and other relevant documents	AT&T

付属資料5 出力文書一覧 (1/1)

Document number	Title	Source	Status
598	TEXTS TO BE CONSIDERED FOR DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R M.1457-6	AD HOC M.1580 & M.1581	1, ハ, d
599	CHAIRMAN'S REPORT OF DRAFTING GROUP CAP	AD HOC M.1457	1, ハ, d
600R2	MEETING REPORT OF DRAFTING GROUP LINK BUDGET/OUTAGE	CHAIRMAN, AD-HOC M.1457	1, ハ, d
601	LIAISON STATEMENT TO CHAIRMAN OF STUDY GROUP 8 ON THE SPECIAL MEETING OF WP 8F TO COMPLETE CONSENSUS ON THE ADDITION OF A NEW IMT-2000 RADIO INTERFACE	WP8F	2, ロ, a
602	DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R M.1581-1 - GENERIC UNWANTED EMISSION CHARACTERISTICS OF MOBILE STATIONS USING THE TERRESTRIAL RADIO INTERFACES OF IMT-2000	WP8F	2, イ, a
603	DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R M.1580-1 - GENERIC UNWANTED EMISSION CHARACTERISTICS OF BASE STATIONS USING THE TERRESTRIAL RADIO INTERFACES OF IMT-2000	WP8F	2, イ, a
604	MEETING REPORT	CHAIRMAN, AD-HOC M.1580 & M.1581	1, ハ, d
605	DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R M.1457-6 - DETAILED SPECIFICATIONS OF THE RADIO INTERFACES OF INTERNATIONAL MOBILE TELECOMMUNICATIONS-2000 (IMT-2000)	WP8F	2, イ, a
606R1	MEETING REPORT	CHAIRMAN, AD-HOC M.1457	1, ハ, d

*分類

1 : 無修正

2 : Editorial change 有

イ : 勧告案、報告案、ハンドブック ロ : リエゾン文書、サーキュラーレター

ハ : internal 文書

ニ : Question、Resolution、CPM レポート案

a : WP8F として承認

b : WP8F として合意

c : WP8F としてノート

d : WP8F PL 審議対象外

e : WP8F として削除

f : キャリーオーバー

ITU-R 第9 研究委員会関連会合報告書
2007 年春期

目 次

目 次.....	i
概 要.....	1
1 開催概要.....	1
2 日本代表団.....	2
Working Party 9A 報告書（案）.....	5
1 WP9A.....	5
1.1 会議の概要.....	5
2 審議体制.....	5
3 審議概要.....	5
3.1 SWP 9A -1.....	5
3.2 SWP 9A-2.....	6
3.3 その他 WP 9A 全体会合で審議した事項.....	8
4 今後の予定.....	9
Working Party 9B 報告書（案）.....	14
1 WP 9B.....	14
1.1 会議の概要.....	14
2 審議体制.....	14
3 審議概要.....	15
3.1 SWP 9B-1.....	15
3.2 SWP 9B-2.....	18
3.3 その他 WP 9B 全体会合で審議した事項.....	22
4 HAPS 関連.....	24
5 今後の WP9B の課題.....	25
6 次回会合予定.....	25
Working Party 9C 報告書（案）.....	37
1 WP 9C.....	37
1.1 会議の概要.....	37
2 審議体制.....	37
3 審議概要.....	37
3.1 SWP 9C-1.....	37
3.2 SWP 9C-2.....	38
3.3 SWP9C-3 : 4-10MHz 帯の分配見直し.....	39
4 今後の WP9C の課題.....	40
5 次回会合予定.....	40

Working Party 9D 報告書（案）	44
1 WP 9D	44
1.1 会議の概要	44
2 審議体制	44
3 審議概要	44
3.1 SWP 9D-1	44
3.2 SWP 9D-2	45
3.2 SWP 9D-3	47
3.3 SWP 9D-4	48
3.4 Joint Ad Hoc Group（HAPS）	49
3.5 その他	49
4 今後の予定	50
Study Group 9 会合報告（案）	57
1 SG9	57
1.1 会議の概要	57
2 審議の内容	57
2.1 WP 9A 関係	57
2.2 WP 9B 関係	59
2.3 WP 9C 関係	61
2.4 WP 9D 関係	62
2.5 その他	63
3 今後の予定	63
Working Party 4-9S 報告書（案）	68
1 WP 4-9S	68
1.1 会議の概要	68
2 審議体制	68
3 審議概要	68
3.1 SWP 4-9S-1	68
3.1.1 DNR ITU-R SF.[4-9S/HAPS-PLIMIT] 審議	69
3.1.2 その他	69
3.2 SWP 4-9S-2	69
3.3 DG-1（WP3M & 3J へのリエゾン文書）	71
3.4 DG-2（WP 1B へのリエゾン文書）	71
3.5 Ad hoc Plen	72
3.6 その他 WP4-9S 全体会合で審議された事項	72
4 次回予定等	73

概 要

1 開催概要

スイス（ジュネーブ）において、2007年5月8日（火）から5月23日（水）にわたり、ITU-R 第9研究委員会（SG9）関連会合が開催された。

会合の構成を表1に、日程を表2に示す。

表1 SG9 関連会合構成

会合	議長	内容
WP 9A	L. Soussi（チュニジア）	固定業務の品質・稼働率、干渉基準、伝搬問題
WP 9B	橋本 明（日本）	無線周波数配置、方式特性、各種応用、保守運用
WP 9C	N. Serinken（カナダ）	30 MHz 以下での固定業務
WP 9D	C. Glass*（米国）	固定業務とその他の業務（固定衛星業務を除く）との周波数共用
SG 9	V. Minkin（ロシア）	固定業務全般
WP 4-9S	W. Rummler（米国）	固定衛星業務と固定業務間の周波数共用問題

* WP9D では、議長 K. Medley（米国）の欠席により C. Glass 氏（米国）が代行した。

表2 SG9 関連会合日程

WP 等	5月															
	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
WP 9A			○	○												
WP 9B	○	○	○	○			○	○								
WP 9C							○	○	○							
WP 9D	○	○	○	○			○									
SG 9										○	○					
WP 4-9S														○	○	○

2 日本代表団

固定業務委員会では、表 3 に示す構成で日本代表団を派遣した。日本入力寄与文書の審議結果は表 4 のとおり。

表 3 SG9 関連会合日本代表団構成（順不同、敬称略）

		WP9A	WP9B	WP9C	WP9D	SG9	WP 4-9S	備考
日本電信電話(株)	大本 隆太郎	○	○	○	○	○		
	吉江 智孝	○	○		○	○		
(株)NTTドコモ	橋本 明	○	○	○	○	○	○	
(独)NICT	辻 宏之		○		○	○		
	浜口 清		○					
	森崎 孝行		○		○	○	○	
総務省	片山 英郎	○	○	○	○	○		日本団長

表 4 日本入力寄与文書の審議結果

文書番号	寄与文書名（和名）	審議結果
9A/65 9B/226 9C/147 9D/237 4-9S/178	F/SF-series 勧告のリストに関する新報告案	Steering Meeting で審議の結果、「Status of text」に含めて発行することが承認される
9A/66	WP9A/WP9B の研究課題の見直し	承認(SG9 へ送付)
9A/67	勧告 F.592(固定無線方式の用語)の見直し	勧告改訂案として承認(SG9 へ送付)
9A/68	旧い WP9A 勧告の見直し	承認(SG9 へ送付)
9B/228	WP9A/WP9B Question の見直し	新研究課題暫定案(継続審議)
9B/229	3000 GHz 以上の固定無線応用に関する新報告案	新報告案として承認(SG9 へ送付)
9B/230	57 GHz 帯以上の方式の特性に関する新報告案	新報告案として承認(SG9 へ送付)
9B/231	旧い WP9B 勧告の見直し	承認(SG9 へ送付)
9B/232	勧告 F.754, F.756 の勧告 F.1103(Rural 地域用 P-MP 方式の特性)への統合	勧告改訂案として承認(SG9 へ送付)
9B/233	勧告 F.1104 の勧告 F.1490(FWA 方式の要求条件)への統合	勧告改訂案として承認(SG9 へ送付)
9C/148	旧い WP9C 勧告の見直し	提案通り承認され、SG9 会合へ送られた。
9C/149	HF適応通信システムの新勧告策定に関する要請	議長報告に本勧告策定に向けて継続審議する旨、記述。

SG9 関連会合（2007 年春期）

文書番号	寄与文書名（和名）	審議結果
9D/239	勧告 ITU-R F.758 の改訂提案	議長報告 (作業文書)
9D/241	勧告 F.758 旧版に収録された方式パラメータに関する新報告案	承認 (SG9 での審議)
9D/242	勧告 F.1336 (P-MP 方式用アンテナ基準放射パターン) の暫定改定案	議長報告 (作業文書)
4-9S/179	旧い WP4-9S 勧告の暫定見直し	暫定見直し案として、出力文書に反映され議長報告に添付される

Working Party 9A 報告書（案）

1 WP9A

WP 9A 会合は、固定業務の品質・稼働率、干渉基準、伝搬問題および用語を扱う作業部会である。

1.1 会議の概要

2007 年春期の ITU-R Working Party 9A (WP 9A) 会合は、2007 年 5 月 10 - 11 日の実質 2 日間、スイス国ジュネーブ市の ITU 本部において開催された。

本会合には、主管庁、セクタメンバ企業等から合計 62 名が参加し、日本からは 4 名が出席した。2 日間の会期で、12 件の入力文書（日本からの文書 4 件）について審議を行い、8 件の出力文書を作成した。その内訳は、勧告改訂案 4 件、研究課題の見直し（削除提案）文書 1 件、削除を提案する 8 件の既存勧告のリスト 1 件（以上 Study group 9 に送付）、SWP 会合報告 2 件である。

2 審議体制

WP 9A の審議体制を表 1 に示す。

表 1 WP 9A の審議体制

	議長	担務内容
WP 9A	L. Soussi (チュニジア)	固定業務の品質・稼働率、干渉基準、伝搬の影響、用語
SWP 9A-1	P. Nava (イタリア)	他からの干渉の影響
SWP 9A-2	R. Ohmoto (日本)	研究課題と古い勧告の見直し

3 審議概要

3.1 SWP 9A-1

SWP 9A-1 は固定無線方式 (FWS : Fixed Wireless Systems) の他からの干渉の影響について審議を行う SWP であり、議長は P. Nava (イタリア) が務めた。

(1) 勧告 F.1094 (他からの干渉によるデジタル固定無線システムの最大許容エラー品質と稼働率劣化) の改訂

入力文書 : 9A/60(Annex 5 (前回議長報告))、69(ロシア)、70(米国)

出力文書 : 9A/TEMP/51

前回会合で作成した勧告改訂暫定案（Doc. 9A/60(Annex 5)）、ロシア、米国の入力文書（Doc. 9A/69、70）を基に審議を行い、タイトルの用語変更（radio relay → fixed wireless system）、参照勧告の更新、Further study に関する note を削除する等の修正の上で、勧告改訂案を作成した。WP9A 全体会合において、シリアからの提案により NOTE1, 2 が勧告であることを述べる *recommends 6* を追加する修正の上、勧告改訂案として承認され、SG9 へ送付されることとなった。

(2) F.1495（18GHz 帯における固定業務の干渉保護基準）の改訂

入力文書：9A/60(Annex 7（前回議長報告））、9A/62(ロシア)

出力文書：9A/TEMP/52

ロシアから、前回会合で作成した作業文書（Doc. 9A/60(Annex 7)）に干渉保護基準の詳細な考察および ATPC に関する考察を追加し、勧告改訂案とすることが提案（Doc. 9A/62）された。シリア提案に従い、タイトル、スコープの” other services” を” other radio services” に変更し、NOTE1（長期干渉および短期干渉による劣化は固定業務のエラー品質目標の 10%を超えてはならない）を *recommends 3* に変更して勧告内容であることを明示する修正の上、勧告改訂案として承認され、SG9 へ送付されることとなった(ただし、NOTE1 の修正は SG9 文書に反映されていなかったため、最終的に SG 会合で修正が行なわれた)。

(3) F.1669（37-40GHz、40.5-42.5GHz 帯の FS の GSO 衛星からの干渉基準）の改訂

入力文書：9A/71(米国)

出力文書：9A/TEMP/53

米国から入力された干渉基準の導出方法を簡略化する勧告改訂案（Doc. 9A/71）について審議した。エディトリアルな修正の上、原案通り勧告改訂案として承認され、SG9 へ送付されることとなった。

(4) その他の SWP9A-1 での審議事項

入力文書：9A/61(WP 3M)

出力文書：なし

WP3M から関連 WP への勧告 P.452 の晴天時推定の計算シートの完成を伝えるリエゾン文書が送付されたが、特に対応はしなかった。

3.2 SWP 9A-2

SWP 9A-2 は WP 9A の研究課題と古い勧告の見直しについて審議を行う SWP であり、議長は大本（日本）が務めた。

(1) WP 9A の研究課題の見直し

入力文書：9A/63(WP3J、3K、3M)、9A/67(=9B/228、日本)

出力文書：9A/TEMP/55

前回会合で WP9A は既存 6 研究課題のうち、4 課題について削除することを合意した。今回会合で、残る 2 件の研究課題 ITU-R Q.122/9、127/9 について審議した。

日本から、これら 2 件の研究課題の削除が提案 (Doc. 9A/67) された。Q.122/9 (伝搬の影響) は、前回会合で本研究課題の継続必要性を照会するリエゾンを送付した WP 3J、3K、3M からの回答リエゾン (Doc. 9A/63) で、削除への同意が得られたので、これを削除することとした。Q.127 (許容干渉量) は、研究課題の対象となる勧告 F.1094 および F.1495 の改訂案が承認されたため (3.1 (1)、(2)章参照)、こちらも削除することとした。

上記 2 件を含め、WP9A の 6 件の研究課題全てを削除することが承認された。この研究課題の見直し結果をリスト (Doc. 9A/TEMP/55) に纏め、SG9 へ送付した。

なお、日本提案には、WP9A の基本スコープである「品質・稼働率」、「電波伝搬の方式設計への影響」に関する課題について、WP 9A の全ての研究課題削除後は、WP 9B の特性に関する新研究課題に組み込むことも述べられていた。これについては WP9B (SWP 9B1) で議論した (WP9B 報告書 3.1 (3)章参照)。

(2) WP 9A の古い勧告の見直し

入力文書：9A/60(Annex 9 (前回議長報告))、9A/66(日本)

出力文書：9A/TEMP/56

前回会合において、2005 年 11 月の RAG 会合で採択されたガイドライン(最終改訂後 10 年以上経過した勧告を見直す)に沿って、古い勧告の取り扱いに関する作業文書が取り纏められた(Doc. 9A/60(Annex 9))。

今回会合では、日本から、前回会合で作成した作業文書について、一部の変更を含め、8 件の古い勧告の削除が再提案された(Doc. 9A/66)。日本入力文書を基に作成した削除勧告リスト(Doc. 9A/TEMP/56、表 2 参照)が承認され、SG9 会合へ送付されることとなった。なお、勧告 F.745(アナログ方式のリスト)については、F/SF シリーズ勧告の分析リスト(3.3 (2)①章参照)の完成を条件として削除することとした。

表 2 削除を提案する勧告

勧告番号	題名	最終改訂	削除理由
F.390-4	Definitions of terms and references concerning hypothetical reference circuits and hypothetical reference digital paths for radio-relay systems	1982	(1)
F.392	Hypothetical reference circuit for radio-relay systems for telephony using frequency-division multiplex with a capacity of more than 60 telephone channels	1963	(1)
F.393-4	Allowable noise power in the hypothetical reference circuit for radio-relay systems for telephony using frequency-division multiplex	1982	(1)

F.555-1	Permissible noise in the hypothetical reference circuit of radio-relay systems for television	1997	(1)
F.745-1	Certain ITU-R Recommendations for analogue radio-relay systems, including those which have been deleted	2002	(2)
F.1241	Performance degradation due to interference from other services sharing the same frequency bands on a primary basis with digital radio-relay systems operating at or above the primary rate and which may form part of the international portion of a 27 500 km hypothetical reference path	1997	(3)
F.1331	Performance degradation due to interference from other services sharing the same frequency bands on a primary basis with analogue radio-relay systems for television	1997	(1)
F.1398	Performance degradation due to interference from other services sharing the same frequency bands on a primary basis with digital radio-relay systems operating at or above the primary rate and which may form part of the national portion of a 27 500 km hypothetical reference path	1999	(3)

(1) 旧型でほとんどのITUメンバーの関心外であるアナログシステムに関する勧告であるため。

(2) ITU Websiteで参照可能なデータベース“Guidance to the F. series and SF. series Recommendation”に組み込まれるため。

(3) 勧告F.1565に引き継がれるため。

3.3 その他 WP 9A 全体会合で審議した事項

(1) F.592（固定業務の用語）の改訂

入力文書：9A/60(Annex 8（前回議長報告））、9A/68(日本)

出力文書：9A/TEMP/57

前回会合で、日本から勧告 F.592 にいくつかの用語・略語の追加を行い、勧告改訂暫定案（Doc. 9A/60(Annex 8)）が作成された。

今回会合では、日本は前回の勧告改訂暫定案をそのまま勧告改訂案とする提案（Doc. 9A/68）を行った。米国より、追加の用語の ATPC について、「主に降雨減衰が影響する伝搬環境」を「降雨減衰とマルチパスフェージングに起因する伝搬損失」に変更する修正提案があり、また FDP (Fractional degradation in performance)の定義についてエディトリアルな修正の上、勧告改訂案として承認され、SG9 会合へ送付されることとなった。

CCV 担当の Coum 氏（仏）より WP9A 議長に対し、今回会合の出力文書で用いられている用語、略語を議長報告にまとめて掲載する依頼があり、了承された。

(2) その他の審議事項

① 勧告 F シリーズ/SF シリーズの分析リスト

入力文書: 9A/65(日本)

出力文書: 9/164

日本から各 WP に入力した F シリーズ勧告及び SF シリーズ勧告をトピックス別に配列した新報告の作成を提案する入力文書 (Doc. 9B/226、9C/147、9D/237、4-9S/178) については、入力文書の提案に基づき、SG9 ステアリング会合において議論された。

その結果、各 WP での作業は行わず、WP 議長及び事務局で作業することが合意された。また、勧告のタイトルのみではなく Scope も加えたリストとし、新報告ではなく、SG 会合時に発行される「Status of text」の Annex として ITU Website で参照可能なデータベースとすることとなった。(WP 9B 報告書の 3.3(4)②章、9D 報告書の 3.5 (1)章に同じ内容の記載あり)

(3) 今後の WP9A

入力文書: なし

出力文書: なし

WP 9A の担務である「品質と稼働率、干渉基準とその解析、伝搬の影響と用語」に関する研究は完了したことが同意された。

4 今後の予定

次回 SG9 関連会合は、SG 再編のため暫定スケジュールであることを前提として、2008 年 4 月にジュネーブで開催される予定。また、チュニジア代表より、2008 年内に SG9 関連会合をチュニジアに招聘する意向が示された。

表 3 WP 9A 日本入力寄与文書の審議結果

文書番号	題目	審議結果	出力文書
9A/65	F/SF-series 勧告のリストに関する新報告案	Steering Meeting で審議の結果、「Status of text」に含めて発行することが承認される	9/164
9A/66	WP9A/WP9B の研究課題の見直し	承認（SG9 へ送付）	9A/TEMP/55
9A/67	勧告 F.592（固定無線方式の用語）の見直し	勧告改訂案として承認（SG9 へ送付）	9A/TEMP/57
9A/68	旧い WP9A 勧告の見直し	承認（SG9 へ送付）	9A/TEMP/56

表 4 WP 9A 入力文書一覧表

文書番号	題目	提出元	出力文書
9A/60 Annex 2 Annex 5 Annex 7 Annex 8 Annex 9	Chairman's report, Kobe meeting 28 June - 4 July 2006	Chairman, WP 9A	9A/TEMP/51 9A/TEMP/52 9A/TEMP/55 9A/TEMP/56 9A/TEMP/57
9A/61 (Corr.1)	Liaison statement to Working Parties 1A, 1C, 4A, 4-9S, 6E, 7B, 7C, 7D, 8A, 8B, 8F, 9A and 9D - Spreadsheet implementation of the clear-air portion of Recommendation ITU-R P.452-12	WP3M	—
9A/62	On application of the ITU-R Recommendation F.1495 and proposals for its modification - Interference criteria to protect the fixed service from time varying aggregate interference from other services sharing the 17.7-19.3 GHz band on a co-primary basis	ロシア	9A/TEMP/52
9A/63	LS to WP 9A – Invitation to consider the future status of Question ITU-R 122/9	WP's 3J, 3K and 3M	9A/TEMP/55
9A/64	Liaison statement to Radiocommunication Study Groups and Working Parties - Terminology database	CCV	9/163
9A/65	Development of a draft new Report on analytical lists of the F-series and SF-series Recommendations	日本	9/164
9A/66	Review of the old Recommendations within Working Party 9A	日本	9A/TEMP/56
9A/67	Considerations on Questions assigned to Working Parties 9A and 9B	日本	9A/TEMP/55
9A/68	Draft revision of Recommendation ITU-R F.592 – Vocabulary of terms for the fixed service	日本	9A/TEMP/57
9A/69	Draft revision of Recommendation ITU-R F.1094-1 – Maximum allowable error performance and availability degradations to digital radio-relay systems arising from interference from emissions and radiations from other sources	ロシア	9A/TEMP/51
9A/70	Proposed draft revision of Recommendation	米国	9A/TEMP/51

SG9 関連会合（2007 年春期）

文書番号	題目	提出元	出力文書
	ITU-R F.1094-1 – Maximum allowable error performance and availability degradations to digital radio-relay systems arising from interference from emissions and radiations from other sources		
9A/71	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R F.1669 – Interference criteria of fixed wireless systems operating in the 37-40 GHz and 40.5-42.5 GHz bands with respect to satellites in the geostationary orbit	米国	9A/TEMP/53
9A/72	List of documents issued	BR Study Group Department	—

表 5 WP 9A 出力文書一覧表

文書番号	題目	提出元	入力文書	処理
9A/TEMP/50	Report of May 2007 Meeting of Sub-WP 9A-1 (Interference issues)	SWP 9A-1	—	承認
9A/TEMP/51	Draft revision of Recommendation ITU-R F.1094-1 - Maximum allowable error performance and availability degradations to digital radio-relayfixed wireless (FWS) systems arising from interference from emissions and radiations from other sources	SWP 9A-1	9A/60 (Annex 5) 9A/69 9A/70	SG9へ 送付
9A/TEMP/52	Draft revision of the Recommendation ITU R F.1495 – Interference criteria to protect the fixed service from time varying aggregate interference from other services sharing the 17.7-19.3 GHz band on a CO-Primary basis	SWP 9A-1	9A/60 (Annex 7) 9A/62	SG9へ 送付
9A/TEMP/53	Draft revision of Recommendation ITU-R F.1669 – Interference criteria of fixed wireless systems operating in the 37-40 GHz and 40.5-42.5 GHz bands with respect to satellites in the geostationary orbit	SWP 9A-1	9A/71	SG9へ 送付
9A/TEMP/54	Meeting Report	Chairman, SWP 9A-2	—	承認
9A/TEMP/55	Review of the Questions within Working Party 9A	SWP 9A-2	9A/60 (Annex 2) 9A/67	SG9へ 送付
9A/TEMP/56	Proposal for deletion of certain Recommendations within Working	SWP 9A-2	9A/60 (Annex 9) 9A/66	SG9へ 送付
9A/TEMP/57	Draft revision of Recommendation ITU-R F.592-3 – Vocabulary of terms for the fixed service	WP 9A	9A/60 (Annex 8) 9A/68	SG9へ 送付

Working Party 9B 報告書（案）

1 WP 9B

WP 9B は、固定業務の無線周波数配置、方式特性、高高度プラットフォームを含む各種応用、保守運用を扱う作業部会である。

1.1 会議の概要

2007 年春期の ITU-R Working Party 9B(WP9B) 会合は、5/8-5/15 の実質 6 日間、ジュネーブ市の ITU 本部において開催された。

本会合には、各国主管庁、セクタメンバー企業、ITU 事務局などから 67 名（日本からは 7 名）が参加した。6 日間の会期で、43 件の入力文書を審議し、27 件の出力文書を作成した。その内訳は、新勧告案 1 件、勧告改訂案 9 件、新報告案 2 件、エディトリアルな修正を施した 4 件の既存勧告を纏めた文書 1 件、および削除を提案する 8 件の既存勧告のリスト 1 件（以上 Study Group 9 会合へ提出）、リエゾン文書 5 件（内 1 件は SG9 から送付）、新研究課題暫定案 3 件（出力文書としては 2 件）、新報告暫定案 1 件、報告改訂暫定案 1 件、作業文書 2 件、その他 2 件である。

2 審議体制

本会合の審議体制は、表 1 のとおりである。2 つの Sub Working Party (SWP) に加えて、全体会合の下に 1 つの Joint Ad hoc Group、2 つの Drafting Group を設けた。

表 1 WP 9B の審議体制

	議長	担務内容
WP 9B	A. Hashimoto(日本)	固定無線業務の特性、周波数配置、応用
SWP 9B-1	A. Hashimoto(日本)	研究課題と古い勧告の見直し関連
SWP 9B-2	R. Macchi(イタリア)	周波数チャンネル配置と FS 一般的特性関連
Joint Ad Hoc Group 9B/9D-HAPS(*)	T. Morisaki(日本)	HAPS 関連
Drafting Group 9B-ANT(**)	J. Bonin(フランス)	ANT 計画に関する ITU-T SG15 への回答リエゾン作成
Drafting Group 9B-COMP(***)	A. Klyucharev(ロシア)	近隣国との固定業務干渉 compatibility(共存性) 関連

(*) High Altitude Platform Station(高高度プラットフォーム局)

(**) Access Network Transport(アクセス網伝送)

(***) Compatibility(共存性)

3 審議概要

3.1 SWP 9B-1

SWP 9B-1 は、WP 9B の研究課題と古い勧告の見直し関連について審議を行う SWP であり、議長は橋本(日本)が務めた。

(1) WP 9B の古い勧告の見直し

入力文書： 9B/203(Annex 5(前回議長報告))、231(日本)、244(米国)

出力文書： 9B/TEMP/117(rev.1)、118(rev1)、119

前回 WP9B において、2005 年 11 月の RAG 会合で採択されたガイドライン(最終改訂後 10 年以上経過した勧告を見直す)に沿って、古い勧告の取り扱いに関する作業文書が取り纏められた(Doc. 9B/203(Annex 5))。

今回合合では、日本から、前回合合で作成した作業文書について、一部の変更を含め再提案された(Doc. 9B/231)。

審議の結果を表 2~5 に示す。Editorial 修正(決議 ITU-R 44 の手続きに基づく)を行なう表 3 の 4 勧告の修正テキストを取り纏めた文書(9B/TEMP/117(rev1))、および表 4 と表 5 中の削除を提案する勧告を取り纏めた文書(Doc. 9B/TEMP/119)について、承認され、SG9 へ送付されることとなった。

また、日本提案文書で削除提案された勧告 F.1244(無線 LAN)の対処について、米国より、「勧告 M.1450(移動業務用広帯域無線 LAN)は本勧告を引用しており、M.1450 の改訂が完了する(WP8A、本年 6 月会合の予定)まで F.1244 を削除すべきでない。」との提案(Doc. 9B/244)があった。それに対し、カナダより、「F.1244 の情報はレポート F.2086 に引き継がれており、WP9B の判断で F.1244 を削除し、それを WP8A にリエゾンで伝える選択枝もある。」とのコメントがあった。米国、カナダ、WP9B 議長の協議の上、「WP8A 会合にて F.1244 で参照している内容を M.1450 に組み込むことを支持する。F.1244 の削除は(M.1450 の改訂承認とともに)本年 10 月の RA で行なうことを提案する」という内容のリエゾン(Doc. 9B/TEMP/118(rev1))を WP8A へ送付することが承認された。

表 2 現状のまま維持される勧告

勧告番号	題名	最終改訂
F.747	Radio-frequency channel arrangements for fixed wireless systems operating in the 10 GHz band	1992
F.1098-1	Radio-frequency channel arrangements for fixed wireless systems in the 1 900-2 300 MHz band	1995
F.1242	Radio-frequency channel arrangements for digital radio systems operating in the range 1 350 MHz to 1 530 MHz	1997
F.1243	Radio-frequency channel arrangements for digital radio systems operating in the range 2 290-2 670 MHz	1997
F.1106	Effects of propagation on the design and operation of trans-horizon radio-relay systems,	1994
F.751-2	Transmission characteristics and performance requirements of radio-relay systems for SDH-based networks	1997
F.1101	Characteristics of digital fixed wireless systems below about 17 GHz.	1994

表 3 エディトリアルな修正の上、維持される勧告

勧告番号	題名	最終改訂
F.302-3	Limitation of interference from trans-horizon radio-relay systems	1997
F.698-2	Preferred frequency bands for trans-horizon radio-relay systems	1994
F.636-3	Radio-frequency channel arrangements for fixed wireless systems operating in the 15 GHz band (*)	1994
F.701-2	Radio-frequency channel arrangements for digital point-to-multipoint radio systems operating in frequency bands in the range 1.350 to 2.690 GHz (1.5, 1.8, 2.0, 2.2, 2.4 and 2.6 GHz) (*)	1997

(*) 題名は修正後のもの。

表 4 統合の上、削除される勧告および改訂維持される勧告

勧告番号	題名	最終改訂	Action(**)
F.754	Radio-relay systems in bands 8 and 9 for the provision of telephone trunk connections in rural areas	1992	削除
F.756	TDMA point-to-multipoint systems used as radio concentrators	1992	削除
F.1103	Basic requirements and technologies for fixed wireless access systems operating in bands below 3 GHz for the provision of wireless subscriber connections in rural areas (*)	1994	改訂
F.1104	Requirements for point-to-multipoint radio systems used in the local grade portion of an ISDN connection	1994	削除

(*) 題名は修正後のもの。

(**)次項(2)参照。

表 5 削除を提案する勧告

勧告番号	題名	最終改訂
F.283-5	Radio-frequency channel arrangements for low and medium capacity analogue and digital fixed wireless systems operating in the 2 GHz band	1990
F.596-1	Interconnection of digital radio-relay systems	1994
F.700-2	Error performance and availability measurement algorithm for digital radio-relay links at the system bit-rate interface	1994
F.753	Preferred methods and characteristics for the supervision and protection of digital radio-relay systems	1992
F.1244	Radio local area networks (RLANs) (*)	1997

(*)勧告 F.1244 は SG9 会合にて当面維持することに決定。

(2) 古い勧告の統合

入力文書： 9B/232(日本)、233(日本)

出力文書： 9B/TEMP/120、121、122(rev1)

前章、表 3 の勧告の見直しについて DG9B-1a を設置し、大本(日本)の議事運営の下、以下2件の古い勧告の見直し(統合および削除)を審議した。

- ① ルーラル用 FWA に関する勧告 F.754、F.756 について、それらの有益な情報を同

一テーマに関する勧告 F.1103 に移行し、削除する(Doc. 9B/232)。

- ② FWA による ISDN 接続に関する勧告 F.1104 について、その有益な情報を FWA の一般的要求条件に関する勧告 F.1490 に移行し、削除する(Doc. 9B/233)。

2 件とも見直し作業がほぼ原案通り承認され、勧告 F.1103 改訂案(Doc. 9B/TEMP/122(rev1))および F.1490 改訂案(Doc. 9B/TEMP/120)が承認され、SG9 へ送付することとした。また、②について、勧告 F.1490 は旧 JRG 8A-9B で作成されたものなので、共同作成した WP 8A に対し勧告改訂を意見照会するリエゾン案(Doc. 9B/TEMP/121)が作成された。本リエゾンについては、次回 WP8A 会合が勧告改訂案採択を審議する SG9 会合の後に開催されるため SG9 から送付する方が適当と判断され、WP 議長経由で SG へ入力された。

(3) WP 9B の研究課題の見直し

入力文書： 9B/228 (=9A/67、日本)

出力文書： 9B/TEMP/116

日本から、WP9B の既存研究課題の見直し結果として、3グループ(特性、無線周波数配置、その他)に分類可能なこと、特性(4 研究課題)および無線周波数配置(3 研究課題)について従来の研究課題を置換える全ての周波数帯に渡る統合的な新研究課題 2 件の暫定案が提案された(Doc. 9B/228)。日本入力文書を基に、WP9B に割当られている既存研究課題のステータスの考察結果および上記二つの新研究課題の暫定案を記載した出力文書について審議した。

日本入力文書では、WP9A の全研究課題が削除されるため、WP9A の基本スコープである「品質・稼働率」、「電波伝搬の方式設計への影響」に関する固定業務の側面について、WP 9B の特性に関する新研究課題に組み込むことも述べられていた。この提案に対し、カナダより、「特性に関する新研究課題暫定案のうち、品質、稼働率に関する *considering d)* および *decides 3* は今後研究の必要性がない。」との意見があり、削除が同意された(伝搬の影響を考慮する *considering c)* は残すこととした)。

カナダより、「2つの新研究暫定課題案ともステータスとして暫定を取り除き SG9 へ送付することが望ましい。」とのコメント、また、米国から、「既存研究課題の所掌範囲との整合性など内容確認に時間をかける必要があるので暫定案とすべき。」とのコメントがあった。SWP9B-1 議長より、「本案は今回会合で審議を始めたもので、更なる審議が必要との意見があれば次回まで継続してもよい。」との見解が示され、カナダ案を支持する国はなかったため、暫定のステータスで議長報告に収録し、継続検討することが同意された。

3.2 SWP 9B-2

SWP 9B-2 は周波数チャネル配置と固定無線業務の一般的特性関連について審議を行う SWP であり、議長は R. Macchi (イタリア) が務めた。

(1) 各種周波数帯における無線周波数配置

入力文書： 9B/211、227 (以上ロシア)、234、235、236、237 (以上イタリア)、239、

240、241、242（以上韓国）

出力文書： 9B/TEMP/126、127、128、129、130、131、132

本件について DG9B-2a を設置し、R. Macchi（イタリア）の議事運営の下、審議を行った。

各入力文書は周波数帯の勧告毎に振り分けられ、改訂作業を行った。主な改訂内容は、古いアナログシステムに関する記述の削除、“radio-relay”の“fixed wireless”への用語置換え、タイトルに実際にカバーする周波数範囲の明記、また、一部の勧告では、2つの隣接チャンネルを1チャンネルに束ねて割り当てる周波数配置も提案された。最終的に、7つの勧告改訂案が承認され、SG9へ送付されることとなった。

表6に今回会合で改訂した無線周波数配置に関する勧告と周波数帯を示す。

表6 今回会合で改訂した無線周波数配置に関する勧告

勧告番号	周波数帯	改訂提案入力文書（提案国）	出力文書
F.1099	5 GHz 帯 (4400-5000 MHz)	9B/238（韓国）	9B/TEMP/131、133
F.383	Lower 6 GHz帯 (5925-6425 MHz)	9B/211（ロシア）、9B/237 （イタリア）9B/241（韓国）	9B/TEMP/126、131
F.384	Upper 6 GHz 帯 (6425-7125 MHz)	9B/242（韓国）	9B/TEMP/128、131
F.385	7 GHz 帯 (7110-7900 MHz)	9B/236（イタリア）、9B/239 （韓国）	9B/TEMP/130、133
F.386	8 GHz帯 (7725-8500 MHz)	9B/227（ロシア）、9B/234 （イタリア）	9B/TEMP/131、133
F.497	13 GHz帯 (12750-13250 MHz)	9B/235（イタリア）	9B/TEMP/131、133
F.746	固定業務用周波数帯	9B/239（韓国）	9B/TEMP/131

(2) 57GHz 以上および 3000GHz 以上の周波数帯を用いた FS アプリケーション

入力文書： 9B/203（Annex 6、7（前回議長報告））、215（WP3J&3M）、229（日本）、230（日本）

出力文書： 9B/TEMP/123、124、125

57 GHz 帯以上の方式の特性に関する新報告案、および 3000 GHz 以上の固定無線応用に関する新報告案について DG9B-2b を設置し、濱口（日本）の議事運営の下、前回会合で作成した新報告暫定案（9B/203（Annex 6、7））および新規入力文書を基に、新報告案の作成を行った。

① 57 GHz 帯以上の方式の特性に関する新報告案

前回会合で作成した作業文書（Doc. 9B/203(Annex 6)）をベースにして、新報告書案

として書式を整える日本提案の入力文書（Doc. 9B/230）を反映した出力文書（Doc. 9B/TEMP/123）が作成された。

表題は、スコープをより明確にするため、"Characteristics and applications of fixed wireless systems operating in the 57 GHz to 95 GHz band"に改められた。これについて、シリアからは、「実際に使用されている固定業務のステータスは 60GHz 帯と 95GHz 帯では違うのではないか。」という質問が出された。これについては WP9B 議長から新報告の内容を引用しつつ国によって方式の実態（制度化のみか、実験レベルかサービス開始しているか）は異なるとの回答がなされた。

米国より要求があり、カナダ、英国が制度化しているミリ波帯の範囲を修正した。米国より参考文献として外部資料は一般に公開されているものか疑問が呈され、事務局で後日確認することになった。

上記のような審議およびエディトリアルな修正後、新報告案として承認され、SG9 へ送付されることとなった。

② 3000 GHz 以上の固定無線応用に関する新報告案

前回会合で作成した作業文書（Doc. 9B/203(Annex 7)）をベースにして、WP3J/3M からの光波伝搬特性に関する情報（Doc. 9B/215）および日本から強雨領域の減衰特性実測データ等の情報（Doc. 9B/229）を追加し、出力文書（Doc. 9B/TEMP/125）が作成された。

表記について、シリアからの「表題として"Fixed service applications using free space optical links"が、より適当である。」とのコメントに従い表題が修正された。また、WP3J/3M での表記に合わせて"optic"は"optical"に置換えられた。

シリアからの「光波伝搬に関する記述は WP9B 独自の内容か、あるいは ITU-R P シリーズ勧告を参照しているのか。」との質問に対し、WP9B 議長より、「基本的には P-シリーズに合わせているが、9B 側の情報を伝搬グループが利用することもあり、会議開催毎に該当部分を WP3J/3M に送付し、相互に記述を Update している。」と回答があった。

上記のような審議およびエディトリアルな修正後、新報告案として承認され、SG9 へ送付されることとなった。

また、WP3J/3M からの専門的コメントに対する謝辞と新報告書案の完成を知らせる WP3J/3M（および情報として WP1A）へのリエゾン（Doc. 9B/TEMP/124）が合わせて作成された。

(3) ITU-R 報告 F.2086（BWA の技術・運用上の特性と応用）の改訂

入力文書：9B/240（China Mobile）

出力文書：9B/TEMP/134

本件について DG9B-2c を設置し、Sheng Zhou（China Mobile）の議事運営の下、China Mobile からの改訂提案文書（Doc. 9B/240）を基に、ドラフティングを行った。China Mobile の改訂提案は、6.8 章「システム管理機能」への interworking（複数シス

テム間の相互接続) 管理機能と課金機能の追加、および 6.10 章「システムをサポートする新技術」への cooperative ability (信号品質の改善のため、同一または異なるネットワーク間の複数のアンテナ、伝送路等を協調して用いる機能) であった。

6.8 章の改訂について、米国より、「interworking 管理機能と課金機能は高次レイヤ機能であり、通常の FWA の requirement を扱う本報告の所掌範囲外である」とのコメントがあり、提案元の China Mobile もこれに同意したため、この部分の修正は棄却された。また、6.10 章の改訂について、米国より、「今回会で初めて提案されたので、内容の考察に時間が必要。」とのコメントがあり、この部分については報告改訂暫定案 (Doc. 9B/TEMP/134) を作成し、継続検討することとなった。

(4) 2.5GHz 帯の FWA システムにおける周波数ブロック配置

入力文書：9B/243 (カナダ)

出力文書：9B/TEMP/132

カナダから、2500-2690 MHz 帯の周波数システムに対する周波数ブロック配置に関する暫定新勧告案に向けた作業文書 (Doc. 9B/243) が入力された。カナダ入力文書を基に作業文書 (Doc. 9B/TEMP/132) を作成した。

本作業文書について、WP9B 全体会でシリアから「帯域端の 2500-2520MHz 及び 2670-2690MHz は IMT-2000 衛星コンポーネント用としても特定されており、固定業務用勧告には反対、本帯域全体が WRC-07 議題 1.9 の検討対象になっており (WRC-07 が終わるまで) 具体的 output を作成すべきでない」との意見が出された。このコメントの主旨は Note として作業文書に記載することとした。

また、今会期中のカナダ提案に従い、WP8A、8F に対し、WP9B では次回会合以降も本件の検討を継続すること、WP8A、8F に同帯域の Mobile 利用との整合性に関する協力を求めるリエゾンが作成された。本リエゾンの送付について、シリアおよび米国から、「作業文書の内容自体が固まっていない段階で、リエゾンを送付することに反対である。」とのコメントがあり、審議の結果、リエゾン送付は見送りとなった。

作業文書案およびリエゾン案は議長報告に収録され、次回会合で継続審議することとなった。

(5) SDR およびコグニティブ無線に関する WP1B での検討に関するリエゾン

入力文書：9B/216 (WP1B)、9B/223 (WP8F)、9B/246 (WP6S)

出力文書：9B/TEMP/115 (rev1)

WP 1B から SDR およびコグニティブ無線の検討を行うに当たり、他 WP の検討との重複を避け、協調して検討していくことを提案するリエゾン (Doc. 9B/216) が入力された。

本件について、同リエゾンが送付された WP 9D との Joint DG9B を設置し、Ward (米国) の議事運営の下、回答リエゾンを作成した。

これらの無線方式は ITU-R で「定義」がなされていないこと、WP1B での研究はスペクトラム管理側面について行なうべきで、それは方式グループ (例えば WP 9B) で

のシステムに関する検討とも関連があるため、次会期にその進展を見て行なうべきであるとのリエゾン文書（9B/TEMP/115（rev1））を送付することとなった。（WP9D 報告書、3.2（2）章に同じ内容の記載あり）

3.3 その他 WP 9B 全体会合で審議した事項

(1) アクセス網伝送（ANT）標準に関する ITU-T SG15 への回答リエゾン

入力文書：9B/217、218（以上 ITU-T SG15）、205、222（以上 WP 8F）、213（WP 8A）

出力文書：9B/TEMP/136、137

ITU-T SG15 では、数年来、アクセス網伝送の標準化を進めており、関連 WP に対して情報提供を求めている。ITU-T SG15 からのリエゾン（Doc. 9B/217、218）は ANT 計画の作業文書の作成進捗と情報提供を求めるものである。また、他の入力文書は、他 WP から ITU-T SG15 への回答リエゾンが WP 9B にも参考情報として送付されたものである。

本件について DG9B-ANT を設置し、J. Bonin（フランス）の議事運営の下、ITU-T SG15 への回答リエゾン作成を行った。

以下の2つの ANT 計画作業文書について内容確認を行い、これらの文書中の WP 9B の成果情報の修正、および新規情報の追加をリエゾン文書（Doc. 9B/TEMP/137）に纏めた。作成したリエゾン文書は承認され、ITU-T SG15 へ送付されることとなった。

- ANT Standards Overview (TD 325 (PLEN/15) 13, Nov 2006)
- ANT Standards Work plan (TD 326 (PLEN/15) 12, Nov 2006)

また、ANT 計画に関する WP 9B での次回会合以降の検討課題、および WP9B に送付された ANT 計画のリエゾンをまとめた DG 報告（Doc.9B/TEMP/136）について、議長報告に反映することとした。

(2) 近隣国間での固定業務干渉の compatibility（共存性）

入力文書：9B/247（WP 9D 議長）

出力文書：9B/TEMP/138、141

今回会期中、WP9D から WP 9B に対し、近隣国間での固定業務干渉の compatibility（共存性）に関する新研究課題および新勧告に向けた作業文書が入力された。これらの文書は当初、WP 9D に入力されたもの（Doc. 9D/238、240）であるが、WP 9B で対処するのが適切と判断され、WP 9B へ転送された。

本件について DG9B-COMP を設置し、A. Klyucharev（ロシア）の議事運営の下、新研究課題暫定案 ITU-R F.[COMP]（Doc.9B/TEMP/138）および新勧告暫定案 ITU-R F.[COMPATIBILITY]に向けた作業文書（Doc.9B/TEMP/138）を作成した。シリア、米国より、「本議題については次回会合で更なる審議を行う必要がある。」とのコメントがあり、出力文書は議長報告に収録され、継続審議することが承認された。

本審議結果について、シリア、クウェート、UAE から、「WARC-79 の決定（近隣国間での固定業務間の調整に関する条項は RR から削除）を踏まえ、シリア、クウェート、UAE は本研究課題案、勧告案に反対する。」との Statement 提出があり、議長報告へ記載され

た。

(3) 用語

入力文書：9B/220（SG9 用語ラポータ）

出力文書：9/163

SG9 用語ラポータ（Coum（フランス））から、2006年10月のCCV 会合結果を伝えるリエゾン（Doc. 9B/220）が説明された。本リエゾンでは、各 WP において勧告、報告の改訂・新規作成の際、その文書内で用いられる新たな定義が必要な用語・略語を纏めた章を Scope and Summary の章の直後に置くことが要求された。

本件については、SG9 ステアリング会合で審議され、「用語・略語の章は勧告、報告の一部とは見なさず、改訂・新規作成が承認された後、異なる定義が乱立するのを避けるため削除すべきである。」との見解を示す回答リエゾンを、SG9 から CCV に送付することが承認された。

(4) その他の審議事項

② 情報提供を目的とするリエゾン入力文書

入力文書：9B/204（WP 9D）、206（WP 8F）、207（WP 8F）、214（WP 8A）、
219（ITU-T SG16）

出力文書：なし

表 7 に示す情報提供を目的とするリエゾン入力文書については、特に対応は取らなかった。

表 7 今回会合で入力された情報提供を目的とするリエゾン入力文書

文書番号	提出元	題名
9B/204	WP 9D	System characteristics for use in sharing studies with television outside broadcast (TVOB), electronic news gathering (ENG) and electronic field production (EFP) in the fixed service
9B/206	WP 8F	Use of IMT systems in case of natural disasters
9B/207	WP 8F	Frequency-related matters for IMT-2000 and IMT-Advanced related to WRC-07 Agenda item 1.4
9B/214	WP 8A	System characteristics for use in sharing studies with television outside broadcast (TVOB), electronic news gathering (ENG) and electronic field production (EFP) in the fixed service
9B/219	ITU-T SG16	First version of the ITU-T roadmap for telemedicine

③ 勧告 F シリーズ/SF シリーズの分析リスト

入力文書： 9B/226（日本）

出力文書： 9/164

日本から各 WP に入力した F シリーズ勧告及び SF シリーズ勧告をトピックス別に配列した新報告の作成を提案する入力文書（Doc. 9A/65、9C/147、9D/237、4-9S/178）については、入力文書の提案に基づき、SG9 ステアリング会合において議論された。

その結果、各 WP での作業は行わず、WP 議長及び事務局で作業することが合意された。また、勧告のタイトルのみではなく Scope も加えたリストとし、新報告ではなく、SG 会合時に発行される「Status of text」の Annex として ITU Website で参照可能なデータベースとすることとなった。（WP 9A 報告書の 3.3（2）①章、9D 報告書の 3.5（1）章に同じ内容の記載あり）

(5) WP 9B の研究課題のステイタスの確認

全ての研究課題について、現状のステイタスを保持することが同意された。

(6) コレスポンドランス・グループ

HAPS CG について、CPM07-2 の準備完了をもってその役割を果たしたため、CG の活動を完結することが同意された。

4 HAPS 関連

議題 1.8(HAPS)に関する WP 9D との Joint Ad Hoc グループが設けられ、森崎氏（日本）が議長を担当し、2 件の入力文書を審議し、2 件の出力文書を作成した。

(1) HAPS の国境における PDF 値

入力文書： 9B/210（WP 9B 議長）(Doc. 4-9S/153, 154（以上韓国）の転送)、
9B/221（豪）

出力文書： 9B/TEMP/135(Rev.1)

オーストラリアより入力された 47/48 GHz 帯での隣接国の固定業務を保護する為の国境における HAPS からの pfd 値に関する新勧告暫定案（Doc. 9B/221）についてアドホックグループでエディトリアルな修正が行われた後、本勧告が WRC-07 の議題 1.8 に関連していることを考慮して新勧告案として合意した。WP9B 全体会合においても、特にコメントは無く、新勧告案として合意され、SG9 に送付されることとなった。

(2) HAPS と他 FS との調整に必要な技術基準

入力文書： 9B/210（WP 9B 議長）(Doc. 4-9S/153, 154（以上韓国）の転送)

出力文書：9B/TEMP/139、140

WP 9B 議長からの勧奨（Doc. 9B/210）に基づいて、前回の WP4-9S 会合に入力された HAPS を利用したシステムと他の FS システムとの調整に関連して、必要な技術基準・データの研究を扱う新報告書暫定案（Doc. 4-9S/153、154）を審議した。これらの 2 件の入力文書は調整・通告の為にデータ及び手続きに関する内容なので WP9B の所轄事項かどうか多少の疑問があるが、WRC-07 での審議に有用な内容であることを考慮して WP9B としては HAPS と他の FS システムに関する内容のみを抽出して新報暫定案（Doc. 9B/TEMP/139）を作成した。

WP9B 全体会合では、本出力文書の内容について、シリア・米国から「WRC-07 で議題 1.8 の検討が完結すれば、（それ以降の）WP での研究は不要となる」との意見が出されたため、冒頭に本見解を反映した Note を付加することとした。

HAPS と FSS システムとの調整に関する内容については WP4-9S の所轄事項なので、WP4-9S に対して同様のレポートを作成する様要請するリエゾン案がアドホックグループで作成された。しかし、WP9B 全体会合において WP4-9S 議長から、「本件検討に必要な情報は全て保有しているので、このリエゾンは必要ない。」とのコメントがあり、それによってリエゾン案は破棄された。

5 今後の WP9B の課題

- 種々の周波数帯における固定無線システムの無線周波数配置
- 固定業務におけるソフトウェア無線技術の利用
- より高い周波数帯（特に 57GHz 帯以上）における固定業務システムの特性
- 災害救援活動、地上空間光リンク、ホームネットワーク等の特定の固定業務の応用
- 近隣国間での固定業務干渉の compatibility（共存性）
- HAPS を利用した固定業務の特性

6 次回会合予定

次回 WP 9B 会合は、SG 再編のため暫定スケジュールであることを前提として、2008 年 4 月 8 日－16 日の間、ジュネーブで開催される予定。また、チュニジア代表より、2008 年内に SG9 関連会合をチュニジアに招聘する意向が示された。

表 8 WP 9B 日本入力寄与文書の審議結果

文書番号	題目	審議結果	出力文書
9B/226	F/SF-series 勧告のリストに関する新報告案	Steering Meeting で審議の結果、 「Status of text」 に含めて発行す ることが承認さ れた	9/164
9B/228	WP9A/WP9B Question の見直し	新研究課題暫定 案（継続審議）	9B/TEMP/116
9B/229	3000 GHz 以上の固定無線応用に関する新報告 案	新報告案として 承認（SG9 へ送 付）	9B/TEMP/124 9B/TEMP/125
9B/230	57 GHz 帯以上の方式の特性に関する新報告案	新報告案として 承認（SG9 へ送 付）	9B/TEMP/123
9B/231	古い WP9B 勧告の見直し	承認（SG9 へ送 付）	9B/TEMP/117 (Rev.1) 9B/TEMP/119
9B/232	勧告 F.754, F.756 の勧告 F.1103（Rural 地域 用 P-MP 方式の特性）への統合	勧告改訂案とし て承認（SG9 へ送 付）	9B/TEMP/122 (Rev.1)
9B/233	勧告 F.1104 の勧告 F.1490（FWA 方式の要求 条件）への統合	勧告改訂案とし て承認（SG9 へ送 付）	9B/TEMP/120

表 9 WP 9B 入力文書一覧表

文書番号	提出元	題目	出力文書
9B/203 Annex 5 Annex 6 Annex 7	Chairman, WP 9B	Report on the meeting of Working Party 9B (Kobe, Japan, 27 June - 5 July 2006)	9B/TEMP/117(Rev. 1) 9B/TEMP/119 9B/TEMP/123 9B/TEMP/124 9B/TEMP/125
9B/204	WP 9D	Liaison statement to WP's 6J, 4B, 6E, 7C, 7D, 8A, 8B, 8D, 8F, 9B, JTG 6-8-9 and ITU-T SG9 – System characteristics for use in sharing studies with television outside broadcast (TVOB), electronic news gathering (ENG) and electronic field production (EFP) in the fixed service	—
9B/205	WP 8F	Liaison statement to ITU-T Study Group 15 on ANTS (copy for information to ITU-R WP 8A and WP 9B)	—
9B/206	WP 8F	Liaison statement to ITU-D SG2 Q.18/2 & ITU-R Working Parties 7C, 8A, 8D and 9B - Use of IMT systems in case of natural disasters	—
9B/207	WP 8F	Liaison statement to WPs 9B & 9D - Frequency-related matters for IMT-2000 and IMT-Advanced related to WRC-07 Agenda item 1.4	—
9B/208	BR Study Group Department	Recommendation to be brought to the attention of Working Parties 9B and 9D	—
9B/209	BR Study Group Department	Recommendation to be brought to the attention of WPs 8A, 8D, 9B and 9D	—
9B/210	Chairman, WP 9B	Documents submitted to the Working Party 4-9S meeting which should be considered also by Working Party 9B	9B/TEMP/139 9B/TEMP/140
9B/211	Russian Federation	Draft modification of Recommendation ITU-R F.383-7 – Radio-frequency channel arrangement for fixed wireless systems operating in the lower 6 GHz band	9B/TEMP/126 9B/TEMP/131

文書番号	提出元	題目	出力文書
9B/212	WP 8A	Liaison statement to Working Party 9B – Wireless access systems in the mobile service	9B/TEMP/118 (Rev.1)
9B/213	WP 8A	Liaison statement to ITU-T Study Group 15 on ANTS (Copy for information to ITU-R WP 8F and WP 9B)	9B/TEMP/137
9B/214	WP 8A	Liaison statement to Working Parties 6J and 9D copy to 4B, 6E, 7C, 7D, 8B, 8F, 9B, and ITU-T Study Group 9 - System characteristics of television outside broadcast (TVOB), electronic news gathering (ENG) and electronic field production (EFP) in the mobile service	—
9B/215	WP's 3J and 3M	LS to WP 9B - Fixed service application using frequency bands above 3 000 GHz	9B/TEMP/124
9B/216	WP 1B	Liaison statement to WPs 1A, 4A, 4-9S, 6E, 6S, 7B, 7C, 7D, 8A, 8B, 8D, 8F, 9B and 9D – The study of software defined radio and cognitive radio systems in Working Party 1B	9B/TEMP/115 (Rev.1)
9B/217	ITU-T SG 15	New versions of the Access Network Transport (ANT) standards overview and workplan	9B/TEMP/136 9B/TEMP/137
9B/218	ITU-T SG 15	Reply to two Liaison statements on the access network transport standards overview and work plan	9B/TEMP/136 9B/TEMP/137
9B/219	ITU-T SG 16	Liaison statement to TSAG, ITU SGs and eHSCG members on first version of the ITU-T roadmap for telemedicine	—
9B/220	CCV	Liaison statement to Radiocommunication Study Groups and Working Parties - Terminology database	9/163
9B/221	Australia	Preliminary draft new Recommendation ITU-R F. [HAPS-BORDER 47GHz] - PFD limits at international borders for HAPS providing FWA services to protect FS in neighbouring countries in 47.2-47.5 GHz and 47.9-48.2 GHz bands	9B/TEMP/135 (Rev.1)
9B/222	WP 8F	Liaison statement to ITU-T Study Group 15 on ANTS - (Copy for information to ITU-R WP 8A and WP 9B)	9B/TEMP/137
9B/223	WP 8F	Liaison statement to ITU-R Working Party 1B on the study of software defined radio and cognitive	9B/TEMP/115

文書番号	提出元	題目	出力文書
		radio systems in Working Party 1B - (Copy for information to ITU-R WPs 1A, 4A, 4-9S, 6E, 6S, 7B, 7C, 7D, 8A, 8B, 8D, 9B and 9D)	(Rev.1)
9B/224	BR Study Group Department	ITU-R Study Group 8 question to be brought to the attention of Working Parties 1B, 4B, 6E and 9B	—
9B/225	Chairmen, WPs 8A and 9B	Editorial modifications to Recommendation ITU-R M.1653 – Operational and deployment requirements for wireless access systems including radio local area networks in the mobile service to facilitate sharing between these systems and systems in the Earth exploration-satellite service (active) and the space research service (active) in the band 5 470-5 570 MHz within the 5 460-5 725	—
9B/226	Japan	Development of a draft new Report on analytical lists of the F-series and SF-series Recommendations	9/164
9B/227	Russian Federation	Draft modification of Recommendation ITU-R F.386-7 - Radio-frequency channel arrangement for fixed wireless systems operating in the 8 GHz bands	9B/TEMP/127
9B/228	Japan	Considerations on Questions assigned to Working Parties 9A and 9B	9B/TEMP/116
9B/229	Japan	Draft new Report on fixed service applications using bands above 3 000 GHz	9B/TEMP/125
9B/230	Japan	Draft new Report on characteristics and applications of fixed wireless systems operating in bands above 57 GHz	9B/TEMP/123
9B/231	Japan	Review of the old Recommendations within Working Party 9B	9B/TEMP/117 (Rev.1) 9B/TEMP/119
9B/232	Japan	Integration of Recommendation ITU-R F.754 and F.756 with Recommendation ITU-R F.1103 – Basic requirements and technologies for fixed wireless access systems operating in bands below 3 GHz for the provision of wireless subscriber	9B/TEMP/122 (Rev.1)

文書番号	提出元	題目	出力文書
		connections in rural areas	
9B/233	Japan	Integration of Recommendations ITU-R F.1104 with Recommendation ITU-R F.1490 - Generic requirements for fixed wireless access systems	9B/TEMP/120 9B/TEMP/121
9B/234	Italy	Proposed draft modification of Recommendation ITU-R F.386-7 – Radio-frequency channel arrangements for fixed wireless systems operating in the 8 GHz band	9B/TEMP/127
9B/235	Italy	Proposed draft modification of Recommendation ITU-R F.497-6 - Radio-frequency channel arrangements for radio-relay systems operating in the 13 GHz frequency band	9B/TEMP/129
9B/236	Italy	Proposed draft modification of Recommendation ITU-R F.385-8 – Radio-frequency channel arrangements for fixed wireless systems operating in the 7 GHz band	9B/TEMP/130 9B/TEMP/131
9B/237	Republic of Korea	Proposed draft revision of Recommendation ITU-R F.383-7 – Radio-frequency channel arrangement for radio-relay systems operating in the lower 6 GHz band	9B/TEMP/126
9B/238	Korea	Proposed revision of Recommendation ITU-R F.1099-3 – Radio-frequency channel arrangement for high-capacity digital radio-relay systems in 5 GHz (4 400-5 000 MHz) band	9B/TEMP/131 9B/TEMP/133
9B/239	Korea	Proposed revision of Recommendation ITU-R F.746-8 - Radio-frequency arrangement for fixed service systems	9B/TEMP/131
9B/240	China Mobile Communications Corp.	Revision of ITU-R Report F.2086 on technical and operational characteristics and applications of broadband wireless access in the fixed service	9B/TEMP/134
9B/241	Korea	Proposed revision of Recommendation ITU-R F.383-7 - Radio-Frequency Channel Arrangement for High Capacity - Radio-relay Systems Operating in the Lower 6 GHz Band	9B/TEMP/126 9B/TEMP/131

文書番号	提出元	題目	出力文書
9B/242	Korea	Proposed revision of Recommendation ITU-R F.384-9 - Radio-frequency channel arrangements for medium and high capacity digital fixed wireless systems operating in the upper 6 GHz band	9B/TEMP/128 9B/TEMP/131
9B/243	Canada	Frequency block arrangements in the band 2 500-2 690 MHz	9B/TEMP/132
9B/244	USA	Potential suppression of Recommendation ITU-R F.1244 – Radio local area networks	9B/TEMP/118 (Rev.1)
9B/245	List of documents issued	List of documents issued	—
9B/246	WP 6S	Reply to Liaison statement from 1B on the study of software defined radio and cognitive radio systems	9B/TEMP/115 (Rev.1)
9B/247	Chairman, WP 9D	Documents submitted to the Working Party 9D Meeting which should be considered by Working Party 9B	9B/TEMP/138 9B/TEMP/141

表 10 WP 9B 出力文書一覧表

文書番号	題目	提出元	入力文書	処理
9B/TEMP/115 (Rev.1)	DRAFT LIAISON STATEMENT TO ITU-R WORKING PARTY 1B ON THE STUDY OF SOFTWARE DEFINED RADIO AND COGNITIVE RADIO SYSTEMS IN WORKING PARTY 1B (Copy for information to ITU-R WPs 1A, 4A, 4-9S, 6E, 6S, 7B, 7C, 7D, 8A, 8B, 8D and 8F)	SWP 9B-2	9B/216 9B/223 9B/246	リエゾン 送付
9B/TEMP/116	CONSIDERATIONS ON QUESTIONS ASSIGNED TO WORKING PARTY 9B	SWP 9B-1	9B/228	議長報告に 添付し、 継続審議
9B/TEMP/117 (Rev.1)	EDITORIAL MODIFICATIONS TO CERTAIN RECOMMENDATIONS	SWP 9B-1	9B/203 (Annex 5) 9B/231	SG9 へ 送付
9B/TEMP/118 (Rev.1)	DRAFT LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 8A Radio local area networks	SWP 9B-1	9B/212 9B/244	リエゾン 送付
9B/TEMP/119	Proposal for deletion of certain RECOMMENDATIONS WITHIN WORKING PARTY 9B	SWP 9B-1	9B/203 (Annex 5) 9B/231	SG9 へ 送付
9B/TEMP/120	DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R F.1490 Generic requirements for fixed wireless access systems	SWP 9B-1	9B/233	SG9 へ 送付
9B/TEMP/121	LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 8A DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R F.1490 ON GENERIC REQUIREMENTS FOR FIXED WIRELESS ACCESS SYSTEMS	SWP 9B-1	9B/233	SG9 からリ エゾン 送付
9B/TEMP/122 (Rev.1)	DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R F.1103 Basic requirements and technologies for fixed wireless access systems operating in bands below 3 GHz for the provision of wireless subscriber con-	SWP 9B-1	9B/232	SG9 へ 送付

文書番号	題目	提出元	入力文書	処理
	nections in rural areas			
9B/TEMP/123	DRAFT NEW REPORT Characteristics and applications of fixed wireless systems operating in the 57 GHz to 95 GHz band	SWP 9B-2	9B/203 (Annex 6) 9B/230	SG9 へ 送付
9B/TEMP/124	LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTIES 3J AND 3M FIXED SERVICE APPLICATIONS USING FREQUENCY BANDS ABOVE 3 000 GHz	SWP 9B-2	9B/215	リエゾン 送付
9B/TEMP/125	DRAFT NEW REPORT Fixed service applications using free space optical links	SWP 9B-2	9B/203 (Annex 7) 9B/229	SG9 へ 送付
9B/TEMP/126	DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R F.383-7 Radio-frequency channel arrangements for high capacity fixed wireless systems operating in the lower 6 GHz (5 925 to 6 425 MHz) band	SWP 9B-2	9B/211 9B/237 9B/241	SG9 へ 送付
9B/TEMP/127	DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R F.386-7 Radio-frequency channel arrangements for fixed wireless systems operating in the 8 GHz (7 725 to 8 500 MHz) band	SWP 9B-2	9B/227 9B/234	SG9 へ 送付
9B/TEMP/128	DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R F.384-9 Radio-frequency channel arrangements for medium and high capacity digital fixed wireless systems operating in the upper 6 GHz (6 425-7 125 MHz) band	SWP 9B-2	9B/242	SG9 へ 送付
9B/TEMP/129	DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R F.497-6 RADIO-FREQUENCY CHANNEL ARRANGEMENTS FOR FIXED WIRELESS SYSTEMS OPERATING IN THE 13 GHz (12 750-13 250 MHz)	SWP 9B-2	9B/235	SG9 へ 送付

文書番号	題目	提出元	入力文書	処理
	FREQUENCY BAND			
9B/TEMP/130	DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R F.385-8 Radio-frequency channel arrangements for fixed wireless systems operating in the 7 GHz (7 110-7 900 MHz) band	SWP 9B-2	9B/236	SG9 へ 送付
9B/TEMP/131	DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R F.746 8 Radio-frequency arrangements for fixed service systems	SWP 9B-2	9B/211 9B/236 9B/238 9B/239 9B/241 9B/242	SG9 へ 送付
9B/TEMP/132	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW RECOMMENDATION ITU R F.[FWA-2.5 GHz] Frequency block arrangements for fixed wireless access systems in the range 2 500-2 690 MHz	SWP 9B-2	9B/243	議長報告に 添付し、 継続審議
9B/TEMP/133	DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R F.1099-3 Radio-frequency channel arrangements for high-capacity digital fixed wireless systems in the 5 GHz (4 400-5 000 MHz) band	SWP 9B-2	9B/238	SG9 へ 送付
9B/TEMP/134	PRELIMINARY DRAFT REVISION OF REPORT ITU-R F.2086 Technical and operational characteristics and applications of broadband wireless access in the fixed service	SWP 9B-2	9B/240	議長報告に 添付し、 継続審議
9B/TEMP/135 (Rev.1)	DRAFT NEW RECOMMENDATION ITU R F.[HAPS-BORDER 47 GHz] Pfd limits at international borders for HAPS providing fixed wireless access services to protect FS in neighbouring countries in the 47.2-47.5 GHz and 47.9-48.2 GHz bands	Joint Ad Hoc group 9B-9D/HAPS	9B/221	SG9 へ 送付

文書番号	題目	提出元	入力文書	処理
9B/TEMP/136	LIAISON TO ITU-T STUDY GROUP 15 ON ANT ISSUES ELEMENTS FOR WORKING PARTY 9B CHAIRMAN'S REPORT	Drafting Group 9B-ANT	9B/217 9B/218	議長報告に反映
9B/TEMP/137	LIAISON STATEMENT TO ITU-T STUDY GROUP 15 COPY FOR INFORMATION TO WORKING PARTIES 8A AND 8F	Drafting Group 9B-ANT	9B/213 9B/217 9B/218 9B/222	リエゾン送付
9B/TEMP/138	PRELIMINARY DRAFT NEW QUESTION ITU-R [COMP/9] Guidelines for addressing compatibility between fixed service systems, operating in neighbouring countries in the frequency range above 1 GHz	Drafting Group 9B-COMP	9B/247	議長報告に添付し、継続審議
9B/TEMP/139	PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R F.[HAPS-FS] Consideration of technical aspects related to regulatory procedures for effecting coordination or seeking agreement and associated technical criteria and system characteristics to be used with respect to HAPS	Joint Ad Hoc group 9B-9D/HAPS	9B/210 (4-9S/153) (4-9S/154) 4-9S/166 (Annex 8)	議長報告に添付し、継続審議
9B/TEMP/140	[DRAFT] LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 4-9S [Preliminary] Draft New Report ITU-R F.[HAPS-FS] on Consideration of Technical Aspects Related to Regulatory Procedures for Effecting Coordination or Seeking Agreement and Associated Technical Criteria and System Characteristics to be used with respect to HAPS	Joint Ad Hoc group 9B-9D/HAPS	9B/210 (4-9S/153) (4-9S/154) 4-9S/166 (Annex 8)	破棄
9B/TEMP/141	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW RECOMMENDATION ITU-R F.[COMPATIBILITY] Guidelines for addressing compatibil-	Drafting Group 9B-COMP	9B/247	議長報告に添付し、継続審議

SG9 関連会合（2007 年春期）

文書番号	題目	提出元	入力文書	処理
	ity between fixed service systems, operating in neighbouring countries in the frequency range above 1 GHz			

Working Party 9C 報告書（案）

1 WP 9C

WP 9C は 30 MHz 以下の固定業務を扱っている。

1.1 会議の概要

WP 9C の会合は、2007 年 5 月 14 日（月）から 5 月 16 日（水）の 3 日間、スイス（ジュネーブ市）において開催された。

本会議には 21 の主管庁、ITU 及び認められた私企業等から 41 名が参加した。日本からは 3 名が出席した。

議長は、N. Serinken（カナダ）が担当し、WP のもとに 3 つの Sub-WP を設置し、8 件の寄与文書（日本からの寄与文書：3 件）について審議を行い、新勧告案 1 件、リエゾン文書 2 件、その他 1 件の合計 4 件の出力文書（TEMP Doc.）を作成した。

2 審議体制

WP 9C の審議体制を表 1 に示す。

表 1 WP 9C の審議体制

会合名	議長	担務内容
WP9C	N. Serinken（カナダ）	30 MHz 以下での固定業務
SWP9C-1	C. Glass（米国）	・ HF アドバンスドシステムに関する勧告
SWP9C-2	S. Ward（米国）	・ WP9C の古い勧告の削除 ・ HF 適応システムに関する勧告策定のための協力の要請
SWP9C-3	M. Christensen（カナダ）	・ 4-10MHz 帯の分配見直し ・ 3-50MHz 帯における HF surface レーダーの技術及び運用に関する特性(Question 240/8 関連)

3 審議概要

3.1 SWP 9C-1 : Advanced HF 通信システムに関する新勧告案

SWP 9C-1 では C.Glass（米国）が議長を担当し、Advanced HF 通信システムについて 1 件の入力文書（米国）を審議し、1 件の出力文書を作成した。

入力文書：9C/150(米国)、9C/107(Annex 5（前回議長報告）)

出力文書：9C/TEMP/75

前回会合において、新勧告暫定案に向けた作業文書（Doc.9C/107、Annex5）が作成され、継続審議案件となっていた。

今回会合では、米国より入力された Advanced HF 通信システムに関する新勧告化提案(Doc. 9C/50) について審議した。

SWP の段階では、エディトリアルな修正を踏まえて、新勧告[暫定]案（Doc. 9C/TEMP/75）としてプレナリー会合へ送付し、出力文書のステイタスを含めて審議することとした。

プレナリー会合では、日本から、「本 TEMP 文書のベースとなる Doc. 9C/107 Annex5 には全く情報が入っておらず、今回、米国が提案した内容は全く新しい内容である。従って、各国において専門家を通じて内容を精査する必要があると想定されることから、新勧告案として承認するにはもう少し時間を要する。」との発言があり、フランス及び英国が本発言をサポートした。

しかしながら、米国から、「本件については既に数年間が経過しており、その間十分な時間があったはずである。」との発言があり、WP9C 議長もこれをサポートしたため、最終的には、当初 TEMP 文書にあった DRM(Digital Radio Mondiale)に関する記述を大幅に削減するなどの見直しを行なって、米国の主張に従い、新勧告案として SG9 会合へ送付されることが承認された。

3.2 SWP 9C-2 : WP9C の古い勧告の削除及び HF 適応システムに関する勧告策定のための協力の要請

SWP 9C-2 では S.Ward（米国）が議長を担当し、WP9C の古い勧告の削除および HF 適応システムに関する勧告策定のための協力の要請に関する入力文書を審議し、1 件の出力文書を作成した。

（1）WP9C の古い勧告の削除

入力文書：9C/148(日本)

出力文書：9C/TEMP/74

日本より入力された、前回改訂から 10-15 年以上経過した古い勧告の削除 6 件を提案する寄与文書（Doc. 9C/148）について審議した。SWP での審議の結果、削除する勧告をリストアップした TEMP 文書（Doc. 9C/TEMP/74）が作成され、プレナリー会合へ送付された。

プレナリー会合においても、本件については特段の反対もなく承認された。

（2）HF 適応システムに関する勧告策定のための協力の要請

入力文書：9C/149(日本)
出力文書：なし（議長報告に反映）

日本から入力された HF 適応システムに関する勧告策定のため、既に当該技術を有している国及び地域グループに対して協力を要請する寄与文書（Doc. 9C/149）について審議した。本件は今後も継続して議論されるべき課題であると認識され、今回の WP9C 議長報告に反映することが承認された。

3.3 SWP9C-3：4-10MHz 帯の分配見直し

SWP 9C-3 では M.Christensen(加)が議長を担当し、4-10MHz 帯の分配見直し、3-50MHz 帯における HF surface レーダーの技術及び運用に関する特性に関する入力文書を審議し、1 件の出力文書を作成した。

入力文書：9C/151(英)、152(WP6E)
出力文書：9C/TEMP/73

(1) 4-10MHz 帯における周波数の共用と分配に関する検討（ITU-R M.2080 関連）

昨年 9 月に WP 8 A、8 B、9 C の joint sub-group が開催され、「4-10MHz 帯における周波数共用と分配に関する検討」について審議が行われた。審議の結果、同検討事項に関するレポート（ITU-R M.2080）が策定されたところである。

本会合では、英国から入力された本レポートを修正する旨の寄与文書（Doc. 9C/151）及び WP 6 E から入力された同レポートの情報の更新に係るリエゾン文書（Doc. 9C/152）の 2 件の文書について審議し、WP 8 B へ送付する 1 件のリエゾン文書案（Doc. 9C/TEMP/73）を出力した。

(2) 3-50MHz 帯における HF surface レーダーの技術及び運用に関する特性（Question240/8 関連）

入力文書：9C/146(BR)
出力文書：9C/TEMP/72

前回の SG 8 において「3-50MHz 帯における HF surface レーダーの技術及び運用に関する特性」が新たな研究課題として採択されたため、無線通信局事務局より同周波数帯に関連する各 WP へ注意喚起を示す寄与文書（Doc. 9C/146）が入力された。研究課題の提案元である WP8B に対し、同研究課題に対する WP 8 B での検討状況について今後も注視し、新たな情報提供を求める旨のリエゾン文書（Doc. 9C/TEMP/72）を WP 8 B へ送付されることが承認された。

4 今後の WP9C の課題

- HF 適応システム新勧告暫定案の充実
- 課題 ITU-R 240/9 対応（誤り特性関連 新勧告暫定案作成作業の継続作業）
- 災害救援関係報告書作業継続
- 適応システムの入門ハンドブック作成作業の継続

5 次回会合予定（SG の再編が行われると想定されるため、暫定情報）

2008 年 4 月 9 日- 15 日 及び、10 月 14 日-20 日

表 2 WP 9C 日本入力寄与文書の審議結果

文書番号	題目	審議結果	出力文書
9C/147	F-series /SF-series 勧告の分析リストに関する新報告の策定	本件は 9A, 9B,9C, 9D,4-9S の全てに関連することから、SG9 Steering Meeting において、タイトル、Scope を追加した形式で、WP 議長および事務局によって出力案を作成し、Status of the text に反映することが決定された。	9/164
9C/148	旧い WP9C 勧告の見直し	提案通り承認され、SG9 会合へ送られた。	9C/TEMP/74
9C/149	HF適応通信システムの新勧告策定に関する要請	議長報告に本勧告策定に向けて継続審議する旨、記述。	—

表 3 入力文書一覧表

文書番号	提出元	題目	出力文書
9C/144	Chairman WP9C	Chairman's Report –Meeting 7-13 September 2006	—
9C/145	CCV	Liaison statement to Radiocommunication Study Group and Working Parties – Terminology database	—
9C/146	BR, SG Department	ITU-R Study Group 8 Question to be brought to the attention of Working Parties 6E, 7C and 9C	9C/TEMP/72
9C/147	Japan	Department of a draft new report on analytical lists of the F-series and SF-series Recommendations	—
9C/148	Japan	Review of the old Recommendations within Working Party 9C	9C/TEMP/74
9C/149	Japan	Request for developing a new recommendation for HF adaptive communication systems	—
9C/150	United States of America	Working document toward a draft new Recommendation; characteristics of advanced High Frequency (HF) systems	9C/TEMP/75
9C/151	United Kingdom	Review of Report ITU-R M.2080 – Consideration of sharing conditions and usage in 4-10MHz band	9C/TEMP/73
9C/152	WP6E	Liaison statement to Working Parties 8A, 8B and 9C – Review of Report ITU-R M.2080 - Consideration of sharing conditions and usage in 4-10MHz band	

表 4 WP 9C 出力文書一覧表

文書番号	題目	提出元	入力文書	処理
9C/TEMP/72	[DRAFT]LIAISON STATEMENT TO WP8B (For information to WP7C, WP8A and WP6E) - <i>Consideration of sharing with High Frequency surface wave radar systems</i>	SWP9C-1	9C/146	リエゾン送付
9C/TEMP/73	LIAISON STATEMENT TO WP8B (For information to WP8A and WP6E) - <i>Consideration of sharing issues in the 4-10MHz band and possible update of report ITU-R M.2080</i>	SWP9C-3	9C/151 9C/152	リエゾン送付
9C/TEMP/74	<i>Review of Existing Recommendations within working party 9C</i>	SWP9C-2	9C/148	SG9 へ送付
9C/TEMP/75	DRAFT NEW RECOMMENDATION ITU-R F.[HF ADVANCED SYSTEMS]	SWP9C-1	Annex 5 to 9C/107 9C/150	新勧告案として SG9 へ送付

Working Party 9D 報告書（案）

1 WP 9D

WP 9D は、固定業務とその他の業務（固定衛星業務を除く）との周波数共用を扱っている。

1.1 会議の概要

WP 9D の会合は、2007 年 5 月 8 日（火）から 5 月 14 日（月）まで、ジュネーブの ITU 本部において開催された。

本会議には 37 の主管庁及び認められた私企業等から合計 74 名が参加した。日本からは 6 名が出席した。

議長は Glass 氏（アメリカ）が担当し、WP のもとに 4 つの Sub-WP と 1 つの Joint ad hoc Group を設置し、28 件の寄与文書（日本からの寄与文書 4 件）について審議を行い、8 件の出力文書（新勧告案 1 件、新報告案 1 件、新勧告暫定案 1 件、新研究課題暫定案 1 件、作業文書 3 件、リエゾン文書 1 件）を作成した。

2 審議体制

WP 9D の審議体制を表 1 に示す。

表 1 WP 9D の審議体制

会合名	議長	担務内容
WP 9D	C. Glass（米国）	固定業務とその他の業務（固定衛星業務を除く）との周波数共用
SWP 9D-1	J. Pla（フランス）	宇宙科学業務との共用
SWP 9D-2	R. Bunch（豪州）	勧告 F.758 の改訂、レポート作成
SWP 9D-3	S. Ward（米国）	既存勧告と研究課題の見直し
SWP 9D-4	M. Christensen（カナダ）	その他の事項
Joint Ad Hoc Group 9B-9D/HAPS*	T. Morisaki（日本）	HAPS 関連

(*) High Altitude Platform Station（高高度プラットフォーム局）

3 審議概要

3.1 SWP 9D-1

SWP 9D-1 では Pla 氏（フランス）が議長を担当し、宇宙科学業務との周波数共用につい

て 10 件の入力文書を審議し、1 件の出力文書を作成した。

(1) 10.6-10.68GHz 及び 36-37GHz における EESS と FS の共用関連

・ 新勧告暫定案

入力文書：9D/219 Annexes 5,6,8,9（議長報告）、229（CCV）、243（仏）、244（加）

出力文書：9D/TEMP/128

10.6GHz 帯及び 36GHz 帯における地球探査衛星（EESS）と固定業務（FS）の共用検討に関して、前回議長報告の作業文書（9D/219 Annexes 5,6）及びフランス、カナダからの入力文書（9D/243,244）をベースにした新勧告案化に対して、スウェーデンから記載事項（特に FS の P-P/P-MP システムの最大送信出力値）について承認できないため、今回の勧告化は早いとのコメントがあった。これをロシア、アメリカが支持した。アメリカからは、（本件は WRC-07 議題 1.2 に関連するので）今回会合での勧告化が見送られれば、実質、新勧告とはならない可能性があるといったコメントもあった。3 回の SWP での審議の結果、新勧告案化は見送られ新勧告暫定案（9D/TEMP/128）として議長報告に添付することとなった。スウェーデンから新勧告暫定案の表中に記載されているアンテナ仰角値、最大送信出力値に合意が取れていないことを意味する[]（スクエアブラケット）をつけるよう要求があったが、フランス（SWP 議長 Pla 氏）から新勧告暫定案自体が[]（スクエアブラケット）の要素（合意が得られていない要素）があるとのコメントがあり、WP 9D 議長報告のテキストにコメントとして記述することとなった。

・ リエゾン文書

入力文書：9D/221（WP 7C）、227（WP 8A）、232（WP 7C）

出力文書：なし

WRC-07 議題 1.2 に関連する他 WP からの以下のリエゾン文書に対して、今回の WP 9D 会合では WRC-07 議題 1.2 に関連する 10.6GHz 帯及び 36GHz 帯における EESS と FS の共用に関する新勧告案が勧告化されなかったため、リエゾン文書の送付を行わないこととした。

- ・ 9D/221：WP 7C からの CPM テキストの作成完了を伝える情報提供文書
- ・ 9D/227：WP 8A からの WP 7C が作成した CPM テキストに対するコメントのコピー文書
- ・ 9D/232：WP 7C からの新報告案 2 件、新勧告案 1 件を作成したことを伝える情報提供文書

3.2 SWP 9D-2

SWP 9D-2 では Bunch 氏（オーストラリア）が議長を担当し、勧告 F.758 の改訂関連について 7 件の入力文書を審議し、2 件の出力文書を作成した。

(1) F.758 関連

・ 勧告改訂

入力文書：9D/219 Annex 7（議長報告）、229（CCV）、239（日）、245（米）

出力文書：9D/TEMP/133

固定業務の周波数共用基準と方式パラメータに関する勧告 F.758 において、パラメータを代表的なものに限定する改訂作業が行われており、これに対して、日本からの寄与文書（9D/239）

・ 前回会合までの文書をもとに、同一帯域共用以外の干渉条件を「compatibility」とする修正

・ 勧告改訂案に掲載するシステムと適合しない Annex の削除

・ 干渉基準の整理、記述の明確化

及び、アメリカからの寄与文書（9D/245）

・ maximum antenna gain 等パラメータの不明確な箇所に対する検討の必要性を提唱

・ 方式パラメータ Table の foot note の整理

・ other source からの干渉の記述削除

の両方をベースにドラフティングが行われ、勧告の Scope として、イタリア等の意見を入れて「一次業務間の共用」以外の干渉条件も取り扱うこととした。このため、テキスト全体について当面 Compatibility の記述は残された。方式パラメータ Table については「代表的なシステム」の表現を「typical system」から「representative system」とした勧告改訂暫定案に向けた作業文書（9D/TEMP/133）が作成され、議長報告に添付することとなった。第 1 回 SWP で日本から本勧告は重要な情報を含んでおり、今会期中の勧告化が望ましいことをコメントした。カナダからも賛同が得られたが、アメリカからパラメータの規定方法などに検討事項があるとのコメントもあり、3 回の SWP 及び 1 回の DG を行った結果、検討課題が残ったため、次会期において継続検討することとなった。

・ 固定業務パラメータの新報告案

入力文書：9D/219 Annex 4（議長報告）、229（CCV）、241（日）

出力文書：9D/TEMP/129(Rev. 1)

勧告 F.758 の改訂と並行して勧告 F.758 の 1,2,3 版のシステムパラメータを周波数ごとにまとめた新報告の作成を行っており、日本入力文書（9D/242）をベースにドラフティング作業が行われ、日本提案が全面的に反映された新報告案（9D/TEMP/129(Rev.1)）が作成され、タイトルにある「characteristics」を「parameters」とし、Foot Note の修正等のエディトリアルな修正を行うことで、新報告案として承認された。

3.2 SWP 9D-3

SWP 9D-3 では Ward 氏（アメリカ）が議長を担当し、既存勧告と研究課題の見直しについて 8 件の入力文書を審議し、2 件の出力文書を作成した。

(1) 勧告 F.1336 の改訂関連

入力文書：9D/242（日）

出力文書：9D/TEMP/126

勧告 ITU-R F.1336（1-70GHz 帯で共用検討に用いる Point-to-multipoint 方式用オムニ・セクターアンテナの基準放射パターン）の改訂に関する日本からの寄与文書（9D/242）において、現行の勧告案にある計算式の場合にある角度（水平 180 度、垂直 0 度近傍）でアンテナ利得の計算結果が不連続となるため修正の必要があると提案した。前回会合で改訂されたばかりの勧告であり、また精査が必要なことから今後の検討事項とする提案に対して、イギリスから「日本の示した不連続性の計算結果には問題ない」とのコメントがあり、フランスからも更に詳しく検討したい旨のコメントがあり、次会期で継続検討することとなった。日本寄与文書がほぼそのまま反映された勧告改訂に向けた作業文書（9D/TEMP/126）を議長報告に添付することが承認された。

(2) SDR 関連

入力文書：9D/228（WP 1B）、233（WP 8F）、247（WP 6S）

出力文書：9D/TEMP/127

ソフトウェア無線及びコグニティブ無線に関する WP 9B との Joint ドラフティンググループ（議長：Ward 氏（アメリカ））が設けられた。ソフトウェア無線、コグニティブ無線に関する新研究課題暫定案に対してコメントを求める WP 1B からのリエゾン文書（9D/228）に対して、これらの無線方式は ITU-R で「定義」がなされていないこと、WP1B での研究はスペクトラム管理側面について行なうべきで、それは方式グループ（例えば WP 9B）でのシステムに関する検討とも関連があるため、次会期にその進展を見て行なうべきであるとのリエゾン文書（9D/TEMP/127）を送付することとなった。

(3) その他

入力文書：9D/223（BR）、224（BR）、235（BR）、236（BR）

出力文書：なし

BR からの注意喚起を求める以下の入力文書に対して、特にコメントがなく note するに留めた。

- ・ 9D/223：HAPS と IMT-2000 基地局との離隔距離に関する勧告 ITU-R M.1641 に対する注意喚起
- ・ 9D/224：5150-5250MHz における陸上無線システムから移動衛星業務への干渉基準の決定に関する勧告 ITU-R S.1427 に対する注意喚起
- ・ 9D/235：インタラクティブ衛星放送システムに関する SG6 の研究課題 ITU-R 26-1/6 に対する注意喚起
- ・ 9D/236：移動衛星業務における非静止軌道衛星の利用に関する SG8 の研究課題 ITU-R 84-4/8 に対する注意喚起

3.3 SWP 9D-4

SWP 9D-4 では Christensen 氏（カナダ）が議長を担当し、その他、固定業務との共用について 6 件の入力文書を審議し、2 件の出力文書を作成した。

(1) Cross-border での調整手法

入力文書：9D/229（CCV）、238（露）、240（露）

出力文書：9D/TEMP/130、131

ロシアから「近隣国において 1GHz 以上の周波数帯で運用される他の地上業務システムと固定業務システムとの調整手法」に関する新研究課題暫定案(9D/238)、新勧告に向けた作業文書(9D/240)が入力された。本文書は内容が固定業務間の干渉問題を扱っており、WP9B の所掌となるため二つの入力文書は WP9D 議長から WP9B へ回された。しかし提案国ロシアには、将来研究課題の範囲を固定業務と他業務との干渉・調整問題にも拡張したいとの意向があったため、原提案の表現を見直し WP9D でも独自に出力文書を作成することとし、以下の Drafting 作業が行なわれた。

スウェーデンの提案によりタイトルに「Guidance」をつけることとし、イスラエルより 1GHz 以上である必要性について質問があり、タイトルから「1GHz 以上」の記述を削除することとした。また、WP9D 全体会合では新研究課題案の採択について、シリア、アメリカから研究課題の内容について更に精査する必要があるとのコメントがあり、今回会合では、新研究課題暫定案(9D/TEMP/130)とすることとし、新勧告に向けた作業文書(9D/TEMP/131)とともに議長報告に添付することとなった。

(2) リエゾン文書関連

入力文書：9D/222（WP 8F）、226（WP 8A）、233（WP 8F）

出力文書：なし

450MHz 帯の共用についてコメントを求めるリエゾン文書(9D/222)、TVOB 関連の新勧告暫定案へのコメントを求めるリエゾン文書(9D/226)、コピー文書であるリエゾン文書(9D/233)に対して、特に対処しないこととした。

3.4 Joint Ad Hoc Group (HAPS)

議題 1.8(HAPS)に関する WP 9B との Joint Ad Hoc グループが設けられ、森崎氏（日本）が議長を担当し、6 件の入力文書を審議し、1 件の出力文書を作成した。

(1) 新勧告案 F.[HAPS-RAS 47 GHz]

入力文書：230（豪）、234（WP 7D）

出力文書：9D/TEMP/132

47/48 GHz 帯での HAPS の帯域外放射から電波天文業務を保護するための、HAPS 地表面ポイント(nadir)と電波天文局間の最小離隔距離に関する新勧告案である。暫定新勧告案(PDNR)の段階を経ずに直接新勧告案(DNR)として提案されたが、次の状況を考慮して本アドホックグループは特に異論も無く新勧告案として合意した。

- ・ 非干渉側の WP7D から特に問題は無いとのリエゾン (Doc. 9D/230) が入力されている。
- ・ WRC-07 の議題 1.8 に関連している。

WP9D プレナリーでも特に反対は無く DNR として承認された。

(2) その他

入力文書：9D/219 Annex 3（議長報告）、220（豪）、229（CCV）、231（豪）

出力文書：なし

これらの文書は参考情報として入力されたので特に審議はされなかった。

3.5 その他

(1) 勧告 F シリーズ/SF シリーズの分析リスト

入力文書：9D/237（日）

出力文書：9/164

各 WP に入力した日本から F シリーズ勧告及び SF シリーズ勧告をトピックス別に配列した新報告の作成を提案する入力文書（9D/237）については、入力文書の提案に基づき、SG9 ステアリングミーティングにおいて議論された。その結果、各 WP での作業は行わず、WP 議長及び事務局で作業することとなり、勧告のタイトルのみではなく Scope も加えたリストとし、新報告ではなく、SG 会合時に発行される「Status of text」の Annex としてデータベース化されることとなった。

(2) 研究課題

研究課題 ITU-R 232/9 (Assessment of sharing and mitigation options to facilitate

the use of the band 3 400-3 700 MHz by certain fixed wireless access and radio-location systems) の削除が承認された。

4 今後の予定

次回会合は、SG 再編があるため、暫定の予定であることを前提として、2007 年 4 月 8 日から 4 月 16 日とアナウンスされた。

表 2 WP 9D 日本入力寄与文書の審議結果

文書番号	題目	審議結果	出力文書
9D/237	Development of a draft new Report on analytical lists of the F-series and SF-series Recommendations	承認 (ステアリングミーティングで議論)	9/164
9D/239	Draft revision of Recommendation ITU-R F.758	議長報告 (作業文書)	9D/TEMP/133
9D/241	Development of a draft new Report on FS characteristics for different frequency bands	承認 (SG9 での審議)	9D/TEMP/129 (Rev. 1)
9D/242	Preliminary draft modifications to Recommendation ITU-R F.1336-2 - Reference radiation patterns of omnidirectional, sectoral and other antennas in point-to-multipoint systems for use in sharing studies in the frequency range from 1 GHz to about 70 GHz	議長報告 (作業文書)	9D/TEMP/126

表 3 WP 9D 入力文書一覧表

文書番号	提出元	題目	出力文書
9D/219 Annex 3 Annex 4 Annex 5 Annex 6 Annex 7 Annex 8 Annex 9	Chairman, WP 9D	Report on the meeting of Working Party 9D (Kobe, 27 June to 5 July 2006)	9D/TEMP/128 9D/TEMP/129 (rev.1) 9D/TEMP/133
9D/220	Australia	Sharing study towards pfd limits at international borders for HAPS providing FWA services in 47.2-47.5 GHz and 47.9-48.2 GHz bands to protect FS in neighbouring countries	-
9D/221	WP 7C	Liaison statement to Working Party 9D - Studies relating to Agenda item 1.2 and draft CPM Report text	-
9D/222	WP 8F	Liaison statement to WPs 9B & 9D - Frequency-related matters for IMT-2000 and IMT-Advanced related to WRC-07 Agenda item 1.4	-
9D/223	BR Study Group Department	Recommendation to be brought to the attention of Working Parties 9B and 9D	-
9D/224	BR Study Group Department	Recommendation to be brought to the attention of WPs 8A, 8D, 9B and 9D	-
9D/225	WP 3M	Liaison statement to Working Parties 1A, 1C, 4A, 4-9S, 6E, 7B, 7C, 7D, 8A, 8B, 8F, 9A and 9D - Spreadsheet implementation of the clear-air portion of Recommendation ITU-R P.452-12	-
9D/226	WP 8A	Liaison statement to Working Parties 6J and 9D copy to 4B, 6E, 7C, 7D, 8B, 8F, 9B, and ITU-T Study Group 9 - System characteristics of television outside broadcast (TVOB), electronic news gathering (ENG) and electronic field production (EFP) in the mobile service	-
9D/227	WP 8A	Liaison statement to Working Party 7C - For information to Working Parties 4A, 6J and 9D - Results of the studies relating to Agenda item 1.2 and draft CPM Report text	-

9D/228	WP 1B	Liaison statement to WPs 1A, 4A, 4-9S, 6E, 6S, 7B, 7C, 7D, 8A, 8B, 8D, 8F, 9B and 9D - The study of software defined radio and cognitive radio systems in Working Party 1B	9D/TEMP/127
9D/229	CCV	Liaison statement to Radiocommunication Study Groups and Working Parties - Terminology database	-
9D/230	Australia	Preliminary draft new Recommendation ITU-R F. [HAPS- RAS 47GHz] - Protection of RAS in 48.94-49.04 GHz band from Out-of-Band emissions from HAPS in 47.2-47.5 GHz and 47.9-48.2 GHz bands	9D/TEMP/132
9D/231	Australia	Preliminary draft new Recommendation ITU-R F. [HAPS-BORDER 47GHz] - PFD limits at international borders for HAPS providing FWA services to protect FS in neighbouring countries in 47.2-47.5 GHz and 47.9-48.2 GHz bands	9D/TEMP/132
9D/232	WP 7C	Liaison statement to Working Party 8A and WP 9D - Results of the studies relating to Agenda item 1.2	-
9D/233	WP 8F	Liaison statement to ITU-R Working Party 1B on the study of software defined radio and cognitive radio systems in Working Party 1B - (Copy for information to ITU-R WPs 1A, 4A, 4-9S, 6E, 6S, 7B, 7C, 7D, 8A, 8B, 8D, 9B and 9D)	9D/TEMP/127
9D/234	WP 7D	Liaison statement to Working Parties 4-9S and 9D - Preliminary draft new Recommendation ITU-R F.[HAPS-RAS 47GHz] - Protection of the radio astronomy service in the 48.94-49.04 GHz band from unwanted emissions from HAPS in the 47.2-47.5 GHz and 47.9-48.2 GHz bands	9D/TEMP/132
9D/235	BR Study Group Department	ITU-R Study Group 6 Question to be brought to the attention of Working Parties 4B, 8D and 9D	-
9D/236	BR Study Group Department	ITU-R Study Group 8 Question to be brought to the attention of Working Parties 4A, 7B, 7C and 9D	-
9D/237	Japan	Development of a draft new Report on analytical lists of the F-series and SF-series Recommendations	9/164

9D/238	Russian Federation	Proposal to develop a preliminary draft new Question ITU-R [COORD/9] "Methodology for the cross-border coordination of fixed service systems and networks"	9D/TEMP/130
9D/239	Japan	Draft revision of Recommendation ITU-R F.758	9D/TEMP/133
9D/240	Russian Federation	Proposal for the working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R F.[COORD] "methodology for the cross-border coordination of fixed service systems and networks operating in the frequency range above 1 GHz"	9D/TEMP/131
9D/241	Japan	Development of a draft new Report on FS characteristics for different frequency bands	9D/TEMP/129 (Rev.1)
9D/242	Japan	Preliminary draft modifications to Recommendation ITU-R F.1336-2 - Reference radiation patterns of omnidirectional, sectoral and other antennas in point-to-multipoint systems for use in sharing studies in the frequency range from 1 GHz to about 70 GHz	9D/TEMP/126
9D/243	France	Preliminary Draft new Recommendation - Technical and operational characteristics of systems in the fixed service to facilitate sharing with the Earth exploration-satellite (passive) and space research (passive) services in the bands 10.6-10.68 GHz and 36-37 GHz	9D/TEMP/128
9D/244	Canada	Technical and operational characteristics of systems in the fixed service to facilitate sharing with the Earth exploration-satellite (passive) and space research (passive) services in the band 10.6-10.68 GHz	9D/TEMP/128
9D/245	United States	Contribution to the working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R F.758-4 - Considerations in the development of criteria for sharing between digital fixed wireless systems (FWS) in the fixed service and other services	9D/TEMP/133
9D/246	-	List of documents issued	-
9D/247	WP 6S	Reply to Liaison statement from 1B on the study of software defined radio and cognitive radio systems	9D/TEMP/127

表 4 WP 9D 出力文書一覧表

文書番号	題目	提出元	入力文書	処理
9D/TEMP/126	Working document towards preliminary draft revised Recommendation modifications to Recommendation ITU-R F.1336-2	SWP 9D-3	9D/242	作業文書 として議長 報告添付
9D/TEMP/127	Draft liaison statement to ITU-R WP 1B on the study of software defined radio and cognitive radio systems in WP 1B	Joint Ad-Hoc WP 9B/9D (SDR)	9D/228 9D/233 9D/247	リエゾン送 付
9D/TEMP/128	Preliminary draft new Recommendation - Technical and operational characteristics of systems in the fixed service to facilitate sharing with the Earth exploration-satellite (passive) and space research (passive) services in the bands 10.6-10.68 GHz and 36-37 GHz	SWP 9D-1	9D/219 Ann. 5 9D/219 Ann. 6 9D/243 9D/244	新勧告暫 定案として 議長報告 添付
9D/TEMP/129 (Rev.1)	Draft new Report ITU-R F.[FS Parameters] - Fixed service system parameters for different frequency bands	SWP 9D-2	9D/123 Ann. 8 9D/219 Ann. 4 9D/241	SG9へ送 付
9D/TEMP/130	Draft new Question ITU-R [SHARING/9] - Guidance for reaching agreement between administrations on sharing between fixed service systems and systems of other terrestrial services operating in the neighbouring countries in the frequency range about 1 GHz	SWP 9D-4	9D/238	新研究課 題暫定案 として議長 報告添付
9D/TEMP/131	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R F.[SHARING]	SWP 9D-4	9D/240	作業文書 として議長 報告添付
9D/TEMP/132	Draft new Recommendation ITU-R F.[HAPS-RAS 47GHz] - Protection of the radio astronomy service in the 48.94-49.04 GHz band from unwanted emissions from HAPS in the 47.2-47.5 GHz and 47.9-48.2 GHz bands	Joint Ad-Hoc WP 9B/ 9D (HAPS)	9D/234	SG9へ送 付
9D/TEMP/133	Working document towards a preliminary draft revision to Recommendation ITU-R F.758-4 - Considerations in the development of criteria for sharing or compatibility between digital fixed wireless systems in	SWP 9D-2	9D/219 Ann. 7 9D/239 9D/245	作業文書 として議長 報告添付

SG9 関連会合（2007 年春期）

文書番号	題目	提出元	入力文書	処理
	the fixed service and systems in other services and other sources of interference			

Study Group 9 会合報告（案）

1 SG9

SG9 は、固定業務全般を扱っている。

1.1 会議の概要

SG9 の会合は、2007 年 5 月 17 日（木）～5 月 18 日（金）、ジュネーブの ITU 本部において開催された。

本会議には 29 の主管庁及び認められた私企業等から合計 63 名が参加し、日本からは 5 名が出席した。4 つの WP からの提案文書を中心に、39 件の入力文書（日本提案関連文書 12 件）について審議を行い、新勧告案 3 件、勧告改訂案 13 件、新報告案 3 件を採択した。本会合の最後に SG9 議長 Minkin 氏（ロシア）より退任の挨拶が述べられた。

表 1 SG9 の審議体制

	議 長	担務内容
SG 9	Minkin 氏（ロシア）	固定業務全般
WP 9A	Soussi 氏（チュニジア）	品質・稼働率、干渉基準、伝搬問題
WP 9B	橋本氏（日本）	無線周波数配置、方式特性、各種応用、保守運用
WP 9C	Serinken 氏（カナダ）	短波（HF）方式
WP 9D	Glass 氏（アメリカ）	固定業務と他業務の周波数共用（固定衛星除く）

2 審議の内容

2.1 WP 9A 関係

(1) 勧告改訂案 F.1094-1 「他の干渉源からの放射及び輻射によりに起こるデジタル固定無線システムの最大許容エラー品質及び不稼働率劣化」

入力文書：9/134

エディトリアルな修正の上、承認され、同時採択承認手続の郵便投票が行われる。

(2) 勧告改訂案 F.1495 「17.7-19.3 GHz帯を共用する他の無線通信業務からの時間変動する総合干渉から固定業務を保護する干渉基準」

入力文書：9/135

タイトルの「other radio services」を「other radio communication services」に修正し、recommends の NOTE1 を recommends 2 にすることで、承認された。同時採択承認手続の郵便投票が行われる。

(3) 勧告改訂案 F.1669 「静止軌道衛星に対する 37-40GHz 及び 40.5-42.5 GHz 帯で運用される固定無線システムの干渉基準」

入力文書：9/136

原案通り承認され、同時採択承認手続の郵便投票が行われる。

(4) 勧告改訂案 F.592-3 「固定業務用語の語彙」

入力文書：9/139

ITU-R V.573, V.662 にその他用語が含まれている旨の noting (b) 及び 1.13 項 (ATPC の説明) の Note 1 を削除することで承認された。同時採択承認手続の郵便投票が行われる。

本勧告の改訂には日本の寄与が反映されている。

(5) WP 9A 関連勧告の削除

入力文書：9/138

原案通り、Rec. ITU-R F.390-4, F.392, F.393-4, F.555-1, F.745-1, F.1241, F.1331, F.1398 の 8 つの勧告の削除が承認され、承認手続の郵便投票が行われる。

これらの勧告の削除には日本の寄与が反映されている。

(6) WP 9A の研究課題

入力文書：9/137

研究課題 6 件（全件）を終了することが承認された。本年 10 月の RA-07 で削除承認手続が行われる。

本研究課題終結提案には日本の寄与が反映されている。

(7) WP 9A の審議報告

入力文書： 9/159

WP 9A 議長 Soussi 氏（チュニジア）より 2007 年 5 月会合の報告があり、承認された。

2.2 WP 9B 関係

(1) 新勧告案 F.[HAPS-BORDER 47 GHz] 「47.2-47.5 GHz 及び 47.9-48.2GHz 帯での隣接国の固定業務を保護するための FWA サービスを提供する HAPS の国境における PFD 値」

入力文書： 9/153

タイトルを含めた新勧告案の中の全ての「Pfd limits」を「Pfd values」に修正することで、承認された。同時採択承認手続の郵便投票が行われる。

(2) 勧告改訂案 F.1490 「FWA システムへの要求条件」

入力文書： 9/146

エディトリアルな修正の上、承認され、同時採択承認手続の郵便投票が行われる。また本勧告はかつて WP8A と合同で作成したものであるため、改訂の了承を求める WP 8A へのリエゾン文書として WP9B 議長報告（9/154）の Annex3 の送付が承認された。

本勧告の改訂には日本の寄与が反映されている。

(3) 勧告改訂案 F.1103 「ルーラル地域において 3 GHz 以下の帯域で運用される FWA システムの基本的な要求条件と技術」

入力文書： 9/147

recommends 4 の修正、Annex2 の TABLE A1 を削除し勧告 ITU-R F.746 の Table を引用する旨を追記の上、承認された。同時採択承認手続の郵便投票が行われる。

本勧告の改訂には日本の寄与が反映されている。

(4) 勧告改訂案 F.383-7 「6GHz 帯（5 925 - 6 425 MHz）で運用される大容量固定無線システムの無線周波数チャンネル配置」

入力文書： 9/149

原案通り承認され、同時採択承認手続の郵便投票が行われる。

(5) 勧告改訂案 F.384-9 「6GHz 帯（6 425 - 7 125 MHz）で運用される中大容量デジタル固定無線システムの無線周波数チャンネル配置」

入力文書： 9/150

原案通り承認され、同時採択承認手続の郵便投票が行われる。

(6) 勧告改訂案 F.386-7 「8GHz 帯(7 725 - 8 500 MHz)で運用される固定無線システムの無線

周波数チャネル配置」

入力文書： 9/151

エディトリアルな修正の上、承認された。同時採択承認手続の郵便投票が行われる。

(7) 勧告改訂案 F.385-8 「7GHz 帯(7 110-7 900 MHz)で運用される固定無線システムの無線周波数チャネル配置」

入力文書： 9/152

原案通り承認され、同時採択承認手続の郵便投票が行われる。

(8) 勧告改訂案 F.746-8 「固定業務システムの無線周波数チャネル配置」

入力文書： 9/160

エディトリアルな修正の上、承認された。同時採択承認手続の郵便投票が行われる。

(9) 勧告改訂案 F.1099-3 「5GHz 帯(4 400-5 000 MHz)における中大容量デジタル固定無線システムの無線周波数チャネル配置」

入力文書： 9/161

タイトルの「5GHz」を「upper 4GHz」としエディトリアルな修正の上、承認された。同時採択承認手続の郵便投票が行われる。

(10) 勧告改訂案 F.497-6 「13GHz 帯(12.75-13.25 GHz)で運用される固定無線システムの無線周波数チャネル配置」

入力文書： 9/162

原案通り承認され、同時採択承認手続の郵便投票が行われる。

(11) WP9B 関連の勧告削除

入力文書： 9/145

Rec. F.1244 を除いた Rec. ITU-R F.283-5, F.596-1, F.700-2, F.753, F.754, F.756, F.1104 の 7 つの勧告の削除が承認され、承認手続の郵便投票が行われることになった。

Rec. F.1244（無線 LAN 関連）については、郵便投票ではなく RA で削除の承認を行なう（勧告 M.1450 改訂承認と同時期とするため）との WP 提案に対して SG9 議長から「RA で議論するとの条件付なら、削除を急ぐ必要はない」とのコメントがあり、米国より「次会期まで削除しなくても良いのではないか」との提案があったため今会合での削除リストからは外すこととした。既に WP9B から送付した WP8A へのリエゾン文書（RA にて同勧告の削除予定を記載）と SG9 での結論が異なるため、WP8A に出席予定の Leclair 氏（米）がコンタクトパーソンとして、この相違を WP8A で説明することとなった。

これらの勧告の削除には日本の寄与が反映されている。

(12) ITU-R F シリーズ勧告のエディトリアルな修正

入力文書： 9/148

Rec. ITU-R F.636-3, F.701-2, F.302-3, F.698-2 のエディトリアルな修正を行うことが承認された。

これらの勧告の修正には日本の寄与が反映されている。

(13) WP 9B の研究課題

入力文書： 9/141

全研究課題 10 件を維持する原案通り承認された。

(14) 新報告案 「光空間伝送の固定業務への応用」

入力文書： 9/142

エディトリアルな修正の上、承認された。本報告について、シリアから「アラブ諸国を代表して本成果に謝意を表する、ことを会合議事録に記載してほしい」との発言があった。

本報告には日本の寄与が反映されている。

(15) 新報告案 「57GHz – 95GHz 帯を用いる固定無線システムの特性と応用」

入力文書： 9/143

エディトリアルな修正の上、承認された。

本報告には日本の寄与が反映されている。

(16) WP 9B の審議報告

入力文書： 9/154

WP 9B 議長橋本氏（日本）より、WP9B 会合の報告があり、承認された。

2.3 WP 9C 関係

(1) 新勧告案 F.[HF ADVANCED SYSTEMS] 「アドバンスドデジタル HF 無線システムの特性」

入力文書： 9/158

エディトリアルな修正の上、承認された。同時採択承認手続の郵便投票が行われる。

(2) WP 9C 関連の勧告削除

入力文書：9/157

原案通り、Rec. ITU-R F.342-2, F.347, F.345, F.518-1, F.519, F.762-2 の 6 つの勧告の削除が承認された。承認手続の郵便投票が行われる。

これらの勧告の削除には日本の寄与が反映されている。

(3) 研究課題のカテゴリ

入力文書：9/109

原案通り、承認された。

(4) WP 9C の審議報告

入力文書：9/156

WP9C 議長 Serinken 氏（カナダ）から WP 9C 会合の概要報告が行われ、承認された。

2.4 WP 9D 関係

(1) 新勧告案F.[HAPS-RAS 47 GHz] 「47.2-47.5 GHz及び47.9-49.2 GHz帯におけるHAPSからの不要発射からの48.94-49.04 GHz帯の電波天文業務の保護」

入力文書：9/140

エディトリアルな修正の上、承認された。同時採択承認手続の郵便投票が行われる。

(2) WP 9Dの研究課題

入力文書：9/166

原案通り、研究課題 ITU-R 232/9 の削除が承認された。本年 10 月の RA にて削除承認手続きが行われる。

(3) 新報告案F.[FS PARAMETERS] 「周波数帯毎の固定業務システムパラメータ」

入力文書：9/144

エディトリアルな修正の上、承認された。

本報告には日本の寄与が反映されている。

(4) WP 9D の審議報告

入力文書：9/155

WP9D 議長 Glass 氏（アメリカ）から WP 9D 会合の概要報告が行われ、承認された。

2.5 その他

(1) 勧告・報告のステータス

入力文書：9/164

SG9 事務局 Venkatesh 氏から勧告及びレポートの状態について勧告 F シリーズのリストの説明が行われ、審議結果に基づき勧告削除等の修正を行うことが承認された。

勧告 F シリーズ/SF シリーズの分析リストには日本の寄与が反映されている。

(2) RAG-07の報告

入力文書：9/133

SG9事務局Venkatesh氏から、2007年1月開催のRAG-07及び2月開催のCPM-07の報告があった。

(3) CCV関連

入力文書：9/132、163

CCVレポートのCoum氏（仏）からCCVからの入力文書について説明（勧告および報告のScopeのあとに語彙のパラグラフを設けるという要求等）が行われた。SG9として、語彙のパラグラフを各勧告（報告）に挿入することは、一つの用語が複数の意味を持つことが想定され、語彙のパラグラフを必須としない方がよいという見解になり、SG9の見解を述べたリエゾン文書（9/163）をCCVへ送付することが承認された。

(4) SG 9の構成、WP議長、エディトリアルグループ、CCVレポートの任命

SG9 議長の Minkin 氏（ロシア）から、WP9A：終結、WP9B、WP9C、WP9D：継続とし、WP9B,9C,9D の研究課題は SG 再編成後に継続されることが報告された。WP 議長等の任命は、SG 再編成後に新たに行われる。

3 今後の予定

次回会合については SG 再編成後に決定される。次回 ITU 会合（現在の SG9 関連 WP 会合）のチュニジア招聘のアナウンスに対して SG 再編との関係（現在の SG9 関連 WP 以外の WP への対応）について質問があったが、現時点では結論がでなかった。

表 2 日本提案関連文書の審議結果

文書番号	題 目	審議結果	元文書
9/137	Review of the Questions within Working Party 9A	研究課題削除が承認	9A/TEMP/55
9/138	Proposal for deletion of certain Recommendations within Working Party 9A	勧告削除として承認手続へ	9A/TEMP/56
9/139	Draft revision of Recommendation ITU-R F.592-3 - Vocabulary of terms for the fixed service	勧告改訂案として同時採択承認手続へ	9A/TEMP/57
9/142	Draft new Report - Fixed service applications using free space optical links	新報告案として承認	9B/TEMP/125
9/143	Draft new Report - Characteristics and applications of fixed wireless systems operating in the 57 GHz to 95 GHz band	新報告案として承認	9B/TEMP/123
9/144	Draft new Report ITU-R F.[FS PARAMETERS] - Fixed service system parameters for different frequency bands	新報告案として承認	9D/TEMP/129 Rev.1
9/145	Proposal for deletion of certain Recommendations within Working Party 9B	勧告削除として承認手続へ	9B/TEMP/119
9/146	Draft revision of Recommendation ITU-R F.1490 - Generic requirements for fixed wireless access systems	勧告改訂案として同時採択承認手続へ	9B/TEMP/120
9/147	Draft revision of Recommendation ITU-R F.1103 - Basic requirements and technologies for fixed wireless access systems operating in bands below 3 GHz for the provision of wireless subscriber connections in rural areas	勧告改訂案として同時採択承認手続へ	9B/TEMP/123 Rev.1
9/148	Editorial modifications to certain ITU-R F. Recommendations	勧告修正が承認	9B/TEMP/117 Rev.1
9/157	Review of existing Recommendations within Working Party 9C	勧告削除として承認手続へ	9C/TEMP/74
9/164	Status of texts	承認	9A/65 (9B/226, 9C/147, 9D/237)

表 3 SG 9 入力文書一覧表

文書番号	題 目	提出元	処 理
9/109	Revision of Questions assigned to Working Party 9C	WP 9C	承認
9/129	Summary record of the meeting of Radiocommunication Study Group 9	SG9 議長	承認
9/130	Summary record for the Joint meeting of ITU-R Study Groups 4 and 9	4-9S 議長	—
9/131	Liaison statement to Working Parties 6J and 9D copy to 4B, 6E, 7C, 7D, 8B, 8F, 9B, and ITU-T Study Group 9 - System characteristics of television outside broadcast (TVOB), electronic news gathering (ENG) and electronic field production (EFP) in the mobile service	WP 8A	—
9/132	Liaison statement to Radiocommunication Study Groups and Working Parties - Terminology database	CCV	—
9/133	Summary of results of RAG-07 and CPM-07	SG9 議長	承認
9/134	Draft revision of Recommendation ITU-R F.1094-1 - Maximum allowable error performance and availability degradations to digital fixed wireless systems (FWS) arising from radio interference from emissions and radiations from other sources	WP 9A	同時採択承認手続へ
9/135	Draft revision of Recommendation ITU-R F.1495 - Interference criteria to protect the fixed service from time varying aggregate interference from other radio services sharing the 17.7-19.3 GHz band on a co-primary basis	WP 9A	同時採択承認手続へ
9/136	Draft revision of Recommendation ITU-R F.1669 - Interference criteria of fixed wireless systems operating in the 37-40 GHz and 40.5-42.5 GHz bands with respect to satellites in the geostationary orbit	WP 9A	同時採択承認手続へ
9/137	Review of the Questions within Working Party 9A	WP 9A	RA にて承認手続へ
9/138	Proposal for deletion of certain Recommendations within Working Party 9A	WP 9A	同時採択承認手続へ
9/139	Draft revision of Recommendation ITU-R F.592-3 - Vocabulary of terms for the fixed service	WP 9A	同時採択承認手続へ
9/140	Draft new Recommendation ITU-R F.[HAPS-RAS 47 GHz] - Protection of the radio astronomy service in the 48.94-49.4 GHz band from unwanted emissions from HAPS in the 47.2-47.5 GHz and 47.9-49.2 GHz bands	WP 9D	同時採択承認手続へ

9/141	Status of the Questions assigned to Working Party 9B	WP 9B	承認
9/142	Draft new Report - Fixed service applications using free space optical links	WP 9B	承認
9/143	Draft new Report - Characteristics and applications of fixed wireless systems operating in the 57 GHz to 95 GHz band	WP 9B	承認
9/144	Draft new Report ITU-R F.[FS PARAMETERS] - Fixed service system parameters for different frequency bands	WP 9D	承認
9/145	Proposal for deletion of certain Recommendations within Working Party 9B	WP 9B	(1件を除き) 同時採択承認 承認手続へ
9/146	Draft revision of Recommendation ITU-R F.1490 - Generic requirements for fixed wireless access systems	WP 9B	同時採択承認 承認手続へ
9/147	Draft revision of Recommendation ITU-R F.1103 - Basic requirements and technologies for fixed wireless access systems operating in bands below 3 GHz for the provision of wireless subscriber connections in rural areas	WP 9B	同時採択承認 承認手続へ
9/148	Editorial modifications to certain ITU-R F. Recommendations	WP 9B	承認
9/149	Draft revision of Recommendation ITU-R F.383-7 - Radio-frequency channel arrangements for high capacity fixed wireless systems operating in the lower 6 GHz (5 925 to 6 425 MHz) band	WP 9B	同時採択承認 承認手続へ
9/150	Draft revision of Recommendation ITU-R F.384-9 - Radio-frequency channel arrangements for medium and high capacity digital fixed wireless systems operating in the upper 6 GHz (6 425-7 125 MHz) band	WP 9B	同時採択承認 承認手続へ
9/151	Draft revision of Recommendation ITU-R F.386-7 - Radio-frequency channel arrangements for fixed wireless systems operating in the 8 GHz (7 725 to 8 500 MHz) band	WP 9B	同時採択承認 承認手続へ
9/152	Draft revision of Recommendation ITU-R F.385-8 - Radio-frequency channel arrangements for fixed wireless systems operating in the 7 GHz (7 110-7 900 MHz) band	WP 9B	同時採択承認 承認手続へ
9/153	Draft new Recommendation ITU R F.[HAPS-BORDER 47 GHz] - Pfd values at international borders for HAPS providing fixed wireless access services to protect FS in neighboring countries in the 47.2-47.5 GHz and 47.9-48.2 GHz bands	WP 9B	同時採択承認 承認手続へ
9/154	Executive Report on the meeting of Working Party 9B	WP 9B 議長	承認

9/155	Executive Report on the meeting of Working Party 9D	WP9D 議長	承認
9/156	Executive Report on the meetings of Working Party 9C	WP9C 議長	承認
9/157	Review of existing Recommendations within Working Party 9C	WP9C 議長	承認手続へ
9/158	Draft new Recommendation ITU-R F.[HF ADVANCED SYSTEMS] - Characteristics of advanced digital High Frequency (HF) radiocommunication systems	WP 9C	同時採択承認手続へ
9/159	Executive report of the meeting of Working Party 9A	WP9A 議長	承認
9/160	Draft revision of Recommendation ITU-R F.746-8 - Radio-frequency arrangements for fixed service systems	WP 9B	同時採択承認手続へ
9/161	Draft revision of Recommendation ITU-R F.1099-3 - Radio-frequency channel arrangements for high and medium-capacity digital fixed wireless systems in the upper 4 GHz (4 400-5 000 MHz) band	WP 9B	同時採択承認手続へ
9/162	Draft revision of Recommendation ITU-R F.497-6 - Radio-frequency channel arrangements for fixed wireless systems operating in the 13 GHz (12.75-13.25 GHz) frequency band	WP 9B	同時採択承認手続へ
9/163	Liaison statement to the Coordination Committee for Vocabulary	SG 9	承認・リエゾン送付
9/164	Status of texts	BR	承認
9/165	List of documents issued	BR	—
9/166	Status of Questions assigned to Working Party 9D	WP9D	承認

Working Party 4-9S 報告書（案）

1 WP 4-9S

WP 4-9Sは固定衛星業務と固定業務間の周波数共用問題を扱っている。

1.1 会議の概要

WP 4-9Sの会合は、2007年5月21日（月）から5月23日（水）まで、スイス国ジュネーブ市のITU本部において開催された。

本会議には24の主管庁及び認められた私企業等から約50名が参加し、日本からは3名が出席した。

議長はW. Rummler氏（米国）で、WPのもとに2つのSub-WP、2つのDGなどを設置し、21件の寄与文書（内、日本からの寄与文書2件）について審議を行い、新勧告案 1件、改訂勧告案 1件、暫定改訂勧告案 1件、既存10勧告の暫定Editorial修正文書 1件、リエゾン文書 2件の合計 6件の出力文書（TEMP Doc.）を作成した。

2 審議体制

表 1 に示す体制で審議が行われた。

表 1 WP 4-9S の審議体制

	議長	担務内容
WP4-9S	W. Rummler 氏（米国）	固定衛星業務と固定業務間の周波数共用問題
SWP 4-9S-1	T. Morisaki 氏（日本）	HAPSと固定衛星業務間の周波数共用問題
SWP 4-9S-2	C. Hofer 氏（米国）	旧い SF-series 勧告の見直し
DG-1	V. Mimis 氏（カナダ）	WP3J/3M へのリエゾン
DG-2	W. Rummler 氏（米国）	WP1B へのリエゾン
Ad hoc Plen	W. Rummler 氏（米国）	勧告 SF.1649 改訂案差戻し審議

3 審議概要

3.1 SWP 4-9S-1

SWP 4-9S-1 では、WRC-07 議題 1.8（決議 145 および 122 に関する HAPS 関係）に関連する新勧告案等が審議され、議長は森崎氏（日本）が務めた。会合は 2 回開催されそれ

ぞれ 25 人程度の参加者があった。

3.1.1 DNR ITU-R SF.[4-9S/HAPS-PLIMIT] 審議

入力文書： 4-9S/166(前回会合議長報告) Annex 7
4-9S/175 (WP7D) , 182 (韓国)

出力文書： 4-9S/TEMP/55

47/48GHz における衛星を保護する為の HAPS 地上局送信電力(密度)の計算方法に関する新勧告案(DNR)である。勧告 SF.1481 では共用困難とされているユビキタス HAPS 地上局でも、送信電力を晴天時に 5dB 低減(送信電力制御技術を利用)すれば衛星システムと共用が可能であるとの計算例を示している。

米国が considering e)において WRC-07 で削除される可能性のある決議(Resolution 122)を参照することに反対した為、この considering を次の様に修正することになった。”that ITU-R was invited to study, as a matter of urgency, power limitations applicable for HAPS ground stations to facilitate sharing with space stations receivers”

WP4-9S プレナリーにおいて表現上の修正を加えた後 DNR が合意された。又、本 DNR は WRC 議題に関連するので、WP4-9S としては 10 月の RA に承認を求めることに合意した。そのため SG4, SG9 議長に対して本文書を RA に提出する手続きをとる様要請することになった。

3.1.2 その他

入力文書： 4-9S/166(前回会合議長報告) Annex 8
4-9S/172(豪), 173 (豪) , 181 (韓国)

出力文書： なし

Doc. 4-9S/172, 173 については WP4-9S へは参考として入力されており、特に審議は不要であること確認した。

Doc.4-9S/181 については韓国から「HAPS と衛星の調整手続き等に関する考察」を Preliminary Draft New Report として出力したいとの提案があった。カナダが「本文書は規則に関する考察であり、WRC-07 が終われば不要になる情報である」等の理由から出力文書の作成に反対した。韓国とカナダが調整を試みたが合意を得らず、文書の出力は見送られた。

3.2 SWP 4-9S-2

SWP 4-9S-2 は、古い勧告（最終改訂後 10 年以上を経たもの）の内容見直しについて、前回会合における見直し案の要約（Annex 6 to Doc. 4-9S/166）、今会合での新たな入力文書 3 件を基に審議を行なった。議長は C. Hofer 氏（米国）が務めた。

入力文書： 4-9S/166（前回会合議長報告） Annex 6
4-9S/179（日）、4-9S/183（米）、4-9S/185（米）

出力文書：4-9S/TEMP/52、4-9S/TEMP/53

SWP 4-9S-2 は、見直し対象とした 14 の勧告について日本並びに米国の寄与文書をベースに個々の審議を行なった。

前会合では、いくつかの勧告について「アナログ方式に関する記述を削除する」可能性が示されており、今回の日本文書（Doc.4-9S/179）もその方針に沿ってアナログ関連記述の削除を提案していた。しかしながら米国内で本件を議論した際に、衛星グループから「S-series 勧告ではまだアナログ方式記述を残している」との意見が出されたため、Doc.4-9S/185 では「アナログ方式テキストは維持する」方向で見直し案が作成されていた。

SWP 4-9S-2 でも削除は行なわないとの考え方で各勧告のドラフトを行なった。アナログ方式の扱い以外に関する見直し事項は以下の通りである。

- 用語「radio-relay system」を「fixes wireless system」に置き換える（ただし、見直し外方式<Trans-horizon radio-relay>については現状維持）。
- 参照勧告の更新、主に品質・稼働率関連勧告を最新のものに置き換え。
- RR 参照脚注番号の更新。

表 2 に勧告ごとの見直し案を示す。「修正維持」は決議 ITU-R 44 に基づく Editorial 修正を意味するが、今会合では Preliminary updating と位置づけられた。

なお、勧告 SF.1006 については、上記の Editorial update 以外に、以下の議論があった。

- 本勧告は RR. Appendix 7 のベースとなるものであるが、1993 年以降改訂されておらず、Appendix 7 は 2003 年に見直された。
- 現在の内容は ITU-T 勧告 G.821（SDH 方式導入前の旧品質基準）に基づいて干渉時間率評価がなされているが、より品質基準の厳しい勧告 G.826, G.828 ベースの方式に対しても Appendix 7 に基づく調整は長年問題なく機能してきた。
- 今回は、最低限 Table に表記されたパラメータを現在の Appendix 7 のそれと一致させる改訂案が提示されたが（Doc.4-9S/183）、このような（RR の後追いのような）改訂が真に必要なか、次回までによく検討する必要がある。

上記の位置づけを Cover sheet に記載し Doc.4-9S/183 を Attachment に付加した output が取り纏められた（Doc.4-9S/TEMP/52）。

また、これら古い勧告には RR の規定と関連するものが多く、SWP 4-9S-2 の作業全体についてシリアから「RR の規定に合致しないもの、古い規定で RR では既に削除済みのもの、RR と内容は同じでコピーに過ぎないもの、について改訂作業を進めることは疑問である」との意見が出された。

表2 古いSF-series 勧告に対する見直し案

Rec.ITU-R	前会合提案 (Annex 6 to Doc.4-9S/166)	今会合提案	出力文書
SF.355	修正維持	修正維持	Doc.4-9S/TEMP/53
SF.356	修正維持	維持	
SF.357	削除	維持	
SF.358	修正維持	修正維持	
SF.406	修正維持	修正維持	
SF.558	削除	修正維持	
SF.675	削除	修正維持	
SF.766	修正維持	—	
SF.1004	修正維持	修正維持	
SF.1005	維持	修正維持	
SF.1008	維持	修正維持	
SF.1193	削除	修正維持	
SF.1320	維持	修正維持	
SF.1006	改訂	暫定改訂案	Doc.4-9S/TEMP/52

3.3 DG-1 (WP3M & 3J へのリエゾン文書)

入力文書：4-9S/169 (WP 3J)、4-9S/184 (加)

出力文書：4-9S/TEMP/50

標準大気に関する勧告 P.835-4 中で使用されているパラメータの一つ「 h 」について、WP 3J/3M からのリエゾン (Doc.4-9S/169) では、「地表高」と位置づけられているが、同勧告の後段 Section の記述等から、「 h 」は海拔高と解するの妥当であり、この点について WP3J/3M い再度確認を求めるとのリエゾンを作成し、Mr. Chan (カナダ) を Contact として送付した (Doc. 4-9S/TEMP/50)。

3.4 DG-2 (WP 1B へのリエゾン文書)

入力文書：4-9S/170 (WP 1B)、4-9S/174 (WP8F)、4-9S/180 (WP6S)、4-9S/187 (WP9B and 9D)

出力文書：4-9S/TEMP/51

Software Defined Radio と Cognitive Radio 方式に関する暫定新研究課題を添付した WP 1B からのリエゾン文書 (Doc. 4-9S/170) に対して、WP4-9S としての見解を取り纏めた返答リエゾンが作成され承認された。内容は、WP9B/9D が情報として送付してきた同じテーマの WP1B へのリエゾン (Doc. 4-9S/187) とほぼ同様に、「SDR/CR については定義が未決定

であり、技術的側面の研究が十分進展する前に、WP1B でこれら方式のスペクトラム管理等について検討を行うのは時期尚早であろう」となっている（Doc. 4-9S/TEMP/51）。

3.5 Ad hoc Plen

入力文書：4-9S/176（SG4, SG9 議長）

出力文書：4-9S/TEMP/54

前回の Joint Study Group 4/9 会合でアラブ諸国の反対により WP4-9S に差し戻しとなった勧告 SF.1649 改訂案（最小距離内の船舶搭載地球局<ESV>から固定業務局への干渉量決定に関するガイダンス）について、WP 議長 Rummler が、アラブ・シリア、米国等関連国の意見を聴取して見直し改訂案を作成し全体会議で議論した。

見直し案では、反対意見の直接要因となった新 Annex 5（C バンドにおける小型アンテナ<口径 2.4m 以下>採用とそれに伴う沿岸からの最小離隔距離変更の可能性を検討したもの）を削除するとともに、決議 902（WRC-03）の内容（脚注 5.457B により、アラブ諸国等では ESV が二次業務の MSS として運用されるなど）を recognizing の項目として追加している。

実質改訂が行なわれる箇所は、Annex 3 における干渉計算法の見直し、Ku 帯の小型アンテナ（口径 1.2m 以下）採用に伴う技術条件に関する新 Annex 4 の追加である。

本案により、WP4-9S 会合で勧告改訂案として合意されたが、シリアから「アラブ諸国はまだ ESV 導入に基本的に反対であり、本改訂案にも RA で多くの反対意見が出る可能性がある」との発言があったため、承認手続きとして本改訂案の「RA 提出」は行なわず、次回 JSG4-9 会合での採択を待つこととした。

3.6 その他 WP4-9S 全体会合で審議された事項

（1）SF-series 勧告分析リストに関する新 Report 案

入力文書：4-9S/178（日本）

出力文書：9/164（WP4-9S としては特になし）

日本から既存勧告をテーマ別に分類し、削除勧告とともに、一覧リストを示す Report の作成を提案した。本提案は WP4-9S 会合に先立ち SG9 関連会合（WP9A-9D）で既に扱いが議論され、Report 作成に変わって事務局が発行する「Status of text の Annex」に当該リストを追加する方向が示された。WP4-9S 所管の SF-series 勧告も Doc.9/164 に収録されているため、本会合では特に議論されなかった。

（2）その他の文書

入力文書：4-9S/167(rev.1)（ABU）、4-9S/168（WP3M）、4-9S/171（CCV）、
4-9S/178（BR）

出力文書：なし

上記の 4 文書については、全体会合で意見は出されず特段の action はなしに留意（noted）

することとした。

4 次回予定等

会合の最後に議長 W.Rummler 氏から「本会合をもって約10年務めた WP4-9S 議長を退任する」との挨拶があった。

次回 WP4-9S 会合は、暫定スケジュールとして 2008 年 4 月 1 日（月）－4 月 5 日（金）に ITU 本部にて開催されることになっている。

表 3 日本寄与文書の審議結果

文書番号	題目	審議結果	出力文書
4-9S/178	F-series 並びに SF-series 勧告の分析リストに関する新報告案の提案	提案主旨に沿った資料が「Status of text」に附加された	9/164
4-9S/179	旧い WP4-9S 勧告の暫定見直し	暫定見直し案として、出力文書に反映され議長報告に添付される	4-9S/TEMP/53

表 4 WP4-9S 入力文書一覧表

文書番号	提出元	題目	出力文書
4-9S/166 Annex 6 Annex 7	WP4-9S 議長	Chairman's report - meeting 25 August - 1 September 2006	4-9S/TEMP/52 4-9S/TEMP/53 4-9S/TEMP/55
4-9S/167 Rev.1	ABU	Interference to FSS satellite (satellite TV) reception in 3.7-4.2 GHz	-
4-9S/168+ Corr.1	WP 3M	Liaison statement to Working Parties 1A, 1C, 4A, 4-9S, 6E, 7B, 7C, 7D, 8A, 8B, 8F, 9A and 9D - Spreadsheet implementation of the clear-air portion of Recommendation ITU-R P.452-12	-
4-9S/169	WP 3J	Liaison statement to Working Party 4-9S - Application of Recommendation ITU-R P.676-6	4-9S/TEMP/50
4-9S/170	WP 1B	Liaison statement to WPs 1A, 4A, 4-9S, 6E, 6S, 7B, 7C, 7D, 8A, 8B, 8D, 8F, 9B and 9D - The study of software defined radio and cognitive radio systems in Working Party 1B	4-9S/TEMP/51
4-9S/171	CCV	Liaison statement to Radiocommunication Study Groups and Working Parties - Terminology database	-
4-9S/172	オーストラリア	Preliminary draft new Recommendation ITU-R F. [HAPS- RAS 47GHz] - Protection of RAS in 48.94-49.04 GHz band from Out-of-Band emissions from HAPS in 47.2-47.5 GHz and 47.9-48.2 GHz bands	-
4-9S/173	オーストラリア	Preliminary draft new Recommendation ITU-R F. [HAPS-BORDER 47GHz]-PFD limits at international borders for HAPS providing FWA services to protect FS in neighbouring countries in 47.2-47.5 GHz and 47.9-48.2 GHz bands	-
4-9S/174	WP 8F	Liaison statement to ITU-R Working Party 1B on the study of software defined radio and cognitive radio systems in Working Party 1B -(Copy for information to ITU-R WPs 1A, 4A, 4-9S, 6E, 6S, 7B, 7C, 7D,8A, 8B, 8D, 9B and 9D)	4-9S/TEMP/51
4-9S/175	WP 7D	Liaison statement to Working Parties 4-9S and 9D - Preliminary draft new Recommendation ITU-R	-

文書番号	提出元	題目	出力文書
		F.[HAPS-RAS 47GHz] - Protection of the radio astronomy service in the 48.94-49.04 GHz band from unwanted emissions from HAPS in the 47.2-47.5 GHz and 47.9-48.2 GHz bands Submitter: WP 7D	
4-9S/176	SG 4, SG 9 議長	Draft Revision of Recommendation ITU-R SF.1649 - Guidance for determination of interference from earth stations on vessels (ESVS) to stations in the fixed service when the ESV is within the minimum distance	4-9S/TEMP/54
4-9S/177	BR	Recommendation to be brought to the attention of Working Parties 4A,6S, 7B, 8D and 4-9S	-
4-9S/178	日本	Development of a draft new Report on analytical lists of the F-series and SF-series Recommendations	9/164
4-9S/179	日本	Preliminary review of the old Recommendations within Working Party 4-9S	4-9S/TEMP/53
4-9S/180	WP 6S	Reply to Liaison statement from 1B on the study of software defined radio and cognitive radio systems	4-9S/TEMP/51
4-9S/181	韓国	Regulatory and procedural considerations regarding the use of HAPS in the FS in the bands 27/31 GHz and 47/48 GHz	-
4-9S/182	韓国	Draft new Recommendation ITU-R SF.[4-9S/HAPS-PLIMIT] -Methodology for determining the power level for HAPS user terminals to facilitate sharing with space station receivers in the bands 47.2-47.5 GHz and 47.9-48.2 GHz	4-9S/TEMP/55
4-9S/183	米国	Preliminary draft Revision of Recommendation ITU-R SF.1006 - Determination of the interference potential between earth stations of the fixed-satellite service and stations in the fixed service	4-9S/TEMP/52
4-9S/184	カナダ	Proposed liaison statement to Working Parties 3J and 3M regarding the definition of height in Annex 1 of Recommendation ITU-R P.835-4	4-9S/TEMP/50

文書番号	提出元	題目	出力文書
4-9S/185	米国	Review of old Recommendations of Working Party 4-9S	4-9S/TEMP/53
4-9S/186	BR	List of documents issued	-
4-9S/187	WP 9B WP 9D	Liaison statement to ITU-R Working Party 1B on the study of software defined radio and cognitive radio systems in Working Party 1B -(Copy for information to ITU-R WPs 1A, 4A, 4-9S, 6E, 6S, 7B, 7C, 7D, 8A, 8B, 8D and 8F)	4-9S/TEMP/51

表 5 WP4-9S 出力文書一覧表

文書番号	題目	入力文書	処理
4-9S/TEMP/50	Liaison statement to ITU-R Working Parties 3J and 3M regarding the definition of height in Annex 1 of Recommendation ITU-R P.835-4	4-9S/169 4-9S/184	承認
4-9S/TEMP/51	Liaison statement to ITU-R Working Party 1B on the study of software defined radio and cognitive radio systems in Working Party 1B	4-9S/170 4-9S/174 4-9S/180 4-9S/187	承認
4-9S/TEMP/52	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SF.1006- Determination of the interference potential between earth stations of the fixed-satellite service and stations in the fixed service	4-9S/179 4-9S/185	継続 (議長報告添付)
4-9S/TEMP/53	Review of old Recommendations of Working Party 4-9S	4-9S/183	継続 (議長報告添付)
4-9S/TEMP/54	Draft revision of Recommendation ITU-R SF.1649- Guidance for determination of interference from earth stations on board vessels (ESV) to stations in the fixed service when the ESV is within the minimum distance	4-9S/176	採択 (次回 JSG4/9 へ提出)
4-9S/TEMP/55	Draft new Recommendation ITU-R SF.[4-9S/HAPS-PLIMIT]- Methodology for determining the power level for HAPS user terminals to facilitate sharing with space station receivers in the bands 47.2-47.5GHz and 47.9-48.2 GHz	Annex 7 to 4-9S/166 4-9S/182	採択 (RA へ提出)